ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041101） Communicative English Ⅰ L(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子, ジョナサン・ベリー	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊参加度:20%
＊課題・小テスト:20%
＊期末試験：20%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2 & Listening skills/TOEIC test tactics + conversation activities
第3回：Unit 3 & Listening skills, tactics + conversation activities
第4回：Unit 4 & Reading skills and tactics
第5回：Unit 5 & Mini test and listening and reading skills
第6回：Unit 6 & Reading skills and vocab-building

第7回：Unit 7 & Listening skills/TOEIC test tactics + conversation activities
第8回：Unit 8 & Listening skills, tactics + conversation activities
第9回：Unit 9 & Reading skills and tactics
第10回：Unit 10 & Mini test and listening and reading skills
第11回：Unit 11 & Vocabulary building and conversations skills
第12回：Unit 12 & Vocabulary building and conversations skills
第13回：Unit 13 & Mini test and further speaking activities
第14回：Unit 14 & Listening skills/TOEIC test tactics + conversation activities
第15回：Review and summary of the course
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2023). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041102） Communicative English Ⅰ L(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト：10%・課題：10%・授業での発表等（予習・復習）：20%・中間試験：10%・期末試験：10%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：中間試験
第9回：Unit 8

第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041103） Communicative English Ⅰ L(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，瀬良　和彦	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30%
＊期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では遠隔授業を行います。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 Restaurants
第3回：Unit 2 Entertainment
第4回：Unit 3 Business
第5回：Unit 4 The Office
第6回：Unit 5 Telephone
第7回：Unit 6 Letters & E-mails

第8回：Unit 7 Health
第9回：Unit 8 The Bank & The Post Office
第10回：Unit 9 New Products
第11回：Unit 10 Travel
第12回：Unit 11 Daily Life
第13回：Unit 12 Job Applications
第14回：Unit 13 Shopping
第15回：Unit 14 Education
第16回：期末テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041104) Communicative English Ⅰ L(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，森川　光与	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト20%
＊授業での発表（グループプレゼンテーション・個人プレゼンテーション）20%
＊期末試験：20%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2 / TOEIC全体について
第3回：Unit 3 / Part 1 & 2解説およびリスニング練習とコツを学ぶ 1（シャドーイング）
第4回：Unit 4 / Part 3 & 4解説およびリスニング練習とコツを学ぶ 2（ディクテーション）
第5回：Unit 5 & 6 / Part 5 & 6解説およびリーディング練習とコツを学ぶ 1（英語文章構成）
第6回：Unit 7 & 8 / Part 7 解説およびリーディング練習とコツを学ぶ 2（英語文章構成）
第7回：Unit 9 & 10 / Part 8解説およびTOEIC全体の総復習

第8回：Unit 11 & 12　　TOEIC 模擬テストリスニング実施
第9回：Unit 13 & 14　TOEIC 模擬テストリーディング実施
第10回：ライティングに焦点を当てた演習
第11回：　スピーキングに焦点を当てた演習
第12回：グループプレゼンテーションに向けた準備・演習
第13回：グループプレゼンテーション
第14回：期末試験向け　模擬練習
第15回：期末試験2回のうちの1回目
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041105） Communicative English Ⅰ L(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，ヒル　スティーブ	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
＊小テスト・課題・授業での発表等（予習・復習）30%
＊中間テストと期末試験：30%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041106） Communicative English Ⅰ L(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041107) Communicative English Ⅰ L(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト: 40%
クラスへの参加: 20%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション: Unit 1 (Restaurants)
第2回 ： Unit 2 (Entertainment); Unit 1 の小テスト
第3回 ： Unit 3 (Business); Unit 2 の小テスト
第4回 ： Unit 4 (The Office); Unit 3 の小テスト
第5回 ： Unit 5 (Telephone); Unit 4 の小テスト
第6回 ： Unit 6 (Letters & E-mails); Unit 5 の小テスト
第7回 ： Unit 7 (Health); Unit 6 の小テスト

第8回 ：Unit 8 (The Bank & The Post Office); Unit 7 の小テスト
第9回: TOEIC 1/2 test
第10回: Unit 9 (New Products); Unit 8 の小テスト
第11回: Unit 10 (Travel); Unit 9 の小テスト
第12回: Unit 11 (Daily Life); Unit 10 の小テスト
第13回: Unit 12 (Job Applications); Unit 11 の小テスト
第14回: Unit 13 (Shopping); Unit 12 の小テスト
第15回: Unit 14 (Education); Unit 13 の小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041108) Communicative English Ⅰ L(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊7月TOEIC L&Rの結果：20%
＊小テスト：20%
＊期末テスト：20%
＊課題：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第 2回：Unit 2
第 3回：Unit 3
第 4回：Unit 4
第 5回：小テスト?(Unit 1,2,3)　Unit 5
第 6回：Unit 6

第 7回：Unit 7
第 8回：小テスト②(Unit 4,5,6)　Unit 8
第 9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：小テスト③(Unit 7,8,9)　Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041111） Communicative English Ⅰ JE(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Communicative English Ⅰ（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
＊小テスト20%・期末テスト：40%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7 小テスト
第8回：Unit 8

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：期末テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041112） Communicative English Ⅰ JE(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，アダム・ブロッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60％

TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディク

テーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041113) Communicative English Ⅰ JE(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，森川 光与	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト20%
＊授業での発表（グループプレゼンテーション・個人プレゼンテーション）20%
＊期末試験：20%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2 / TOEIC全体について
第3回：Unit 3 / Part 1 & 2解説およびリスニング練習とコツを学ぶ 1（シャドーイング）
第4回：Unit 4 / Part 3 & 4解説およびリスニング練習とコツを学ぶ 2（ディクテーション）
第5回：Unit 5 & 6 / Part 5 & 6解説およびリーディング練習とコツを学ぶ 1（英語文章構成）
第6回：Unit 7 & 8 / Part 7 解説およびリーディング練習とコツを学ぶ 2（英語文章構成）

第7回：Unit 9 & 10 / Part 8解説およびTOEIC全体の総復習
第8回：Unit 11 & 12　 TOEIC 模擬テストリスニング実施
第9回：Unit 13 & 14　TOEIC 模擬テストリーディング実施
第10回：ライティングに焦点を当てた演習
第11回：　スピーキングに焦点を当てた演習
第12回：グループプレゼンテーションに向けた準備・演習
第13回：グループプレゼンテーション
第14回：期末試験向け　模擬練習
第15回：期末試験2回のうちの1回目
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041114) Communicative English Ⅰ JE(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子, ﾌﾞﾙｽｳﾞｨｰﾝ ｱﾏﾄﾞﾀﾎﾞｱﾀﾞ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
Quizzes - 15%, Midterm Exam - 20%, Final Exam - 25%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8　Midterm Exam
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ　Final Exam
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041115) Communicative English Ⅰ JE(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，竹中 千鶴	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）:30%
期末試験：30%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
＊全授業対面で行う予定です。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041116） Communicative English Ⅰ JE(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，中島　友愛	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

※この科目は全回対面授業を行います。
(新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前に教員から配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。)
授業形態にかかわらず、第1回授業までに教科書を必ず購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
　第1回授業時に教科書を必ず持参すること。
　第1回授業時に予習の方法やその提出方法を指示します。
　したがって、第1回授業までにUnit 1を予習する必要はありません。
第2回：Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：TOEIC直前対策学習(当日プリントを配布して演習、解説)
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 13
期末試験

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になることがあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041117） Communicative English Ⅰ JE(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 辻　梨花	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
＊授業参加・予習：20%
＊小テスト：40%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8　＆　小テスト

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ　＆　小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　　月曜日４時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041118） Communicative English Ⅰ JE(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊midterm exam: 20%
＊final exam: 20%
＊in class effort: 20%
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041119） Communicative English Ⅰ JE(9) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041120） Communicative English Ⅰ JE(10) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊Quizzes: 40%
＊In-class effort and participation: 20%
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【Calendar】
第1回：Orientation, Introductory activities
第2回：Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4

第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14

Most weeks the class will start with a quiz about the previous week.

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041121） Communicative English Ⅰ JE(11) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・小テスト：20%（教科書Listening部分の書き取りQuiz 5*4-欠席回数，持込一切不可）
・中間試験1：20%（教科書Units 1-7のReading部分の英文を用いた適語補充20個，持込一切不可）
・中間試験2：20%（教科書Units 8-13のReading部分の英文を用いた適語補充20個，持込一切不可）
・TOEIC L&R：20%（健康上の理由以外で未受験の場合，単位認定されない）
　Listening と Reading の合計(Total)
　　550- :20
　　500- :18
　　450- :16
　　400- :14
　　350- :12
　　300- :10
　　-295 :0
・e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合，単位認定されない）
　「%完了」の全期平均
　　95- :20
　　90-94 :18
　　85-90 :16
　　80-84 :14
　　75-79 :12
　　70-74 :10
　　65-69 :8
　　60-64 :6

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。

不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート，教科書を使用した演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回（4/12）: introduction to the course, Unit 1
第2回（4/19）: Unit 2
第3回（4/26）: Unit 3, quiz 1
第4回（5/10）: Unit 4, mock TOEIC 1
第5回（5/17）: Unit 5, quiz 2
第6回（5/24）: Unit 6, mock TOEIC 2
第7回（5/31）: Unit 7, quiz 3
第8回（6/7）: 中間試験1, Unit 8
第9回（6/14）: Unit 9
第10回（6/21）: Unit 10, mock TOEIC 3
第11回（6/28）: Unit 11, quiz 4
第12回（7/5）: Unit 12, mock TOEIC 4
授業外（7/8）: TOEIC L&R（詳細は6月に授業で連絡）
第13回（7/12）: Unit 13, quiz 5
第14回（7/19）: 中間試験2, Unit 14
第15回（7/26）: Unit 15
授業外 e-learning（5/26, 6/23, 7/14 各金曜正午に課題締切，詳細は授業で連絡）

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って復習をしてください。

教科書・参考書等

Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning利用料が含まれる特別版なので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041122) Communicative English Ⅰ JE(12) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊小テスト：20％
＊期末テスト：20%
＊課題：20％

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第 2回：Unit 2
第 3回：Unit 3
第 4回：Unit 4
第 5回：小テスト?(Unit 1,2,3)　Unit 5
第 6回：Unit 6

第 7回：Unit 7
第 8回：小テスト②(Unit 4,5,6)　Unit 8
第 9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：小テスト③(Unit 7,8,9)　Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041123) Communicative English Ⅰ JE(13) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

※この科目は全回対面授業を行います。
(新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前に教員から配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。)
授業形態にかかわらず、第1回授業までに教科書を必ず購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
　第1回授業時に教科書を必ず持参すること。
　第1回授業時に予習の方法やその提出方法を指示します。
　したがって、第1回授業までにUnit 1を予習する必要はありません。
第2回：Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：TOEIC直前対策学習(当日プリントを配布して演習、解説)
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 13
期末試験

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になることがあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041124) Communicative English Ⅰ JE(14) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，平尾 陽子	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊毎回の提出課題：25％ 授業への熱心な取り組み：10％ 期末試験：25％
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20％

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了 到達目標を達成している。
不合格 到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8
第9回：Unit 9

第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041125） Communicative English Ⅰ JE(15) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）:30%
期末試験：30%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
＊全授業対面で行う予定です。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041126） Communicative English Ⅰ JE(16) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト.授業中の発表.課題等（予習・復習）（課題は3分の2以上の提出が必須）：30%・試験：30%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、前もってお知らせします。）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：まとめ（中間テストの場合は別途指示）

第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　別途指示

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041127） Communicative English Ⅰ JE(17) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，柏原　智美	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
＊授業態度及び各活動への取り組み：30%
＊各試験：30%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
＊この授業は全回対面授業を行います。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業終了後講義室にて

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041128) Communicative English Ⅰ JE(18) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・小テスト：20%（教科書Listening部分の書き取りQuiz 5*4-欠席回数，持込一切不可）
・中間試験1：20%（教科書Units 1-7のReading部分の英文を用いた適語補充20個，持込一切不可）
・中間試験2：20%（教科書Units 8-13のReading部分の英文を用いた適語補充20個，持込一切不可）
・TOEIC L&R：20%（健康上の理由以外で未受験の場合，単位認定されない）
　Listening と Reading の合計(Total)
　　550- :20
　　500- :18
　　450- :16
　　400- :14
　　350- :12
　　300- :10
　　-295 :0
・e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合，単位認定されない）
　「%完了」の全期平均
　　95- :20
　　90-94 :18
　　85-90 :16
　　80-84 :14
　　75-79 :12
　　70-74 :10
　　65-69 :8
　　60-64 :6

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。

不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回（4/13）: introduction to the course, Unit 1
第2回（4/20）: Unit 2
第3回（4/27）: Unit 3, quiz 1
第4回（5/1 Mon）: Unit 4, mock TOEIC 1
第5回（5/11）: Unit 5, quiz 2
第6回（5/18）: Unit 6, mock TOEIC 2
第7回（5/25）: Unit 7, quiz 3
第8回（6/1）: 中間試験1, Unit 8
第9回（6/8）: Unit 9
第10回（6/15）: Unit 10, mock TOEIC 3
第11回（6/22）: Unit 11, quiz 4
第12回（6/29）: Unit 12, mock TOEIC 4
第13回（7/6）: Unit 13, quiz 5
授業外（7/8）: TOEIC L&R（詳細は6月に授業で連絡）
第14回（7/13）: 中間試験2, Unit 14
第15回（7/20）: Unit 15
授業外（7/8）: TOEIC L&R（詳細は6月に授業で連絡）
授業外 e-learning（5/26, 6/23, 7/14 各金曜正午に課題締切，詳細は授業で連絡）

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って復習をしてください。

教科書・参考書等

Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning利用料が含まれる特別版なので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041131） Communicative English Ⅰ T(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，柏原　智美	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
＊授業態度及び各活動への取り組み：30%
＊各試験：30%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
＊この授業は全回対面授業を行います。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業終了後講義室にて

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041132) Communicative English Ⅰ T(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，田口 明美	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

授業態度・提出物:10%
中間試験:20%
期末試験:30%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6

第7回：Unit 7
第8回：中間試験
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
第16回: 期末試験
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士及び司法通訳の実務経験があります。外国文化に対する知識や理解を深めていただきながら、受講生の英語力の向上を目指します。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041133) Communicative English Ⅰ T(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子, ﾌﾞﾙｽｳﾞｨｰﾝ ｱﾏﾄﾞﾀﾎﾞｱﾀﾞ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
Quizzes - 15%, Midterm Exam - 20%, Final Exam - 25%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8　Midterm Exam
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ　Final Exam
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041134) Communicative English Ⅰ T(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，ガルシア　フェルナンデス　マリア　グデリア	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊In-class effort/Assignments: 10%　Midterm exam: 20%　Final Exam: 30%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8 - Midterm exam

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041135) Communicative English Ⅰ T(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊小テスト・課題・授業内活動：25%
＊中間・期末テスト：35%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
この科目は全回対面授業を行います。なお、状況によっては全て又は一部の回の授業形態を遠隔に変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6

第7回：Unit 7
第8回：中間試験
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　木曜日　12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基にTOEIC対策を中心とした授業を行います。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041136） Communicative English Ⅰ T(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ T (6)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 永尾　智	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
6. 5 分程度の英語放送を、要点を把握しながら聞くことができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%　　＊中間試験・期末試験：30%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この授業は基本的に≪対面授業≫形式で実施します。座席は指定制（初回に指定）です。毎回の授業の進め方は次の通りです。

・授業開始～10分：Listening Quiz
・　～20分：復習テスト等
・　～終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）（各問題に五感を総動員して丁寧に対応することによって基本的英語認識力が高まります。音声発出を大切にしながら、そのような意識で各問題に臨んでください。）

e-learningのサポート等

【授業計画】

第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：中間試験、Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
第16回：期末試験
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　水曜日　13:00～15:00　（会議日を除く。他の日時も相談により可。いずれの場合も、メールで事前予約してください。）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041137) Communicative English Ⅰ T(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8

第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については初回授業で指示します。初回授業時の事前学習としては、テキストの概要やUnit 1の構成を確認しておいてください。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月曜日12:10～13:30、北キャンパス5号館5階杉田研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041138） Communicative English Ⅰ T(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊midterm exam: 20%
＊final exam: 20%
＊in class effort: 20%
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041139） Communicative English Ⅰ T(9) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊Quizzes: 40%
＊In-class effort and participation: 20%
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【Calendar】
第1回：Orientation, Introductory activities
第2回：Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4

第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14

Most weeks the class will start with a quiz about the previous week.

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041140） Communicative English Ⅰ T(10) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041141) Communicative English Ⅰ T(11) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト: 40%
クラスへの参加: 20%
e-learning：20％
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション: Unit 1 (Restaurants)
第2回 ： Unit 2 (Entertainment); Unit 1 の小テスト
第3回 ： Unit 3 (Business); Unit 2 の小テスト
第4回 ： Unit 4 (The Office); Unit 3 の小テスト
第5回 ： Unit 5 (Telephone); Unit 4 の小テスト
第6回 ： Unit 6 (Letters & E-mails); Unit 5 の小テスト

第7回 ： Unit 7 (Health); Unit 6 の小テスト
第8回 ： Unit 8 (The Bank & The Post Office); Unit 7 の小テスト
第9回: TOEIC 1/2 test
第10回: Unit 9 (New Products); Unit 8 の小テスト
第11回: Unit 10 (Travel); Unit 9 の小テスト
第12回: Unit 11 (Daily Life); Unit 10 の小テスト
第13回: Unit 12 (Job Applications); Unit 11 の小テスト
第14回: Unit 13 (Shopping); Unit 12 の小テスト
第15回: Unit 14 (Education); Unit 13 の小テスト

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041142） Communicative English Ⅰ T(12) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
Moodleによる小テスト・授業への参加:40%
期末試験：20%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。
＊健康上の理由以外で4回以上欠席する場合は単位が認定されません。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041143) Communicative English Ⅰ T(13) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊小テスト：20%
＊期末テスト：20%
＊課題：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第 2回：Unit 2
第 3回：Unit 3
第 4回：Unit 4
第 5回：小テスト?(Unit 1,2,3)　Unit 5
第 6回：Unit 6

第 7回：Unit 7
第 8回：小テスト②(Unit 4,5,6)　Unit 8
第 9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：小テスト③(Unit 7,8,9)　Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041151） Communicative English Ⅰ A(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト・授業での発表.課題等（予習・復習）（課題は3分の2以上の提出が必須）：30%・試験：30%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、前もってお知らせします。）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：まとめ（中間テストの場合は別途指示）

第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　別途指示

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041152） Communicative English Ⅰ A(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，中島　友愛	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

※この科目は全回対面授業を行います。
(新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前に教員から配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。)
授業形態にかかわらず、第1回授業までに教科書を必ず購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
　第1回授業時に教科書を必ず持参すること。
　第1回授業時に予習の方法やその提出方法を指示します。
　したがって、第1回授業までにUnit 1を予習する必要はありません。
第2回：Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：TOEIC直前対策学習(当日プリントを配布して演習、解説)
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 13
期末試験

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になることがあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041153） Communicative English Ⅰ A(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，柏原　智美	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
＊授業態度及び各活動への取り組み：30%
＊各試験：30%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
＊この授業は全回対面授業を行います。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業終了後講義室にて

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041154） Communicative English Ⅰ A(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）:30%
期末試験：30%
e-learning：20%
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
＊全授業対面で行う予定です。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041155) Communicative English Ⅰ A(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，平尾 陽子	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊毎回の提出課題：25％　授業への熱心な取り組み：10％　期末試験：25％
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20％

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8
第9回：Unit 9

第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041156) Communicative English Ⅰ A(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト: 40%
クラスへの参加: 20%
e-learning：20％
7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション: Unit 1 (Restaurants)
第2回 ： Unit 2 (Entertainment); Unit 1 の小テスト
第3回 ： Unit 3 (Business); Unit 2 の小テスト
第4回 ： Unit 4 (The Office); Unit 3 の小テスト
第5回 ： Unit 5 (Telephone); Unit 4 の小テスト
第6回 ： Unit 6 (Letters & E-mails); Unit 5 の小テスト
第7回 ： Unit 7 (Health); Unit 6 の小テスト

第8回 ：Unit 8 (The Bank & The Post Office); Unit 7 の小テスト
第9回: TOEIC 1/2 test
第10回: Unit 9 (New Products); Unit 8 の小テスト
第11回: Unit 10 (Travel); Unit 9 の小テスト
第12回: Unit 11 (Daily Life); Unit 10 の小テスト
第13回: Unit 12 (Job Applications); Unit 11 の小テスト
第14回: Unit 13 (Shopping); Unit 12 の小テスト
第15回: Unit 14 (Education); Unit 13 の小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041157) Communicative English Ⅰ A(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・小テスト：20%（教科書Listening部分の書き取りQuiz 5*4 - 欠席回数，持込一切不可）
・中間試験1：20%（教科書Units 1-7のReading部分の英文を用いた適語補充20個，持込一切不可）
・中間試験2：20%（教科書Units 8-13のReading部分の英文を用いた適語補充20個，持込一切不可）
・TOEIC L&R：20%（健康上の理由以外で未受験の場合，単位認定されない）
　Listening と Reading の合計(Total)
　　550- :20
　　500- :18
　　450- :16
　　400- :14
　　350- :12
　　300- :10
　　-295 :0
・e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合，単位認定されない）
　「%完了」の全期平均
　　95- :20
　　90-94 :18
　　85-90 :16
　　80-84 :14
　　75-79 :12
　　70-74 :10
　　65-69 :8
　　60-64 :6

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。

可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回（4/13）: introduction to the course, Unit 1
第2回（4/20）: Unit 2
第3回（4/27）: Unit 3, quiz 1
第4回（5/1 Mon）: Unit 4, mock TOEIC 1
第5回（5/11）: Unit 5, quiz 2
第6回（5/18）: Unit 6, mock TOEIC 2
第7回（5/25）: Unit 7, quiz 3
第8回（6/1）: 中間試験1, Unit 8
第9回（6/8）: Unit 9
第10回（6/15）: Unit 10, mock TOEIC 3
第11回（6/22）: Unit 11, quiz 4
第12回（6/29）: Unit 12, mock TOEIC 4
第13回（7/6）: Unit 13, quiz 5
授業外（7/8）: TOEIC L&R（詳細は6月に授業で連絡）
第14回（7/13）: 中間試験2, Unit 14
第15回（7/20）: Unit 15
授業外 e-learning（5/26, 6/23, 7/14 各金曜正午に課題締切，詳細は授業で連絡）

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って復習をしてください。

教科書・参考書等

Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning利用料が含まれる特別版なので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041161） Communicative English Ⅰ M(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊Quizzes: 40%
＊In-class effort and participation: 20%
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【Lesson plan】

第1回：Orientation, Introductory activities
第2回：Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4

第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14

Most weeks the class will start with a quiz about the previous week.

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Advanced. SEIBIDO.
ISBN: 978-4-7919-7270-8
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041162） Communicative English Ⅰ M(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊midterm exam: 20%
＊final exam: 20%
＊in class effort: 20%
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Advanced. SEIBIDO.
ISBN: 978-4-7919-7270-8
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041163) Communicative English Ⅰ M(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：Unit 8

第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Advanced. SEIBIDO.
ISBN: 978-4-7919-7270-8
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041164） Communicative English Ⅰ M(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，篠原　範子	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト：10%・課題：10%・授業での発表等（予習・復習）：20%・中間試験：10%・期末試験：10%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：中間試験
第9回：Unit 8

第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Advanced. SEIBIDO.
ISBN: 978-4-7919-7270-8
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041171） Communicative English Ⅰ NP(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊Quizzes: 40%
＊In-class effort and participation: 20%
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【Calendar】
第1回：Orientation, Introductory activities
第2回：Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4

第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14

Most weeks the class will start with a quiz about the previous week.

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041172） Communicative English Ⅰ NP(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041173） Communicative English Ⅰ NP(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト：10%・課題：10%・授業での発表等（予習・復習）：20%・中間試験：10%・期末試験：10%
＊e-learning：20%
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7
第8回：中間試験
第9回：Unit 8

第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041174） Communicative English Ⅰ NP(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC L&R テストで学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊midterm exam: 20%
＊final exam: 20%
＊in class effort: 20%
＊e-learning：20％
＊7月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Best Practice for the TOEIC L&R Test Unit 1
第2回：Unit 2
第3回：Unit 3
第4回：Unit 4
第5回：Unit 5
第6回：Unit 6
第7回：Unit 7

第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 10
第11回：Unit 11
第12回：Unit 12
第13回：Unit 13
第14回：Unit 14
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041201） Communicative English Ⅱ L(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊小テスト：20%
＊期末テスト：20%
＊課題：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等　会話練習
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 Art Therapy
第 2回：Unit　2 From Schi-Fi to Reality
第 3回：Unit　3 Exporting Labor
第 4回：Unit　4 Celebrating the Earth
第 5回：Unit　5 Virtual Lives

第 6回：小テスト①　Unit　6 Kidults
第 7回：Unit　7 Genetically Modified Foods
第 8回：Unit　8 Empires of the Stars
第 9回：Unit　9 Destination: Mars
第10回：Unit 10 Cross-Cultural Friendships
第11回：小テスト②　Unit 11 Muscle Memory
第12回：Unit 12 Maritime Piracy
第13回：Unit 13 The Science of Love
第14回：Unit 14 The Homeless
第15回：Unit 15 A World Currency?
　　まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Reading Fusion 2　Andrew E.Bennett　NAN'UN-DO　2022年　IISBN978-4-523-17665-7

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041202） Communicative English Ⅱ L(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊In-class participation and effort: 20%
＊Midterm Exam: 20%
＊Final Exam: 20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Every week, students need to prepare the unit from the textbook assigned by the teacher as homework. On the following week, the unit that students prepared will be studied in class.

【授業計画】

Tentative schedule (subject to change)
第1回：Introduction of the class: orientation and introductory speaking activities.
第2回: Unit 2
第3回: Unit 3
第4回: Unit 4

第5回: Unit 5
第6回: Unit 6
第7回: Unit 7
第8回: Midterm Test
第9回: Unit 8
第10回: Unit 9
第11回: Unit 10
第12回: Unit 12
第13回: Unit 13
第14回: Unit 14
第15回: Unit 15
Final test week: Final test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

AFP World News Report 6. Makoto Shishido, Kevin Murphy, Mariko Takahashi. Seibido (2022). ISBN: 978-4-7919-7250-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041203) Communicative English Ⅱ L(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，ヒル　スティーブ	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション; UtWT Unit 1
第2回：UtWT Unit 2
第3回: UtWT Unit 4
第4回: UtWT Unit 5
第5回: UtWT Unit 6
第6回: UtWT Unit 7
第7回: UtWT Unit 8

第8回: UtWT Unit 9
第9回: UtWT Unit 10
第10回: TOEIC Practice test
第11回: UtWT Unit 13
第12回: UtWT Unit 14
第13回: UtWT Unit 17
第14回: UtWT Unit 19
第15回: UtWT Unit 20

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today. (Dave Rear)
成美堂　ISBN: 9784791972548

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041204） Communicative English Ⅱ L(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，ジョナサン・ベリー	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊参加度:10%
＊課題:20%
＊小テスト:10%
＊期末試験：20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

　本授業は、テキスト(Understanding the World Today)を中心に進めていく。また適宜、文法や発音、リスニングの指導も行う。またインプット仮説の観点から、様々な英語の媒体を紹介し、英語を生活の一部とすることを試みる。加えてFree Voluntary Readingという、英語の書物を読む時間も導入する。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション、Unit 1
第2回：Unit 2、Reading, vocabulary-building, and discussion

第3回：Unit 3、Reading, vocabulary-building, and discussion
第4回：Unit 4、Reading, vocabulary-building, and discussion
第5回：Unit 5（小テスト１回目）、Reading, vocabulary-building and discussion
第6回：Unit 6、Reading, vocabulary-building, and discussion
第7回：Unit 7、Reading, vocabulary-building, and discussion
第8回：Unit 8、Reading, vocabulary-building, and discussion
第9回：Unit 9、Reading, vocabulary-building, and discussion
第10回：Unit 10（小テスト2回目）、Reading, vocabulary-building and discussion
第11回：Unit 11、Reading, vocabulary-building, and discussion
第12回：Unit 12、Reading, vocabulary-building, and discussion
第13回：Unit 13、Reading, vocabulary-building, and discussion
第14回：Unit 14、Reading, vocabulary-building, and discussion
第15回：Unit 15、Summary and review of course
第16回：期末テスト

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today (Dave Rear), Seibido

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041205） Communicative English Ⅱ L(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，森川　光与	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊クラスへの出席・積極的参加：10%
＊小テスト・期末試験：30%
＊授業での発表・宿題（予習・復習）：20%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

毎週さまざまな社会問題に関するテーマの文章を読み、ボキャブラリーを増やします。その学習内容に基づいて、自分の意見を英語で書くまたは話せることを目標としてクラスを進めます。

【授業計画】

使用する教科書の各ユニットに沿って、英語での知識と語彙を増やします。各ユニットの内容を深く掘り下げた上で、期末試験ではあらゆるトピックについて自身の意見を発言できるように学習を進めます。また TOEIC受験の前には試験に向けた準備も行います。

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 100-Yen Shops: Still going strong

第3回：Unit 2: Work-Life Balance: Do it like the Germans
第4回：Unit 3: Lasting the Ages: Japan’s 200-year-old companies
第5回：Unit 4: Universal Basic Income: An idea whose time has come?
第6回：Review・小テスト
第7回：Unit 5: Remote Work: A new way to live and work
第8回：Unit 6: Tricks of the Trade: How companies get us to spend / TOEIC practice
第9回：Unit 7: The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body / TOEIC practice
第10回：Unit 8: Social Media: Big tech’s addiction to addiction
第11回：Unit 9: Super Solos: Catering to Japan’s singletons
第12回：Reading and Group Study for Unit 10-20 Part 1・New Year’s Resolutions・小テスト
第13回：Group Study for Unit 10-20 Part 2
第14回：Group Presentation and review for Final Exam
第15回：期末試験（前半）
テスト期間：期末試験（後半）

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today by Dave Rear. Seibido (2022) 978-4-7919-7254-8.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041206） Communicative English Ⅱ L(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，瀬良　和彦	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30%
＊期末テスト20%（未受験の場合は単位を認定しない）
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では遠隔授業を行います。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit1 100-Yen Shops: Still going strong
第3回：Unit2 Work-Life Balance: Do it like the Germans
第4回：Unit3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies
第5回：Unit4 Universal Basic Income: An idea whose time has come?
第6回：Unit5 Remote Work: A new way to live and work
第7回：Unit6 Tricks of the Trade: How companies get us to spend
第8回：Unit7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body

第9回：Unit8 Social Media: Big tech's addiction to addiction
第10回：Unit9 Super Solos: Catering to Japan's singletons
第11回：Unit10 Happiness: What is the secret?
第12回：Unit11 Dialects: How English is spoken across the world
第13回：Unit12 Child Prodigies: Raising a little genius
第14回：Unit13 Mentalism: Mastering the human brain
第15回：Unit14 The Origins of Language: How did humans learn to speak?
第16回：期末テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today. (Dave Rear). 2022. Seibido. ISBN:9784791972548.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041207） Communicative English Ⅱ L(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，中島　友愛	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊毎回の提出課題：25%
＊期末試験：25%
＊授業への熱心なとりくみ：10%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
・e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
・教科書を使用しての演習
・最後の約15分はTOEIC演習、または英語創作活動

※この授業は全回対面授業を行います。
(新型コロナウィルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前

に教員から配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。）
　授業形態にかかわらず第1回授業までに教科書を必ず購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
　　進め方・課題・成績評価方法を詳細に解説
　　第1回授業時に教科書を必ず持参すること。
(Unit 1, Unit 4などは扱いません。注意してください。)
第2回：Unit 2 (The Animals in Our Lives) ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第3回：Unit 3 (Reforming Japan's Education System) ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第4回：Unit 5 (No More Unwelcome Advertisements) ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第5回：Unit 6 (A Living Wage) ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第6回：Unit 7 (Keeping Mothers on the Payroll) ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第7回：Unit 9 (Volunteering) ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第8回：Unit 11 (The Importance of Biodiversity) ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第9回：TOEIC直前対策学習(当日プリントを配布して演習、解説)
第10回：Unit 13 (Japan's Future Energy Supply) ＋ 最後の15分は英語創作活動
第11回：Unit 14 (Green Transportation) ＋ 最後の15分は英語創作活動
第12回：Unit 17 (Storing Energy) ＋ 最後の15分は英語創作活動
第13回：Unit 18 (A Dollar a Day) ＋ 最後の15分は英語創作活動
第14回：Unit 19 (Beyond Fair Trade) ＋ 期末テスト説明 ＋ アンケート
第15回：Unit 20 (Shrink the Economy, Not the Earth)
　　＋ 期末テスト説明 ＋ アンケート
期末試験

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になることがあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What's Going On in the World? by David Peaty, Kahori Kobayashi. Seibido(2017).
ISBN 978-4-7919-6027-9.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041208) Communicative English Ⅱ L(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 辻　梨花	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

*授業参加(宿題を含む)：20%
*小テスト：40%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

本授業では、指定の教材の内容を中心にUnitごとに授業を進める。リーディング問題が中心となるが、ペアワークなどを取り入れ能動的な参加を促す。

【授業計画】

第1回：Introduction
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5

第7回：Unit 6
第8回：Unit 7　＆　小テスト
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13　＆　小テスト
第15回：Unit 14 ＆　Wrap-up

【自学自習に関するアドバイス】
第1回：事前に指定の教科書を購入し、第1回の授業に持ってくること。
第2回～第１５回：指示を受けた各ユニットからの宿題は必ず事前にやってくるように。
第７回：　小テストを行う。普段の授業の練習をもとにした出題になるので、しっかり課題を毎回こなすように。
第１４回：　小テストを行う。普段の授業の練習をもとにした出題になるので、しっかり課題を毎回こなすように。
You are encouraged to communicate with your instructor and classmates in English. Your enthusiastic participation will encourage your classmates to speak more in English as well; your participation matters!

教科書・参考書等

What's Going On in the World? by David Peaty and Kahori Kobayashi
Publisher: Seibido
ISBN: 9784791960279
Price: 2000 yen + tax

オフィスアワー　　月曜日4時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041211) Communicative English Ⅱ JE(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己, ガルシア フェルナンデス マリア グデリア	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊In-class effort/Assignments: 10%　Midterm exam: 20%　Final Exam: 30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
Class work will center on activities in the textbook. English will be the primary medium of communication in class.

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：1回ずつ内容を記載してください。定期試験は15回に含めません。
-Week 1. Orientation ? Unit 1.
-Week 2. Unit 2.
-Week 3. Unit 3.
-Week 4. Unit 4.
-Week 5. Unit 5.

-Week 6. Unit 6.
-Week 7. Unit 7.
-Week 8. Midterm exam
-Week 9. Unit 8.
-Week 10. Unit 9.
-Week 11. Unit 10.
-Week 12. Unit 11.
-Week 13. Unit 12.
-Week 14. Unit 13.
-Week 15. Unit 14.

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Reading Fusion 2by Andrew E. Bennett. Nan’un-do (2011) 978-4-523-17665-7

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041212） Communicative English Ⅱ JE(2) Communicative English Ⅱ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，アダム・ブロッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60％

TOEIC-IPの結果：20％　未受験の場合は単位を認定しない。　さらに健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい）単位を認定しない。）

e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

AFP World News Report 6 by Makoto Shishido, Kevin Murphy, Mariko Takahashi.
Seibido (2022) 978-4-7919-7250-0.

教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041213） Communicative English Ⅱ JE(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，ヒル　スティーブ	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション; UtWT Unit 1
第2回：UtWT Unit 2
第3回: UtWT Unit 4
第4回: UtWT Unit 5
第5回: UtWT Unit 6
第6回: UtWT Unit 7
第7回: UtWT Unit 8

第8回: UtWT Unit 9
第9回: UtWT Unit 10
第10回: TOEIC Practice test
第11回: UtWT Unit 13
第12回: UtWT Unit 14
第13回: UtWT Unit 17
第14回: UtWT Unit 19
第15回: UtWT Unit 20

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today. (Dave Rear)
成美堂　ISBN: 9784791972548

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041214) Communicative English Ⅱ JE(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊In-class participation and effort: 20%
＊Midterm Exam: 20%
＊Final Exam: 20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Every week, students need to prepare the unit from the textbook assigned by the teacher as homework. On the following week, the unit that students prepared will be studied in class.

【授業計画】

Tentative schedule (subject to change)
第1回：Introduction of the class: orientation and introductory speaking activities.
第2回: Unit 1
第3回: Unit 2
第4回: Unit 3

第5回: Unit 4
第6回: Unit 5
第7回: Unit 6
第8回: Midterm Test
第9回: Unit 8
第10回: Unit 11
第11回: Unit 14
第12回: Unit 15
第13回: Unit 17
第14回: Unit 19
第15回: Unit 20
Final test week: Final test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today. Rear, Dave. Seibido (2022). 978-4-7919-7254-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041215) Communicative English Ⅱ JE(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊midterm exam: 20%
＊final exam: 20%
＊in class effort: 20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The Procedure For Each Class Is As Follows

Each class will begin with a review of the previous weeks topic as well as feedback on E-learning. Students will work from their textbooks and be expected to participate in discussions as well as demonstrate comprehension.

[Class Plan]

1St: Orientation (self introductions, course explanation and English activities.

Week 1: Unit 1: 100-Yen Shops: Still going strong (shopping vocabulary)
week 2: Unit 2: Work-Life Balance: Do it like the Germans (cultural differences)
Week 3: Unit 3: Lasting the Ages: Japan’s 200-year-old companies (work culture)
Week 4: Unit 4: Universal Basic Income: An idea whose time has come? (societal issues)
week 5: Unit 5: Remote Work: A new way to live and work (careers and lifestyles)
week 6: Unit 6: Tricks of the Trade: How companies get us to spend (advertising)
Week 7: midterm exam
week 8: Unit 7: The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body (hobbies and interests)
week 9: Unit 8: Social Media: Big tech’s addiction to addiction (habits and addictions)
week 10: Unit 9: Super Solos: Catering to Japan’s singletons (meeting new people)
week 11: Unit 10: Happiness: What is the secret? (describing feelings and strategies for happiness)
week 12: Unit 11: Dialects: How English is spoken across the world (differences in international English)
week 13: Unit 12: Child Prodigies: Raising a little genius (education and development)
week 14: Unit 13 Mentalism: Mastering the human brain (psychology and habits)
Week 15: Unit 14: The Origins of Language: How did humans learn to speak? (nature and stages)
Week 16: final exam

Outside Class (Schedule Is Specified Separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework .

教科書・参考書等

Understanding the World Today by David Rear. Seibido(2021) 978-4-7919-7228-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041216) Communicative English Ⅱ JE(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，ﾌﾞﾙｽｳﾞｨｰﾝ ｱﾏﾄﾞ ﾀﾎﾞｱﾀﾞ	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
　Quizzes - 15%,　Midterm Exam - 20%,　Final Exam - 25%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

The students will explore a wide variety of reading articles and exercises that will help build their English vocabulary and reading and comprehension skills.
There will be activities that require the students to look back into the passages to find specific information to answer specific questions and there are activities that would require them to communicate their own ideas and feelings about the topics.
The classes for this course will be face-to-face. Depending on the situation, the format for all or some of the classes maybe changed remotely.

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回
2nd：Unit 1？100-yen Shops: Still going strong
3rd：Unit 2？Work-Life Balance: Do it lie the Germans
4th：Unit 3？Lasting the Ages: Japan’s 200-year-old-companies
5th：Unit 4？Universal Basic Income: An idea whose time has come
6th：Unit 5？Remote Work: A new way to live and work
7th：Unit 6？Tricks of the Trade: How companies get us to spend
8th：Unit 7？The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body
9th：Unit 8？Social Media: Big tech’s addition to addiction
10th：Unit 9？Super Solos: Catering to Japan’s singletons
11th：Unit 10？Happiness: What is the secret?
12th：Unit 11？Dialects: How English is spoken across the world
13th：Unit 12？Child Prodigies: Raising a little genius
14th：Unit 13？Mentalism: Mastering the human brain
15th：Unit 14？The Origins of Language: How did humans learn how to speak?

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today by Dave Rear. Seibido (2022)978-4-7919-7254-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041217） Communicative English Ⅱ JE(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，中島　友愛	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊毎回の提出課題：25%
＊期末試験：25%
＊授業への熱心なとりくみ：10%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
・e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
・教科書を使用しての演習
・最後の約15分はTOEIC演習、または英語創作活動

※この授業は全回対面授業を行います。
(新型コロナウィルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前

に教員から配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。）
　授業形態にかかわらず第1回授業までに教科書を必ず購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
　　進め方・課題・成績評価方法を詳細に解説
　　第1回授業時に教科書を必ず持参すること。
(Unit 3, Unit 10などは扱いません。注意してください。)
第2回：Unit 1 (100-Yen Shops:Still going strong)　+　最後の15分はTOEIC演習
第3回：Unit 2 (Work-Life Balance: Do it like the Germans) +　最後の15分はTOEIC演習
第4回：Unit 4 (Universal Basic Income: An idea whose time has come?)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第5回：Unit 5 (Remote Work: A new way to live and work) +　最後の15分はTOEIC演習
第6回：Unit 6 (Tricks of the Trade: How companies get us to spend)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第7回：Unit 7 (The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body))
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第8回：Unit 8 (Social Media: Big tech's addiction to addiction)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第9回：TOEIC直前対策学習(当日プリントを配布して演習、解説)
第10回：Unit 9 (Super Solos: Catering to Japan's singletons)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第11回：Unit 11 (Dialects: How English is spoken across the world)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第12回：Unit 13 (Mentalism: Mastering the human brain)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第13回：Unit 15 (Memory Hack: The one study habit every student needs to know)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第14回：Unit 18 (International Space Station: Is it worth the money?)
　　+　期末テスト説明　+　アンケート
第15回：Unit 20 (Helping Hands: The growing role of robots in Japan)
　　+　期末テスト説明　+　アンケート
期末試験

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になることがあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today by Dave Rear. Seibido.(2022).
ISBN 978-4-7919-7254-8.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041218) Communicative English Ⅱ JE(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

・小テスト:20%（教科書リスニング部分の書き取り 5*4-欠席回数，持込一切不可）
・中間試験1：20%（教科書リーディング部分の空所補充20問，持込一切不可）
・中間試験2：20%（中間試験1と同じ）
・12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
　Listening と Reading の合計(Total)
　　550- :20
　　500- :18
　　450- :16
　　400- :14
　　350- :12
　　300- :10
　　-295 :0
・e-learning：20%
　「%完了」の全期平均
　　95- :20
　　90-94 :18
　　85-90 :16
　　80-84 :14
　　75-79 :12
　　70-74 :10
　　65-69 :8
　　60-65 :6

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。

優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書を利用し，リスニング及びリーディングの練習を行います。さらにその内容について英語でメモしたり，英語で答えたりする練習を行います。

【授業計画】
第1回（10/4）：Introduction to the course, Unit 1
第2回（10/11）：Unit 2, mock TOEIC 1
第3回（10/18）：Unit 3, quiz 1
第4回（10/25）：Unit 4, mock TOEIC 2
第5回（11/8）：Unit 5-6, quiz 2
第6回（11/15）：Unit 7-8, mock TOEIC 3
第7回（11/22）：Unit 9, quiz 3
第8回（11/29）：Unit 10, mid-term exam 1
第9回（12/6）：Unit 11-12, mock TOEIC 4
授業外（12/9）TOEIC L&R（詳細は11月に授業で連絡）
第10回（12/13）：Unit 13-14
第11回（12/20）：Unit 15-16, quiz 4
第12回（1/10）：Unit 17
第13回（1/17）：Unit 18, quiiz 5
第14回（1/24）：Unit 19, mid-term exam 2
第15回（1/31）：Unit 20, Follow-up
授業外 e-learning（11月，12月，1月に課題締切，詳細は授業で連絡）

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って復習をして下さい。

教科書・参考書等

Rear, D. 2022. Understanding the World Today.
Seibido. 9784-791972548.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041219） Communicative English Ⅱ JE(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Readingを主に Listening、 Speaking、 Grammar learning など、全スキルアプローチを基に教員の説明と学習者の実践で展開します。

【授業計画】

第 1回：オリエンテーション、コミュニケーション活動
第 2回：unit 1. Smart Phones Deserve Smart Users

第 3回：unit 2. The Animals in Our Lives
第 4回：unit 3. Reforming Japan's Education System
第 5回：unit 4. A Hungry Future
第 6回：unit 5. No More Unwelcome Advertisements
第 7回：unit 6. A Living Wage
第 8回：unit 7. Keeping Mothers on the Payroll
第 9回：unit 8. Slow Life, unit 9. Volunteering
第10回：unit 10. Longevity:a Mixed Blessing, unit 11. The Importance of Biodiversity
第11回：unit 12. A Home for Endangered Storks, unit 13. Japan's Future Energy Supply
第12回：unit 14. Green Transportation, unit 15. How Much Is Nature Worth?
第13回：unit 16. Business Can Be Green, unit 17. Storing Energy
第14回：unit 18. A Dollar a Day, unit 19. Beyond Fair Trade
第15回：unit 20. Shrink the Economy, Not the Earth、復習
第16回：最終試験

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト

授業ではテキストを使用します。オリエンテーションでの指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What's Going On in the World？ David Peaty & Kahori Kobayashi
成美堂 ISBN:978-4-7919-6027-9

オフィスアワー 月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041220） Communicative English Ⅱ JE(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）40%・期末試験：20%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

英語読解を中心に，リスニング，スピーキング（リテリング）の課題を通じて，総合的な英語コミュニケーション能力を養う。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション（以下読解テクストのテーマを記す）
第2回：Steve Jobs
第3回：Guggenheim Museum and Online Art
第4回：High-tech Robot to Milk Cows
第5回：IT for Schools in the UK
第6回：Powerchair Football
第7回：The Culture of Cosplay in Asia
第8回：Leading-edge Technology for Athlete Training and Health

第9回：Digital Detoxing
第10回：Abbey Road
第11回：Biofuel
第12回：NY High Line
第13回：The Science behind Falling Love
第14回：On the Forefront of Alzheimer's Disease
第15回：Laughter Yoga

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Strategic reading for Global Communication by Eiichi Yubune, et.al., Seibido (2022) 978-4-7919-7247-0

オフィスアワー　月曜４校時，水野研究室（幸町南２号館３階）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041221) Communicative English Ⅱ JE(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・課題・授業での活動状況: 30%
＊中間・期末試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

授業は予習を前提として、テキストに沿って進めていきます。単なる意味の理解だけではなく、読みとったことをもとにして、ペアやグループでディスカッションなどのSpeaking活動やWriting活動も含めます。

【授業計画】

第1 回：オリエンテーション
第2 回：Unit 1
第3 回：Unit 2
第4 回：Unit 4
第5 回：Unit 5
第6 回：Unit 6
第7 回：Unit 7

第8 回：中間試験
第9 回：Unit 9
第10回：Unit12
第11回：Unit14
第12回：Unit15
第13回：Unit16
第14回：Unit17
第15回：Unit19

各回で扱うUnitは様子を見ながら変更する可能性があります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
＊全授業対面で行う予定です。

教科書・参考書等

Peaty,D. & Kobayashi,K. (2017). What's Going On in the World. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-6027-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041222) Communicative English Ⅱ JE(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&Rの結果：20%
＊小テスト：20%
＊期末テスト：20%
＊課題：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等　会話練習
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 Steve Jobs
第 2回：Unit　2 Guggenheim Museum and Online Art
第 3回：Unit　3 High-tech Robot to Milk Cows
第 4回：Unit　4 It for Schools in the UK
第 5回：Unit　5 Powerchair Football

第 6回：小テスト①　Unit　6 The Culture of Cosplay in Asia
第 7回：Unit　7 Leading-edge Technology for Athlete Training and Health
第 8回：Unit　8 Digital Detoxing
第 9回：Unit　9 Abbey Road
第10回：Unit 10 Biofuel
第11回：小テスト②　Unit 11 NY High Line
第12回：Unit 12 The Science behind Falling in Love
第13回：Unit 13 On the Forefront of Alzheimer's Disease
第14回：Unit 14 Laughter Yoga
第15回：Unit 15 Obesity and the More Affluent in India
まとめ

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Strategic Reading for Global Information　Eiichi Yubune 他　SEIBIDO　2022年　ISBN978-4-7919-7247-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041223） Communicative English Ⅱ JE(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊In-class participation and effort: 20%
＊Midterm Exam: 20%
＊Final Exam: 20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Every week, students need to prepare the unit from the textbook assigned by the teacher as homework. On the following week, the unit that students prepared will be studied in class.

【授業計画】

Tentative schedule (subject to change)
第1回：Introduction of the class: orientation and introductory speaking activities.
第2回: Unit 2
第3回: Unit 3
第4回: Unit 4

第5回: Unit 5
第6回: Unit 6
第7回: Unit 7
第8回: Midterm Test
第9回: Unit 8
第10回: Unit 9
第11回: Unit 10
第12回: Unit 12
第13回: Unit 13
第14回: Unit 14
第15回: Unit 15
Final test week: Final test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

AFP World News Report 6. Makoto Shishido, Kevin Murphy, Mariko Takahashi. Seibido (2022). ISBN: 978-4-7919-7250-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041224) Communicative English Ⅱ JE(14) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Readingを主に Listening、 Speaking、 Grammar learning など、全スキルアプローチを基に教員の説明と学習者の実践で展開します。

【授業計画】

第 1回：オリエンテーション、コミュニケーション活動
第 2回：lesson 1. Natural vs Artificial

第 3回：lesson 2. Relocating vs Protecting Buildings
第 4回：lesson 3. Disease Prevention vs Economic Growth
第 5回：lesson 4. Extracurricular Activity vs Studying Hard
第 6回：lesson 5. Traditional Living vs Urbanization
第 7回：lesson 6. Fair Trade vs Free Trade
第 8回：lesson 7. Environmental Activism vs International Agreements
第 9回：lesson 8. Alternative vs Fossil Energy
第10回：lesson 9. Vegetarians vs Meat Eaters
第11回：lesson10. Endangered Species vs Diplomacy
第12回：lesson11. Old vs New Industries
第13回：lesson12. Needed vs Not Needed、lesson13. Traditional vs Innovative
第14回：lesson14. Climate Change vs Natural Cycle、lesson15. Natural vs Artificial
第15回：lesson16. Archeology vs Treasure Hunting、復習
第16回：最終試験

【自学自習に関するアドバイス】

(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対　策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　テキスト

授業ではテキストを使用します。オリエンテーションでの指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

AFP World News Report 6　Makoto Shishido, Kevin Murphy, & Mariko Takahashi
成美堂 ISBN:978-4-7919-7250-0

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041225) Communicative English Ⅱ JE(15) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30%
＊期末テスト20%（未受験の場合は単位を認定しない）
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では遠隔授業を行います。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit1 100-Yen Shops: Still going strong
第3回：Unit2 Work-Life Balance: Do it like the Germans
第4回：Unit3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies
第5回：Unit4 Universal Basic Income: An idea whose time has come?
第6回：Unit5 Remote Work: A new way to live and work
第7回：Unit6 Tricks of the Trade: How companies get us to spend
第8回：Unit7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body

第9回：Unit8 Social Media: Big tech's addiction to addiction
第10回：Unit9 Super Solos: Catering to Japan's singletons
第11回：Unit10 Happiness: What is the secret?
第12回：Unit11 Dialects: How English is spoken across the world
第13回：Unit12 Child Prodigies: Raising a little genius
第14回：Unit13 Mentalism: Mastering the human brain
第15回：Unit14 The Origins of Language: How did humans learn to speak?
第16回：期末テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today. (Dave Rear). 2022. Seibido. ISBN:9784791972548.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041226) Communicative English Ⅱ JE(16) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊＊小テスト：10%・課題：10％・授業での発表等（予習・復習）：20％・中間試験：10%・期末試験：10％
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 6
第6回：Unit 7
第7回：Unit 8
第8回：中間試験

第9回：TOEIC対策
第10回：Unit 11
第11回：Unit 12
第12回：Unit 13
第13回：Unit 16
第14回：Unit 17
第15回：Unit 18

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What’s going on in the World? by David Peaty, Kahori Kobayashi. Seibido (2017) 978-4-7919-6027-9.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041227) Communicative English Ⅱ JE(17) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己，竹中 千鶴	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・課題・授業での活動状況: 30%
＊中間・期末試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

授業は予習を前提として、テキストに沿って進めていきます。単なる意味の理解だけではなく、読みとったことをもとにして、ペアやグループでディスカッションなどのSpeaking活動やWriting活動も含めます。

【授業計画】

第1 回：オリエンテーション
第2 回：Unit 1
第3 回：Unit 2
第4 回：Unit 4
第5 回：Unit 5
第6 回：Unit 6
第7 回：Unit 7

第8 回：中間試験
第9 回：Unit 9
第10回：Unit12
第11回：Unit14
第12回：Unit15
第13回：Unit16
第14回：Unit17
第15回：Unit19

各回で扱うUnitは様子を見ながら変更する可能性があります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
＊全授業対面で行う予定です。

教科書・参考書等

Peaty,D. & Kobayashi,K. (2017). What's Going On in the World. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-6027-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041228) Communicative English Ⅱ JE(18) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊小テスト：20%
＊期末テスト：20%
＊課題：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等　会話練習
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 Steve Jobs
第 2回：Unit　2 Guggenheim Museum and Online Art
第 3回：Unit　3 High-tech Robot to Milk Cows
第 4回：Unit　4 It for Schools in the UK
第 5回：Unit　5 Powerchair Football

第 6回：小テスト①　Unit　6 The Culture of Cosplay in Asia
第 7回：Unit　7 Leading-edge Technology for Athlete Training and Health
第 8回：Unit　8 Digital Detoxing
第 9回：Unit　9 Abbey Road
第10回：Unit 10 Biofuel
第11回：小テスト②　Unit 11 NY High Line
第12回：Unit 12 The Science behind Falling in Love
第13回：Unit 13 On the Forefront of Alzheimer's Disease
第14回：Unit 14 Laughter Yoga
第15回：Unit 15 Obesity and the More Affluent in India
まとめ

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Strategic Reading for Global Information　Eiichi Yubune 他　SEIBIDO　2022年　ISBN978-4-7919-7247-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041231) Communicative English Ⅱ T(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，ﾌﾞﾙｽｳﾞｨｰﾝ ｱﾏﾄﾞ ﾀﾎﾞｱﾀﾞ	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
　Quizzes - 15%,　Midterm Exam - 20%,　Final Exam - 25%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Each lesson will cover at least an entire unit, the class will learn about relevant vocabulary and expressions from a wide range of topics.
There will be listening, and comprehension activities and short reading activities followed by a class discussion where the students are expected to share their ideas and opinions to the class.
The classes for this course will be face-to-face. Depending on the situation, the format for all or some of the classes maybe changed remotely.

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：

2nd : Lesson 1 ? Natural vs Artificial: For AI Voice assistance
3rd : Lesson 2 ? Relocating vs Protecting Buildings: How to preserve historical sites
4th : Lesson 3 ? Disease Prevention vs Economic Growth: Which comes first?
5th : Lesson 4 ? Extracurricular Activity vs Studying Hard: Discipline for preventing crimes
6th : Lesson 5 ? Traditional Living vs Urbanization: Is noise pollution?
7th : Lesson 6 ? Fair Trade vs Free Trade: What is best for farmers?
8th : Lesson 7 ? Environmental Activism vs International Agreements: Which is better?
9th : Lesson 8 ? Alternative vs Fossil Energy: Power for the future
10th : Lesson 9 ? Vegetarian vs Meat Eaters: Fighting dietary habits for the environment
11th : Lesson 10 ? Endangered Species vs Diplomacy: Animal Rights
12th : Lesson 11 ? Old vs New Industries: Solving Unemployment
13th : Lesson 12 ? Needed vs Not Needed: Affirmative Action
14th : Lesson 13 ? Traditional vs Innovative: Food culture you prefer
15th : Lesson 14 ? Climate Change vs Natural Cycle: Is Earth really warming?

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

AFP World News Report 6 by MakotoShishido, Kevin Murphy,Mariko TakahashiSeibido (2022) 978-4-7919-7250-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041232) Communicative English Ⅱ T(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊In-class participation and effort: 20%
＊Midterm Exam: 20%
＊Final Exam: 20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Every week, students need to prepare the unit from the textbook assigned by the teacher as homework. On the following week, the unit that students prepared will be studied in class.

【授業計画】

Tentative schedule (subject to change)
第1回：Introduction of the class: orientation and introductory speaking activities.
第2回: Unit 2
第3回: Unit 3
第4回: Unit 4

第5回: Unit 5
第6回: Unit 6
第7回: Unit 7
第8回: Midterm Test
第9回: Unit 8
第10回: Unit 9
第11回: Unit 10
第12回: Unit 12
第13回: Unit 13
第14回: Unit 14
第15回: Unit 15
Final test week: Final test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

AFP World News Report 6. Makoto Shishido, Kevin Murphy, Mariko Takahashi. Seibido (2022). ISBN: 978-4-7919-7250-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041233) Communicative English Ⅱ T(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊授業への参加度：10%
＊Moodleによる小テスト(10)： 30%
＊期末試験：20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Each class will focus on readings and activities in the textbook (Understanding the World Today). There will be regular quizzes (a total of 10, using Moodle) on the content of each unit. We will use the textbook for group writing and speaking practice. Students are expected to complete English Central assignments outside of class. From time to time we will do exercises to prepare students for the TOEIC. We will begin each class with a brief communicative warm-up to get students into English mode.

【授業計画】

第1回：Introductions; Understanding the World Today (UTWT) Unit 1

第2回：UTWT Unit 2
第3回：UTWT Unit 3
第4回：UTWT Unit 4
第5回：UTWT Unit 5
第6回：UTWT Unit 6
第7回：UTWT Unit 7
第8回：UTWT Unit 8
第9回：TOEIC Practice test
第10回：UTWT Unit 9
第11回：UTWT Unit 10
第12回：UTWT Unit 11
第13回：UTWT Unit 12
第14回：UTWT Unit 13
第15回：UTWT Unit 14
第16回：期末試験
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Rear, D. (2022). Understanding the World Today. Seibido. ISBN: 978-4-7919-7254-8.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041234） Communicative English Ⅱ T(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊midterm exam: 20%
＊final exam: 20%
＊in class effort: 20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Class Plan]

1St: Orientation (self introductions, course explanation and English activities.
Week 1: Unit 1: 100-Yen Shops: Still going strong (shopping vocabulary)
week 2: Unit 2: Work-Life Balance: Do it like the Germans (cultural differences)
Week 3: Unit 3: Lasting the Ages: Japan’s 200-year-old companies (work culture)
Week 4: Unit 4: Universal Basic Income: An idea whose time has come? (societal issues)
week 5: Unit 5: Remote Work: A new way to live and work (careers and lifestyles)
week 6: Unit 6: Tricks of the Trade: How companies get us to spend (advertising)
Week 7: midterm exam

week 8: Unit 7: The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body (hobbies and interests)
week 9: Unit 8: Social Media: Big tech’s addiction to addiction (habits and addictions)
week 10: Unit 9: Super Solos: Catering to Japan’s singletons (meeting new people)
week 11: Unit 10: Happiness: What is the secret? (describing feelings and strategies for happiness)
week 12: Unit 11: Dialects: How English is spoken across the world (differences in international English)
week 13: Unit 12: Child Prodigies: Raising a little genius (education and development)
week 14: Unit 13 Mentalism: Mastering the human brain (psychology and habits)
Week 15: Unit 14: The Origins of Language: How did humans learn to speak? (nature and stages)
Week 16: final exam
Outside Class (Schedule Is Specified Separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework .

教科書・参考書等

Understanding the World Today by David Rear. Seibido(2021) 978-4-7919-7228-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041235) Communicative English Ⅱ T(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

・小テスト:20%（教科書リスニング部分の書き取り 5*4-欠席回数，持込一切不可）
・中間試験1：20%（教科書リーディング部分の空所補充20問，持込一切不可）
・中間試験2：20%（中間試験1と同じ）
・12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
　Listening と Reading の合計(Total)
　　550- :20
　　500- :18
　　450- :16
　　400- :14
　　350- :12
　　300- :10
　　-295 :0
・e-learning：20%
　「%完了」の全期平均
　　95- :20
　　90-94 :18
　　85-90 :16
　　80-84 :14
　　75-79 :12
　　70-74 :10
　　65-69 :8
　　60-65 :6

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書を利用し，リスニング及びリーディングの練習を行います。さらにその内容について英語でメモしたり，英語で答えたりする練習を行います。

【授業計画】
第1回（10/2）：Introduction to the course, Unit 1
第2回（10/16）：Unit 2, mock TOEIC 1
第3回（10/23）：Unit 3, quiz 1
第4回（10/31 Tue）：Unit 4, mock TOEIC 2
第5回（11/6）：Unit 5-6, quiz 2
第6回（11/13）：Unit 7-8, mock TOEIC 3
第7回（11/20）：Unit 9, quiz 3
第8回（11/27）：Unit 10, mid-term exam 1
第9回（12/4）：Unit 11-12, mock TOEIC 4
第10回（12/5）：Unit 13-14, quiz 4
授業外（12/9）TOEIC L&R（詳細は11月に授業で連絡）
第11回（12/11）：Unit 15-16
第12回（12/18）：Unit 17 quiz 5
第13回（1/15）：Unit 18
第14回（1/22）：Unit 19, mid-term exam 2
第15回（1/29）：Unit 20, Follow-up
授業外 e-learning（11月，12月，1月に課題締切，詳細は授業で連絡）

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って復習をして下さい。

教科書・参考書等

Rear, D. 2022. Understanding the World Today.
Seibido. 9784-791972548.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041236) Communicative English Ⅱ T(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，田口　明美	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊ 授業態度・提出物: 10%
＊ 小テスト: 20%
＊ 期末試験: 30%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この授業は主にテキストに沿って演習活動を行います。
第8回に小テスト、第16回に期末試験を行います。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション&Unit1
第2回: Unit2
第3回: Unit3
第4回: Unit4

第5回: Unit5
第6回: Unit6
第7回: Unit7
第8回: 小テスト&Unit8
第9回: Unit9
第10回: Unit10
第11回: Unit11
第12回: Unit12
第13回: Unit13
第14回: Unit14
第15回: まとめの学習
第16回: 期末試験

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What's Going On in the World? (David Peaty, Kahori Kobayashi).成美堂.2017) ISBN 978-4-7919-6027-9 2000円＋税10%

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験があります。外国文化に対する知識や理解を深めていただきながら、受講生の英語力の向上を目指します。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041237) Communicative English Ⅱ T(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊授業態度及び各活動への取り組み：30%
＊各試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】本講義は全回対面授業を行います。授業内容はテキストを用いた演習（コミュニケーション活動中心）と，TOEIC対策としての実践的演習です。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7

第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What's Going On in the World? David Peaty, Kahori Kobayashi. SEIBIDO (2017)
ISBN:978-4-7919-6027-9

オフィスアワー　授業終了後講義室にて

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041238) Communicative English Ⅱ T(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 辻　梨花	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

*授業参加（宿題を含む）：20%
*小テスト：40%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

本授業では、指定の教材の内容を中心にUnitごとに授業を進める。リーディング問題が中心となるが、ペアワークなどを取り入れ能動的な参加を促す。

【授業計画】

第1回：Introduction
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6

第8回：Unit 7　&　小テスト
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13　&　小テスト
第15回：Unit 14 &　Wrap-up

【自学自習に関するアドバイス】
第1回：事前に指定の教科書を購入し、第1回の授業に持ってくること。
第2回～第１５回：指示を受けた各ユニットからの宿題は必ず事前にやってくるように。
第７回：　小テストを行う。普段の授業の練習をもとにした出題になるので、しっかり課題を毎回こなすように。
第１４回：　小テストを行う。普段の授業の練習をもとにした出題になるので、しっかり課題を毎回こなすように。
You are encouraged to communicate with your instructor and classmates in English. Your enthusiastic participation will encourage your classmates to speak more in English as well; your participation matters!

教科書・参考書等

What's Going On in the World? by David Peaty and Kahori Kobayashi
Publisher: Seibido
ISBN: 9784791960279
Price: 2000 yen + tax

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041239) Communicative English Ⅱ T(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Readingを主に Listening、 Speaking、 Grammar learning など、全スキルアプローチを基に教員の説明と学習者の実践で展開します。

【授業計画】

第 1回：オリエンテーション、コミュニケーション活動
第 2回：unit 1. Smart Phones Deserve Smart Users

第 3回：unit 2. The Animals in Our Lives
第 4回：unit 3. Reforming Japan's Education System
第 5回：unit 4. A Hungry Future
第 6回：unit 5. No More Unwelcome Advertisements
第 7回：unit 6. A Living Wage
第 8回：unit 7. Keeping Mothers on the Payroll
第 9回：unit 8. Slow Life, unit 9. Volunteering
第10回：unit 10. Longevity:a Mixed Blessing, unit 11. The Importance of Biodiversity
第11回：unit 12. A Home for Endangered Storks, unit 13. Japan's Future Energy Supply
第12回：unit 14. Green Transportation, unit 15. How Much Is Nature Worth?
第13回：unit 16. Business Can Be Green, unit 17. Storing Energy
第14回：unit 18. A Dollar a Day, unit 19. Beyond Fair Trade
第15回：unit 20. Shrink the Economy, Not the Earth、復習
第16回：最終試験

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト

授業ではテキストを使用します。オリエンテーションでの指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What's Going On in the World？ David Peaty & Kahori Kobayashi
成美堂 ISBN:978-4-7919-6027-9

オフィスアワー 月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041240） Communicative English Ⅱ T(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2－15回：1回ずつ内容を記載してください。定期試験は15回に含めません。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
【授業計画】
第1回:Unit 1 - オリエンテーション　＋　Smart Phones Deserve Smart Users
第2回:Unit 2 - The Animals in Our Lives
第3回:Unit 3 - Reforming Japan's Education System
第4回:Unit 4 - A Hungry Future
第5回:Unit 5 - No More Unwelcome Advertisements
第6回:Unit 6 - A Living Wage
第7回:Unit 7 - Keeping Mothers on the Payroll
第8回:Unit 8 - Slow Life
第9回:Unit 9 - Volunteering
第10回:Unit 10 - Longevity - A Mixed Blessing
第11回:Unit 11 - The Importance of Biodiversity
第12回:Unit 12 - A Home for Endangered Storks
第13回:Unit 13 - Japan's Future Energy Supply
第13回:Unit 14 - Green Transportation
第15回:Unit 15 - How Much in Nature Worth?

教科書・参考書等

未来へく道　What's Going On in the World?
By David Peaty and Kaho Kobayashi. Seibido. ISBN 978-4-7919-6027-9
¥1900.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を35年以上前から毎日直面しています。３１年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。中学校、幼稚園、一般会社などの英語教師経験があります。TOEICの面接官の仕事もしていました。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041241） Communicative English Ⅱ T(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・課題・授業内活動：30%
＊期末試験：30％
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：教科書Unit 16・TOEIC演習　第3回：教科書Unit 17・TOEIC演習
第4回：教科書Unit 18・TOEIC演習　第5回：教科書Unit 19・TOEIC演習
第6回：教科書Unit 20・TOEIC演習　第7回：教科書Unit 1・TOEIC演習
第8回：教科書Unit 2・TOEIC演習　第9回：教科書Unit 3・TOEIC演習
第10回：教科書Unit 4,5　第11回：教科書Unit 6,7
第12回：教科書Unit 8,9　第13回：教科書Unit 10,11
第14回：教科書Unit 12,13　第15回：教科書Unit 14,15
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【授業及び学習の方法】
　授業前半は教科書内容とTOEIC演習の二本立てで授業を展開し、後半は教科書を用いた英語による演習活動・グループ活動等を行います。この科目は全回対面授業を行います。なお、状況によっては全て又は一部の回の授業形態を遠隔に変更する可能性があります。

【自学自習のためのアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
　授業ではテキストを使用します。予習・復習の内容について授業時に具体的に指示します。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What’s going on in the World?
by David Peaty, Kahori Kobayashi. Seibido (2017) ISBN: 978 4 7919 6027 9.

オフィスアワー　火曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基にTOEIC対策を含む総合的な英語の授業を行います。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041242） Communicative English Ⅱ T(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 杉田　貴瑞	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業課題：30%
＊期末試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は全回対面授業を行います。授業毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 50分：e-learningのサポート等、教科書の担当範囲における予習の確認等
50分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 6

第7回：Unit 7
第8回：Unit 8
第9回：Unit 9
第10回：Unit 11
第11回：Unit 13
第12回：Unit 14
第13回：Unit 17
第14回：Unit 18
第15回：Unit 20
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。毎週該当UnitのReadingを授業前に一度聞いておいてください。また、その際に単語の意味などについても予習してください。
(3)　授業課題
　ほぼ毎週の授業後に課題を出します。期日までにMoodle上から提出してください。詳細は初回授業時に説明します。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

教科書
What’s going on in the World? by David Peaty, Kahori Kobayashi. Seibido (2017) 978-4-7919-6027-9.

オフィスアワー　月曜日12:10～13:30、北キャンパス5号館5階杉田研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041243) Communicative English Ⅱ T(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II T (13)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
6. 5 分程度の英語放送を、要点を把握しながら聞くことができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%
＊中間試験・期末試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この授業は基本的に≪対面授業≫形式で実施します。座席は指定制（初回に指定）です。毎回の授業の進め方は、次の通りです。

・授業開始～10分：Listening Quiz
・　～20分：復習テスト等
・　～終了：テキストを使用しての演習（各種Taskに五感を総動員して丁寧に対応することによって基本的英語認識力が高まります。音声発出を大切にしながら、そのような意識で書くTaskに臨んでください。）

【授業計画】

（全20 Unitsからなるテキストなので、各時間に扱うUnitは、第1回を除いて変更される可能性がありま

す。）
第 1回：オリエンテーション、Unit 1: Smart Phones Deserve Smart Users
第 2回：Unit 2: The Animals in Our Lives
第 3回：Unit 3: Reforming Japan's Education System
第 4回：Unit 4: A Hungry Future
第 5回：Unit 5: No More Unwelcome Advertisements
第 6回：Unit 6: A Living Wage
第 7回：Unit 7: Keeping Mothers on the Payroll
第 8回：中間試験、Unit 8: Slow Life
第 9回：Unit 9: Volunteering
第10回：Unit 10: Longevity: a Mixed Blessing
第11回：Unit 11: The Importance of Biodiversity
第12回：Unit 12: A Home for Endangered Storks
第13回：Unit 13: Japan's Future Energy Supply
第14回：Unit 14: Green Transportation
第15回：Unit 15: How Much Is Nature Worth?
第16回：期末試験

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

【教科書】
What's Going On in the World, (David Peaty & Kahori Kobayashi). 2017. 成美堂. ISBN: 978-4-7919-6027-9 (2,000円＋税) (生協書籍部にて購入)

オフィスアワー 水曜日 13:00～15:00 (会議日を除く。他の日時も相談により可。いずれの場合も、メールで事前予約してください。)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041251) Communicative English Ⅱ A(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊In-class participation and effort: 20%
＊Midterm Exam: 20%
＊Final Exam: 20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Every week, students need to prepare the unit from the textbook assigned by the teacher as homework. On the following week, the unit that students prepared will be studied in class.

【授業計画】

Tentative schedule (subject to change)
第1回：Introduction of the class: orientation and introductory speaking activities.
第2回: Unit 2
第3回: Unit 3
第4回: Unit 4

第5回: Unit 5
第6回: Unit 6
第7回: Unit 7
第8回: Midterm Test
第9回: Unit 8
第10回: Unit 9
第11回: Unit 10
第12回: Unit 12
第13回: Unit 13
第14回: Unit 14
第15回: Unit 15
Final test week: Final test

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

AFP World News Report 6. Makoto Shishido, Kevin Murphy, Mariko Takahashi. Seibido (2022). ISBN: 978-4-7919-7250-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041252） Communicative English Ⅱ A(2) Communicative English Ⅱ Communicative English Ⅱ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，鳥越　洋子	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト、授業での発表、課題等（予習・復習）（課題は3分の2以上の提出が必須）20%・試験：30％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（リスニング、デックテーション、コミュニケーション活動）
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、前もってお知らせします。）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：The Animals in Our Lives
第3回：A Hungry Future
第4回：A Living Wage
第5回：Slow Life
第6回：Longevity ： a Mixed Blessing
第7回：The Importance of Biodiversity

第8回：まとめ，中間テスト
第9回：Japan's Future Energy Supply
第10回：Green Transportation
第11回：How Much Is Nature Worth?
第12回：Business Can Be Green
第13回：A Dollar a Day
第14回：Shrink the Economy,Not the Earth
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
　授業ではテキストを使用します。予習をしてから授業に臨んで下さい。
　課題に取り組み，必ず期限内に提出して下さい。

教科書・参考書等

テキスト　What's Going On in the World?
David Peaty,Kahori Kobayashi
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-6027-9　¥2200

オフィスアワー　別途指示

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041253) Communicative English Ⅱ A(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30%
＊期末テスト20%（未受験の場合は単位を認定しない）
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では遠隔授業を行います。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit1 100-Yen Shops: Still going strong
第3回：Unit2 Work-Life Balance: Do it like the Germans
第4回：Unit3 Lasting the Ages: Japan's 200-year-old companies
第5回：Unit4 Universal Basic Income: An idea whose time has come?
第6回：Unit5 Remote Work: A new way to live and work
第7回：Unit6 Tricks of the Trade: How companies get us to spend
第8回：Unit7 The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body

第9回：Unit8 Social Media: Big tech's addiction to addiction
第10回：Unit9 Super Solos: Catering to Japan's singletons
第11回：Unit10 Happiness: What is the secret?
第12回：Unit11 Dialects: How English is spoken across the world
第13回：Unit12 Child Prodigies: Raising a little genius
第14回：Unit13 Mentalism: Mastering the human brain
第15回：Unit14 The Origins of Language: How did humans learn to speak?
第16回：期末テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today. (Dave Rear). 2022. Seibido. ISBN:9784791972548.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041254） Communicative English Ⅱ A(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，中島　友愛	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊毎回の提出課題：25%
＊期末試験：25%
＊授業への熱心なとりくみ：10%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
・e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
・教科書を使用しての演習
・最後の約15分はTOEIC演習、または英語創作活動

※この授業は全回対面授業を行います。
(新型コロナウィルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前

に教員から配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。）
　授業形態にかかわらず第1回授業までに教科書を必ず購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
　　進め方・課題・成績評価方法を詳細に解説
　　第1回授業時に教科書を必ず持参すること。
(Unit 3, Unit 10などは扱いません。注意してください。)
第2回：Unit 1 (100-Yen Shops:Still going strong)　+　最後の15分はTOEIC演習
第3回：Unit 2 (Work-Life Balance: Do it like the Germans) +　最後の15分はTOEIC演習
第4回：Unit 4 (Universal Basic Income: An idea whose time has come?)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第5回：Unit 5 (Remote Work: A new way to live and work) +　最後の15分はTOEIC演習
第6回：Unit 6 (Tricks of the Trade: How companies get us to spend)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第7回：Unit 7 (The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body))
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第8回：Unit 8 (Social Media: Big tech's addiction to addiction)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第9回：TOEIC直前対策学習(当日プリントを配布して演習、解説)
第10回：Unit 9 (Super Solos: Catering to Japan's singletons)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第11回：Unit 11 (Dialects: How English is spoken across the world)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第12回：Unit 13 (Mentalism: Mastering the human brain)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第13回：Unit 15 (Memory Hack: The one study habit every student needs to know)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第14回：Unit 18 (International Space Station: Is it worth the money?)
　　+　期末テスト説明　+　アンケート
第15回：Unit 20 (Helping Hands: The growing role of robots in Japan)
　　+　期末テスト説明　+　アンケート
期末試験

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になることがあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today by Dave Rear. Seibido.(2022).
ISBN 978-4-7919-7254-8.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041255) Communicative English Ⅱ A(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊＊小テスト：10%・課題：10％・授業での発表等（予習・復習）：20％・中間試験：10%・期末試験：10％
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 6
第6回：Unit 7
第7回：Unit 8
第8回：中間試験

第9回：TOEIC対策
第10回：Unit 11
第11回：Unit 12
第12回：Unit 13
第13回：Unit 16
第14回：Unit 17
第15回：Unit 18

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What’s going on in the World? by David Peaty, Kahori Kobayashi. Seibido (2017) 978-4-7919-6027-9.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041256） Communicative English Ⅱ A(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・課題・授業での活動状況: 30%
＊中間・期末試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

授業は予習を前提として、テキストに沿って進めていきます。単なる意味の理解だけではなく、読みとったことをもとにして、ペアやグループでディスカッションなどのSpeaking活動やWriting活動も含めます。

【授業計画】

第1 回：オリエンテーション
第2 回：Unit 1
第3 回：Unit 2
第4 回：Unit 4
第5 回：Unit 5
第6 回：Unit 6
第7 回：Unit 7

第8 回：中間試験
第9 回：Unit 9
第10回：Unit12
第11回：Unit14
第12回：Unit15
第13回：Unit16
第14回：Unit17
第15回：Unit19

各回で扱うUnitは様子を見ながら変更する可能性があります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
＊全授業対面で行う予定です。

教科書・参考書等

Peaty,D. & Kobayashi,K. (2017). What's Going On in the World. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-6027-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041257) Communicative English Ⅱ A(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊授業態度及び各活動への取り組み：30%
＊各試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】本講義は全回対面授業を行います。授業内容はテキストを用いた演習（コミュニケーション活動中心），TOEIC対策としての実践的演習です。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7

第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What's Going On in the World? David Peaty, Kahori Kobayashi. SEIBIDO (2017)
ISBN:978-4-7919-6027-9

オフィスアワー　授業終了後講義室にて

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041261） Communicative English Ⅱ M(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

＊midterm exam: 20%
＊final exam: 20%
＊in class effort: 20%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

1 Course introduction followed buy chapter 1: Multisensory Art The Arts
2 Personality and Inner Growth Identity
3 The Subterranean World Nature and Humanity
4 Elements of Genius Achievement
5 Sports Medicine Careers
6 Cultural Awareness Culture
7 Midterm exam followed by chapter 7: Living off the Grid Lifestyles
8 The Actor’s Craft The Performing Arts
9 Eco-Packaging Conservation
10 Pop-up Shops Business Trends
11 Screen Time Growing Up
12 The World of the Super Rich Wealth and Giving

13 The Emotions of Animals Animals
14 Alien Linguistics Space
15 The Future of Reality The Future
16: final exam

Outside Class (Schedule Is Specified Separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class. Due to the current situation with corona virus, you should be prepared to switch to online classes at any given time.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework .

教科書・参考書等

Reading Fusion 3 Tankobon Hardcover ? January 24, 2020
ISBN-13 ? : ? 978-4523179047
2,420 Yen

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041262) Communicative English Ⅱ M(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%
＊語いリスト：30%
＊最終試験：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Readingを主に Listening、 Speaking、 Grammar learning など、全スキルアプローチを基に教員の説明と学習者の実践で展開します。

【授業計画】

第 1回：オリエンテーション、コミュニケーション活動
第 2回：lesson 1. Natural vs Artificial

第 3回：lesson 2. Relocating vs Protecting Buildings
第 4回：lesson 3. Disease Prevention vs Economic Growth
第 5回：lesson 4. Extracurricular Activity vs Studying Hard
第 6回：lesson 5. Traditional Living vs Urbanization
第 7回：lesson 6. Fair Trade vs Free Trade
第 8回：lesson 7. Environmental Activism vs International Agreements
第 9回：lesson 8. Alternative vs Fossil Energy
第10回：lesson 9. Vegetarians vs Meat Eaters
第11回：lesson10. Endangered Species vs Diplomacy
第12回：lesson11. Old vs New Industries
第13回：lesson12. Needed vs Not Needed、lesson13. Traditional vs Innovative
第14回：lesson14. Climate Change vs Natural Cycle、lesson15. Natural vs Artificial
第15回：lesson16. Archeology vs Treasure Hunting、復習
第16回：最終試験

【自学自習に関するアドバイス】

(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対　策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　テキスト

授業ではテキストを使用します。オリエンテーションでの指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

AFP World News Report 6　Makoto Shishido, Kevin Murphy, & Mariko Takahashi
成美堂 ISBN:978-4-7919-7250-0

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041263) Communicative English Ⅱ M(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 English Writing (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表等（予習・復習）：40%　・期末試験：20%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

医学，健康分野関連の英文読解を中心に，リスニング，スピーキング活動を行い，総合的英語力を養成する。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション（以下は各回の授業で取り上げるテーマ）
第2回：Sports and injuries
第3回：Blood circulation
第4回：Muscles and movement
第5回：Genetically modified (GM) food
第6回：The brain: language and sleep
第7回：Animals and humans
第8回：Agriculture and human health

第9回：Health and fitness
第10回：Food and nutrition
第11回：Drugs and the human body
第12回：Human immunity
第13回：Humans and their environments
第14回：Food issues and human health
第15回：Genetics

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CLIL Human Biology, by Shigeru Sasajima, et.al., Sanshusha (2016) 978-4-384-33460-9

オフィスアワー　月曜５校時　水野研究室（幸町南２号館３階）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041271） Communicative English Ⅱ NP(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊授業への参加度：10%
＊Moodleによる小テスト(10)： 30%
＊期末試験：20%
＊e-learning：20％
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：

・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60％未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

Each class will focus on readings and activities in the textbook (CLIL Human Biology: CLIL-HB). There will be regular quizzes (a total of 10, using Moodle) on the content of each unit. We will use the textbook for group writing and speaking practice. Students are expected to complete English Central assignments outside of class. From time to time we will do exercises to prepare students for the TOEIC. We will begin each class with a brief communicative warm-up to get students into English mode.

【授業計画】

第1回：Introductions; CLIL Human Biology (CLIL-HB) Unit 1

第2回：CLIL-HB Unit 2
第3回：CLIL-HB Unit 3
第4回：CLIL-HB Unit 4
第5回：CLIL-HB Unit 5
第6回：CLIL-HB Unit 6
第7回：CLIL-HB Unit 7
第8回：CLIL-HB Unit 8
第9回：TOEIC Practice test
第10回：CLIL-HB Unit 9
第11回：CLIL-HB Unit 10
第12回：CLIL-HB Unit 11
第13回：CLIL-HB Unit 12
第14回：CLIL-HB Unit 13
第15回：CLIL-HB Unit 14
第16回：期末試験
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Sasajima, S., Godfrey, C., Kojima, S., & Wilson, M. (2016). CLIL Human Biology. Sanshusha. ISBN: 978-4-384-33460-9.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041272） Communicative English Ⅱ NP(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，中島　友愛	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊毎回の提出課題：25%
＊期末試験：25%
＊授業への熱心なとりくみ：10%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
・e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
・教科書を使用しての演習
・最後の約15分はTOEIC演習、または英語創作活動

※この授業は全回対面授業を行います。
(新型コロナウィルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前

に教員から配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。）
　授業形態にかかわらず第1回授業までに教科書を必ず購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
　　進め方・課題・成績評価方法を詳細に解説
　　第1回授業時に教科書を必ず持参すること。
(Unit 3, Unit 10などは扱いません。注意してください。)
第2回：Unit 1 (100-Yen Shops:Still going strong)　+　最後の15分はTOEIC演習
第3回：Unit 2 (Work-Life Balance: Do it like the Germans) +　最後の15分はTOEIC演習
第4回：Unit 4 (Universal Basic Income: An idea whose time has come?)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第5回：Unit 5 (Remote Work: A new way to live and work) +　最後の15分はTOEIC演習
第6回：Unit 6 (Tricks of the Trade: How companies get us to spend)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第7回：Unit 7 (The Secret Life of Gamers: The boy who escaped his body))
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第8回：Unit 8 (Social Media: Big tech's addiction to addiction)
　　+　最後の15分はTOEIC演習
第9回：TOEIC直前対策学習(当日プリントを配布して演習、解説)
第10回：Unit 9 (Super Solos: Catering to Japan's singletons)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第11回：Unit 11 (Dialects: How English is spoken across the world)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第12回：Unit 13 (Mentalism: Mastering the human brain)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第13回：Unit 15 (Memory Hack: The one study habit every student needs to know)
　　+　最後の15分は英語創作活動
第14回：Unit 18 (International Space Station: Is it worth the money?)
　　+　期末テスト説明　+　アンケート
第15回：Unit 20 (Helping Hands: The growing role of robots in Japan)
　　+　期末テスト説明　+　アンケート
期末試験

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になることがあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&Rテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Understanding the World Today by Dave Rear. Seibido.(2022).
ISBN 978-4-7919-7254-8.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041273) Communicative English Ⅱ NP(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊授業態度及び各活動への取り組み：30%
＊各試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：20%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】本講義は全回対面授業を行います。授業内容はテキストを用いた演習（コミュニケーション活動中心）と，TOEIC対策としての実践的演習です。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7

第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R テスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

What's Going On in the World? David Peaty, Kahori Kobayashi. SEIBIDO (2017)
ISBN:978-4-7919-6027-9

オフィスアワー　授業終了後講義室にて

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041274) Communicative English Ⅱ NP(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Writing（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC L&R テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト・授業での発表（予習・復習）・課題（課題は3分の2以上の提出が必須）:20%　，試験：30%
＊e-learning：20%
＊12月のTOEIC L&R テストの結果：30%

なお、下記のいずれかに該当する場合は、単位が認定されないので注意をすること：
・健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合
・前期後期両方のTOEICが300点未満の場合（スコアは前期・後期どちらかが300点以上あればよい。）
・e-learning の学習達成率が60%未満の場合

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（リスニング、デックテーション、コミュニケーション活動）
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、前もってお知らせします。）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：The Animals in Our Lives
第3回：A Hungry Future
第4回：A Living Wage
第5回：Slow Life
第6回：Longevity ： a Mixed Blessing
第7回：The Importance of Biodiversity

第8回：まとめ，中間テスト
第9回：Japan's Future Energy Supply
第10回：Green Transportation
第11回：How Much Is Nature Worth?
第12回：Business Can Be Green
第13回：A Dollar a Day
第14回：Shrink the Economy,Not the Earth
第15回：まとめ
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
　授業ではテキストを使用します。予習をしてから授業に臨んで下さい。
　課題に取り組み，必ず期限内に提出して下さい。

教科書・参考書等

テキスト　What's Going On in the World?
David Peaty,Kahori Kobayashi
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-6027-9　¥2200

オフィスアワー　別途指示

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041281） Communicative English Ⅱ Z(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (1) 幸町キャンパス	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期月5	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III（卒業要件となっている場合）		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■
1年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者（ただしTOEICを受験していない学生，1年前期または過去にTOEICで400点以上を取得した学生は受講できません。後期に開講される通常のCommunicative English IIを再履修すること）。幸町または林町キャンパスで開講されるいずれかのクラスを選択し，各自で履修登録してください。

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。
全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担）。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：TOEIC Bridge テスト（新形式）で 54 点（TOEIC300 点相当）以上のスコアを取る。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。
TOEIC Bridgeスコア（授業内外の学習活動により加点）：100%
標準を超える授業外学習（少なくとも週3時間以上）および授業内活動については，授業一回当たり1点を期末のTOEIC Bridgeのスコアに加算し（逆に欠席は1回あたり3点減），合計54点以上を合格（C評価以上）とする。TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　基本的に毎回テキストに沿って授業を行う。予習を前提として文法の解説（教員による），問題演習（受講者から1人ずつ指名）を行う。なお，授業の最初と最後に小テストを実施し，予習状況および理解度を確認する。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 The Weather
第3回：Unit 2 Meetings & Messages

第4回：Unit 3 Health
第5回：Unit 4 Advertising & Sales
第6回：Unit 5 Investment & Office Supplies
第7回：Unit 6 Telephone Messages
第8回：Unit 7 Jobs & Promotions
第9回：Unit 8 Flights and Traveling
第10回：Unit 9 Housing
第11回：Unit 10 New Products & Electrical Appliances
第12回：Unit 11 Media
第13回：Unit 12 Ordering & Shipping
第14回：Unit 13 Customer Services
第15回：Unit 14 The Environment
　授業外（日程は別途指示）：TOEIC Bridgeテスト

【自学自習に関するアドバイス】
　毎回配布のプリントおよび教科書付属のCDを活用し，しっかり予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税

オフィスアワー　　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041282） Communicative English Ⅱ Z(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (2) 林町（工学部）キャンパス	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金5	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III（卒業要件となっている場合）		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■
1年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者（ただしTOEICを受験していない学生，1年前期または過去にTOEICで400点以上を取得した学生は受講できません。後期に開講される通常のCommunicative English IIを再履修すること）。幸町または林町キャンパスで開講されるいずれかのクラスを選択し，各自で履修登録してください。

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。
全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担）。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：TOEIC Bridge テスト（新形式）で 54 点（TOEIC300 点相当）以上のスコアを取る。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。
TOEIC Bridgeスコア（授業内外の学習活動により加点）：100%
標準を超える授業外学習（少なくとも週3時間以上）および授業内活動については，授業一回当たり1点を期末のTOEIC Bridgeのスコアに加算し（逆に欠席は1回あたり3点減），合計54点以上を合格（C評価以上）とする。TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　基本的に毎回テキストに沿って授業を行う。予習を前提として文法の解説（教員による），問題演習（受講者から1人ずつ指名）を行う。なお，授業の最初と最後に小テストを実施し，予習状況および理解度を確認する。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 The Weather
第3回：Unit 2 Meetings & Messages

第4回：Unit 3 Health
第5回：Unit 4 Advertising & Sales
第6回：Unit 5 Investment & Office Supplies
第7回：Unit 6 Telephone Messages
第8回：Unit 7 Jobs & Promotions
第9回：Unit 8 Flights and Traveling
第10回：Unit 9 Housing
第11回：Unit 10 New Products & Electrical Appliances
第12回：Unit 11 Media
第13回：Unit 12 Ordering & Shipping
第14回：Unit 13 Customer Services
第15回：Unit 14 The Environment
　授業外（日程は別途指示）：TOEIC Bridgeテスト

【自学自習に関するアドバイス】
　毎回配布のプリントおよび教科書付属のCDを活用し，しっかり予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税

オフィスアワー　　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041301） English Writing LJ(1) English Writing Communicative English Ⅳ	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ポール・バテン	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応。

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　In-class effort：30%　assignments：50%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

This class will focus on writing but with an emphasis on pair and group work on tasks in the class. By checking together to produce a written text, students will be encouraged and will learn better. The tasks in the text cover a variety of topics and introduce students to a good range of writing skills in English.

1. Course intro
2. Choose a Path, Chapter 1
3. Family Matters, Chapter 2
4. The Lunch of the Twelve, Chapter 3
5. The Glass is Half, Chapter 4
6. Gifted, Chapter 6
7. Joe and his Beans, Chapter 7
8. Mid-term check, review, questions.
9. The Eyes Have It, Chapter 8
10. A Nice Bike It Is, Chapter 9
11. Lunch Break, p 54
12. Lunch Break, p 54 (cont.)
13. The Long Sleep, p 89
14. The Last Human Teacher, p 93
15. Final review, check

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

教科書・参考書等
Stories without End. By Taylor Sapp. Alphabet Publishing. ISBN 978-1-948492-11-9
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。
教員の実務経験との関連
私にとっての外国語の日本語は、３５年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041302） English Writing LJ(2) English Writing English writing (LJ2)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework)　(approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term essay: 30%　Final essay: 60%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will be conducted face-to-face and center on a writing task in the textbook. Writing will be done in class and assigned as homework. The class will be conducted exclusively in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week 1: Orientation and introductions.
Week 2: Unit 1
Week 3: Unit 2
Week 4: Unit 3
Week 5: Unit 4
Week 6: Unit 5
Week 7: Unit 6
Week 8: Mid-term test

Week 9: Unit 7
Week 10: Unit 8
Week 11: Unit 9
Week 12: Unit 10
Week 13: Unit 11
Week 14: Unit 12
Week 15: Units 1-12 review
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

教科書・参考書等 Textbook/Materials
Writing from Within 2 2nd Edition (Kelly, C. & Gargadliano, A.) ISBN: 978-0-521-18834-0

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Lg1 授業科目名　（時間割コード：041303） English Writing LJ(3) English Writing English Reading	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　講義　グループワーク	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ジョナサン・ベリー	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) You should spend at least 1.5-2 hours per week on out-of-class preparation. Mainly reading activities will be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve your writing and reading skills. There will be a focus on developing writing skills across several genres such as summary writing, character description, reviews, etc. In addition, there will be an additional focus on developing your reading strategies and encouraging students to enjoy reading in English. This course builds upon the basic English communication skills developed in your general education English classes (Communicative English I-II).

授業の目的

授業の目的 General Objectives
This course aims to develop your writing and reading fluency, and positive attitudes to both of these skills. You will learn how to write more fluently and accurately, and more specifically, you will learn to write reflections and summaries of what you have read. You will become aware of issues surrounding plagiarism and practice skills such as paraphrasing to avoid this. During the course, you will read a range of graded readers at a level suitable with the purpose of increasing your fluency in the areas of vocabulary recognition and reading comprehension skills.

到達目標

On completion of this course, you should be able to:

1. Write well-developed paragraphs in English
2. Write different types of paragraphs (narrative, descriptive, compare & contrast, summary, etc)
3. Write and read with greater fluency and confidence
4. Summarize and paraphrase short written passages on a variety of topics
5. Competently proofread and correct their own writing
6. Utilize software to assist with writing
7. Share personal reactions to and opinions about books in informal situations
8. Complete quizzes to demonstrate comprehension

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on the criteria below:

Participation (in-class effort): 20%
Assignments (short essays): 40%
Mid-term writing task: 20%
Final writing task: 20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities designed to develop your writing and reading skills. You will select graded readers that appeal to you and spend time doing sustained silent reading (SSR). You

will complete short quizzes online to get word count credit. You will also engage in written pairs and/or groups where you will share your reflections on what you have read, and what you have learned for each book. You will learn writing skills in class. By the end of the course, you will have read a minimum of 70,000 words, and have completed a number of written assignments on Moodle consisting of book reports, summaries, etc. As a rule, Japanese will not be allowed in class. This class will be mainly taught face-to-face (in a regular classroom) however, depending on the situation with the current pandemic, this may be changed to online.

[Course Schedule]
Week 1: Reading placement test. You will need to bring a computer/tablet or smartphone to class to take this test. You will log into your XReading account and choose your first book. Reading assignment 1 - 5,000 words
Week 2: SSR; Writing Skills 1. Reading discussion. Reading assignment 2 - 5,000 words
Week 3: SSR; Writing Skills 1. Reading discussion. Reading assignment 3 - 5,000 words
Week 4: SSR; Writing Skills 2. Reading discussion. Reading assignment 4 - 5,000 words
Week 5: SSR; Writing Skills 2. Reading discussion. Reading assignment 5 - 5,000 words
Week 6: SSR; Writing Skills 3. Reading discussion. Reading assignment 6 - 5,000 words
Week 7: Mid-term review: Reading assignment 7 - 5,000 words
Week 8: Mid-term essay. You will make a presentation describing your favourite book to date; Reading assignment 8 - 5,000 words
Week 9: SSR; Writing Skills 4. Reading discussion. Reading assignment 9 - 5,000 words
Week 10: SSR; Writing Skills 4. Reading discussion. Reading assignment 10 - 5,000 words
Week 11: SSR; Writing Skills 5. Reading discussion. Reading assignment 11 - 5,000 words
Week 12: SSR; Writing Skills 5. Reading discussion. Reading assignment 12 - 5,000 words
Week 13: SSR; Writing Skills 6. Reading discussion. Reading assignment 13 - 5,000 words
Week 14: Book portfolio due; Final presentation workshop; Reading assignment 14 - 5,000 words
Week 15: End of term review. Reading assignment 15 - 5,000 words
Week 16: Final essay

[Self-Study]
Self-study will mainly consist of reading online books using 'xreading', taking quizzes and writing reflections about the books you read, and making notes of new vocabulary or phrases.

教科書・参考書等

You will be able to buy access cards/codes from the bookshop. More information will be posted on Moodle about this. Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー Contact the instructor to make an appointment.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

初回授業前にXreadingアクセスカードをご購入ください。第1回目の授業には、必ず携帯電話（テーブルまたはPC）を持参してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041304） English Writing LJ(4) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 200-300 words of different formats (including structured essays, creative writing, free writing.)

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

In-class effort: 30%
Essays written in class and at home: 70%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

(subject to change)

- Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions.
- Week 2: Unit 1
- Week 3: Unit 2, part 1
- Week 4: Unit 2, part 2
- Week 5: Unit 3

- Week 6: Unit 4, part 1
- Week 7: Unit 4, part 2
- Week 8: Unit 5
- Week 9: Unit 6, part 1
- Week 10: Unit 6, part 2
- Week 11: Unit 7
- Week 12: Unit 8, part 1
- Week 13: Unit 8, part 2
- Week 14: Unit 9
- Week 15: Unit 10

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Writing for Fluency and Accuracy. Boon, Andy. Cengage (2017) 978-4-86312-3069

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041305） English Writing LJ(5) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:

Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)

Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: Introduction to course and text.
week 2: Writing about self.
week 3: Reviews and critical analysis.
Week 4: Narrative in writing/relative pronouns.

week 5: Complaining in English.
week 6: Midterm presentation workshop.
week 7: Hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: Formality and manners in writing.
week 9: Abbreviations and appropriate use.
week 10: Travel writing.
Week 11: Explaining a process (cooking, making something.)
week 12: Historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Inside Writing 1: The Academic Word List in Context
Arline Burgmeier / Rachel Lange
Oxford University Press
ISBN: 978-0194601160

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041306) English Writing LJ(6) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ﾌﾞﾙｽｳﾞｨｰﾝ ｱﾏﾄﾞ ﾀﾎﾞｱﾀﾞ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 250 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 150-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20% In-class effort (independent and collaborative) : 25%
Mid-term essay: 25% Final essay: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2 : Unit 1 Building a Future. Discussion about architecture/buildings and how to describe them.
Week 3: Unit 1 (continuation). Learn descriptive langauge to be used for independent writing activity.
Week 4: Unit 2 Get the Right Advice. Read and tackle problem-solution essays.
Week 5: Unit 3 Marketing in Color. Read and identify the main ideas and discuss steps in writing a summary.

Week 6: Unit 3 (continuation) Read, highlight and retell the essay main ideas, then write a short summary.
Week 7: Unit 4 Being Prepared. Analyse a writer’s opinion on social issues; write anternatives topic sentences.
Week 8: Unit 5 Can Dream Come True? Read and analyse narrative writing essays and how they explain important events. Submit mid-term essays.
Week 9: Unit 6 The Wild World and Animals. Learn the used of factual writing and its use in science courses.
Week 10: (Unit 6) continuation. Brainstorming, then the students will have to present their work product.
Week 11: Unit 7 Are Superstores the Answer? Read articles that show similarities and differences.
Week 12: Unit 8 Understanding Brain Injuries . Study informal writing like in brochures and pamphlets.
Week 13 Unit 9 Our Thirst for Water. Writing about processes and sequence of events.
Week 14 (continuation) Write an essay describing a process and present output in class.
Week 15 Unit 10 How Our Bodies Protect Us. Read cause-and-effect writing samples, write effectiveparagraphs to convey ideas. Submit final’s essay.

[Suggestions for self-study]
Week 2-14: Students should complete assigned homework and read the next units in the book in advance.
Week 2: Students should search and read about descriptive words and basic paragraph structure.
Week 3-7: Search and read more samples of articles. Read the supplemental reading that will be provided.
Week 8: Review narrative writing essays and prepare to submit midterm essays. Week 9: Meet up with their groupmates to finsh the given group activity.
Week 11: Students have to search and cut-out/bring a sample brochure or pamphlet in class.
Week 12: Find videos online describing a process and should prepare to retell the sequence of events.
Week 13-14: Students have to work collabaratively with their groupmates and prepare to an essay.

教科書・参考書等

Inside Writing1 : The Academic Word List in Context

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041307) English Writing LJ(7) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Writing: 40%　In-class effort: 20%　Mid-term in class essay: 20%　Final portfolio: 20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Week 2: Unit 1 YOUR IDENTITY AS A WRITER
Week 3: Unit 1 YOUR IDENTITY AS A WRITER
Week 4: Unit 2 THE MOST BEAUTIFUL PLACE ON EARTH
Week 5: Unit 2 THE MOST BEAUTIFUL PLACE ON EARTH
Week 6: UNIT 3 YOUR IDEAS OF THE PERFECT FAMILY
Week 7: UNIT 3 YOUR IDEAS OF THE PERFECT FAMILY

Week 8: Mid term
Week 9: Unit 4 HOW TO WRITE COLLEGE REPORTS
Week 10: Unit 4 HOW TO WRITE COLLEGE REPORTS
Week 11: Unit 6 YOUR BEST (LONGEST, GREATEST, HAPPIEST, ECT) DAY
Week 12: Unit 6 YOUR BEST (LONGEST, GREATEST, HAPPIEST, ECT) DAY
Week 13: Unit 8 YOUR IDEAS ON TRADITIONAL JAPANESE CULTURE
Week 14: Unit 8 YOUR IDEAS ON TRADITIONAL JAPANESE CULTURE
Week 15: Work on Final Portfolio
Week 16: Final portfolio due

Introductions: Students should be prepared to introduce themselves in English.
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-7: Students should complete writing assignments, and prepare for the midterm writing test.
Week 8: In class writing midterm.
Week 9-15: Students should complete writing assignments, and revise write for the final portfolio.
Week: 16 Complete final portfolio.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to discuss their writing in class.
Week 11-13: Students should edit their writing the for final portfolio.
Week 14-15: Students should complete final portfolio.

教科書・参考書等

Effective Academic Writing, 2nd ed. Alice Savage. 9780194323451

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041308） English Writing LJ(8) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー･イアン･デビッド，竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「基本的な英文のパラグラフタイプを理解し、書きたい内容にふさわしい型を選び、300 語程度のエッセイを書くことができる」

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

日記の提出: 15%
授業中の取り組み: 35%
課題の提出（中間・期末テストも含む）: 50%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】授業は教師による説明や個人作業だけではなく、ペアやグループによる会話、ディスカッションなど互いに学び合う形式も取り入れます。また、自由にできるだけ多く書く作業と、できるだけ正確な文章を書くことを目指す作業をバランスよく活動内容に組み入れる予定です。

【授業計画】
第　１回　オリエンテーション
第　２回　Unit 1 (Narrative Paragraphs)
第　３回　Unit 2 (Narrative Paragraphs)
第　４回　Unit 3 (Descriptive Paragraphs)
第　５回　Unit 4 (Descriptive Paragraphs)
第　６回　Review
第　７回　Mid-term test
第　８回　Unit 5 (Compare and Contrast Paragraphs)
第　９回　Unit 6 (Compare and Contrast Paragraphs)
第１０回　Review
第１１回　Unit 7 (Cause and Effect Paragraphs)
第１２回　Unit 8 (Cause and Effect Paragraphs)
第１３回　Review
第１４回　Unit 11 (Opinion Paragraphs)
第１５回　Unit 12 (Opinion Paragraphs)

Test Week: Final test

【授業外学習に関するアドバイス】
＊第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
＊できるだけ正確な英文を書けるようにするために、各自辞書(英和、和英、英英）を用意しておいてください。紙、電子は問いません。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
＊全授業対面で行う予定です。

教科書・参考書等

Boon, Andy. (2017). Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning. ISBN; 978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041309） English Writing LJ(9) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 杉田　貴瑞	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で 200 語程度のジャーナルを書くことができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm essay：20%　Final essay：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

基本的にテキストに沿って授業を進めます。英文エッセイを書く事前準備、構成、草稿作り、推敲の順に学び、実際に一つのエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 (Who Am I?)前半
第3回：Unit 1 (Who Am I?)後半
第4回：Unit 2 (An important place)前半
第5回：Unit 2 (An important place)後半
第6回：Unit 3 (An ideal partner)前半
第7回：Unit 3 (An ideal partner)後半
第8回：Midterm Paper
第9回：Unit 4 (My favorite photo)
第10回：Unit 5 (My Seal)
第11回：Unit 6 (Party time)
第12回：Unit 7 (Thank-you note)
第13回：Unit 8 (Movie review)
第14回：Unit 9 (Friendship)
第15回：Unit 10 (Superhero powers)

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを8回目と15回目に提出してもらう予定である。8回目のエッセイをさらに発展させて、第15回目のエッセイにつなげる。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

＜準備学習＞
・教科書を進める授業回の前は、該当範囲を音読して、不明な語句などは辞書で調べる。また、指定された範囲の問題を解いておくこと。
・Midterm Paper、Final Paperの提出に際しては、原稿の準備を計画的にすること。

＜事後学習＞
・毎回の授業で示されたWritingのポイントをしっかりと再確認して、逐次進めているMidterm Paper、Final Paperの準備に役立てる。
・事前に準備した際に不明だった語句、ポイントについてはいっそう注意して再確認する。

教科書・参考書等

教科書
Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargadliano, A.)2011. CUP. ISBN 978-0521188272.

オフィスアワー　月曜日12:10～13:30、北キャンパス5号館5階杉田研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041310） English Writing LJ(10) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 中住　幸治	関連授業科目　主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 150~200 語程度のエッセイ、手紙、ジャーナル等を書くことができる」

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

Quiz：15%, In-class effort & homework：25%, Writings: 60%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
第1週：Unit 1（演習活動）
第2週：Unit 1（エッセイ作成・修正）
第3週:Unit 2（演習活動）
第4週:Unit 2（エッセイ作成・修正），Unit 3（演習活動）
第5週:Unit 3（エッセイ作成・修正）
第6週:Unit 4（演習活動）
第7週:Unit 4（エッセイ作成・修正），Unit 5（演習活動）
第8週:Unit 5（エッセイ作成・修正）
第9週:Unit 6（演習活動）
第10週:Unit 6（エッセイ作成・修正），Unit 7（演習活動）
第11週:Unit 7（エッセイ作成・修正）
第12週：Unit 8（演習活動）
第13週：Unit 8（エッセイ作成・修正）
第14週：Unit 9（演習活動）
第15週：Unit 9（エッセイ作成・修正）

【授業の方法】基本的にテキストに沿って授業を行います。
brainstorming→organization→drafting→editing→feedback、という流れでエッセイを書いてもらいます。この科目は全回対面授業を行います。なお、状況によっては全て又は一部の回の授業形態を遠隔に変更する可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。また課題の提出期限も厳守して下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1 Second Edition. Cambridge University Press. ISBN: 9780521188272

オフィスアワー　火曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基に英語ライティングについて演習を行います。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041311） English Writing LJ(11) English Writing English Writing LJ (11)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 永尾　智	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」（中間試験と期末試験に出題する。）
4. 5 分程度の英語放送を要点を把握しながら聞くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz & In-class efforts：40%　Midterm Test：20%　Final Test：40%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この授業は基本的に《対面授業》形式で実施します。座席は指定制（初回に指定）です。毎回、初めの10分ほどは【Listening Quiz】（5分程度の英語放送を聞き、内容把握の英問英答Q&A）を行います。その後、前時にユニット終了していれば10分程度でUnit Quizを行います。授業本編は、授業１～２回で１ユニット進みます。Unit QuizにはWritten Assignmentがありますが、Quizでは扱わず、中間試験と期末試験でこのうち１～３題を解答してもらいます。Written Assignmentの問題はテキスト本文の応用作文（200語～500語程度）です。各本文テキストはWriting Modelという位置づけの文章です。自分が同じテーマでEssayを書くつもりで読み込み、理解・運用することが求められます。また、そういう気持ちで取り組むことで自然にWriting力の養成に挑むことにもなります。テキストには各種Taskがふんだんに配置されています。これらは基礎的な英文を「書くこと」を重視した問いかけになっています。問いかけに対して面倒くさがらずにきちんと書き出して書記力を五感で体得しながら、基本的英語認識力の養成に意識的に取り組むことによってWritingの基礎的能力の向上を目指します。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション、Unit1①: Staying Healthy
第2回：Unit1②、Unit1 Review Quiz、Unit2①: Reading the Rings
第3回：Unit2②、Unit2 Review Quiz、Unit3①：Life in Space
第4回：Unit3②、Unit3 Review Quiz
第5回：Unit4①：What Should I DO?
第6回：Unit4②、Unit4 Review Quiz、Unit5①：Green Beauty
第7回：Unit5②、Unit5 Review Quiz
第8回：中間試験
第9回：Unit6①：Ice Sheets in Mongolia
第10回：Unit6②、Unit6 Review Quiz

第11回：Unit7①：When the Earth Moves
第12回：Unit7②、Unit7 Review Quiz
第13回：Unit8①：Eating Right
第14回：Unit8②、Unit8 Review Quiz
第15回：Unit9：Painting a Story
第16回：期末試験
【授業外学習に関するアドバイス】
・第1回授業には事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。（教科書を買わずに授業に出席してはなりません。コピー等の利用は著作権法違反になるばかりでなく、各自の学習力向上にマイナスとなりますし、何より学習者自身の学習意欲を疑われます。必ず購入してください。）
・第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
・上述のように、英語エッセイを中間試験と期末試験で解答してもらいます。各試験の50％の配点となります。各問題(Written Assignment)は本文に倣った英文を書くことを求める問題です。本文を学習する際に、自分が書き手であるという気持ちで取り組むことがAssignmentの準備となり、攻略のカギになります。
・最初の２～３回の授業で学習方法に慣れてもらう必要があるので、これらの回での欠席はよくありません。
・外国語力とは、最後の最後は語彙力です。外国語学習者にふさわしい辞書活用学習を心がけてください。Oxford Advanced Learners Dictionary等に付属のDVDをPCに落として随時活用しましょう。
・NHK語学講座、English Express、英字新聞等、英語学習手段をどれか一つ追加して、英語学習全体時間を広げてみましょう。

教科書・参考書等

【教科書】
『Inside Writing: Student Book INTRO』, by Walton Burns, Oxford UP, 2014, ISBN: 978-0-19-460106-1
（3,360円＋税）　生協書籍部にて購入

オフィスアワー　水曜日　13:00～15:00　（会議日を除く。他の日時も相談により可。いずれの場合も、メールで事前予約してください。）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041312） English Writing LJ(12) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

エッセイライティングの理論と実践で展開する。英文での自由作文ではなく、効果的な論文を書けるようにするために、毎回、エッセイライティングのスキルを解説し、定着のための演習活動を行う。演習活動とは、テキストの各unitのエクササイズを始め、実際にパラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験してもらう。

授業の目的

英文の構造、論理構成を知り、まずはパラグラフ、最終的にはエッセイを完成することを目標とする。
日本語とは異なる、英文での文章展開に関しての新しい知見や発想を得ることによって、readingやspeechにも役に立つことになり、英語力を各段に向上させることにもつながる。また、自身の論文を世界に公表できるベーススキルが習得できる。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 450 語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間試験パラグラフ：30%　　最終試験エッセイ：40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

1コマにテキストの1unitを学習する。毎回、復習に重点を置き、確実な定着を図る。時にcommunication activityを行う。

＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）、communication activity
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Starting from Scratch
第4回：unit 2　Home is Where Your Heart is
第5回：unit 3　You Only Live Once
第6回：unit 4　TheApple of Your eye
第7回：unit 5　Actions Speak Louder than Words
第8回 ： unit 6　Once in a Blue Moon
第9回 ： unit 7　Saved by the Bell
第10回 ： unit 8　“X” Marks the Spot
第11回 ： unit 9　Format & Structure Review
第12回 ： unit 10　Variety is the Spice of life

第13回：unit 11, 12　It’s All Greek to Me, Everything but the Kitchen Sink
第14回：unit 13, 14　Haste Makes Waste, Style Review
第15回：unit 15　Bigger is Better

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。

教科書・参考書等

Writing Together. Mark D. Stafford. Kinseido. ISBN 978-4-7647-3977-2

オフィスアワー　　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041321） English Writing ED(1) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ジュリアン・セイント	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. [Depending on ability level of students: Instructor should select appropriate goal/goals] Write English essays of approximately [number] words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

[The arrangement below is only an example. The instructor should arrange evaluation criteria according to her/his own plan. Final examinations may also be used as evaluation criteria.]
Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term essay: 20%　Final essay: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Homework will be issued weekly as "Moodle Assignments". These will be writing assignments based on contents from the textbook.

[Course Schedule]

Week 1 Orientation: Coursework from "Writing for Fluency and Accuracy" (WFA) ? Unit 1: Moodle Assignment 1
Week 2: WFA ? Unit 1: Moodle Assignments 2
Week 3: WFA ? Unit 2: Moodle Assignment 3

Week 4: WFA ? Unit 3: Moodle Assignment 4
Week 5: WFA ? Unit 4: Moodle Assignment 5
Week 6: WFA ? Unit 5: Moodle Assignment 6
Week 7: WFA ? Unit 6: Midterm Essay* preparation: Moodle Assignment 7
Week 8: Midterm Essay Assignment* (in-class)
Week 9: WFA ? Unit 7: Moodle Assignment 8
Week 10: WFA ?Unit 8: Moodle Assignment 9
Week 11: WFA ?Unit 9: Moodle Assignment 10
Week 12: WFA ? Unit 10:
Week 13: WFA ? Unit 11: Final Essay* outline due (Academic Topic)
Week 14: WFA 12:
Week 15: Final Essay* workshop
Week 16: Final Essay Assignment* (in-class)

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2-7: Students should complete assigned homework and writing assignments. Students should be preparing brainstorm maps and outlines for Midterm Essays*.
Week 8: Midterm Essay* writing assignment.
Weeks 9-15: Students should complete assigned homework and be prepared to provide brainstorming maps Venn diagrams, and outlines for Final Essay*.
Week 16: Final Essay* writing assignment.
* Essays will be collected during weeks 8 and 16. Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

教科書・参考書等 Textbook/Materials
Title: Writing for Fluency and Accuracy: Student Book (Andy Boon)
Publisher: センゲージ・ラーニング (January 1, 2017)
ISBN-13: 978-4863123069

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Lg1 **授業科目名** (時間割コード：041322) English Writing ED(2) English Writing English Reading	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 講義 グループワーク	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ジョナサン・ベリー	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) You should spend at least 1.5-2 hours per week on out-of-class preparation. Mainly reading activities will be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve your writing and reading skills. There will be a focus on developing writing skills across several genres such as summary writing, character description, reviews, etc. In addition, there will be an additional focus on developing your reading strategies and encouraging students to enjoy reading in English. This course builds upon the basic English communication skills developed in your general education English classes (Communicative English I-II).

授業の目的

授業の目的 General Objectives
This course aims to develop your writing and reading fluency, and positive attitudes to both of these skills. You will learn how to write more fluently and accurately, and more specifically, you will learn to write reflections and summaries of what you have read. You will become aware of issues surrounding plagiarism and practice skills such as paraphrasing to avoid this. During the course, you will read a range of graded readers at a level suitable with the purpose of increasing your fluency in the areas of vocabulary recognition and reading comprehension skills.

到達目標

On completion of this course, you should be able to:

1. Write well-developed paragraphs in English
2. Write different types of paragraphs (narrative, descriptive, compare & contrast, summary, etc)
3. Write and read with greater fluency and confidence
4. Summarize and paraphrase short written passages on a variety of topics
5. Competently proofread and correct their own writing
6. Utilize software to assist with writing
7. Share personal reactions to and opinions about books in informal situations
8. Complete quizzes to demonstrate comprehension

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on the criteria below:

Participation (in-class effort): 20%
Assignments (short essays): 40%
Mid-term writing task: 20%
Final writing task: 20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities designed to develop your writing and reading skills. You will select graded readers that appeal to you and spend time doing sustained silent reading (SSR). You

will complete short quizzes online to get word count credit. You will also engage in written pairs and/or groups where you will share your reflections on what you have read, and what you have learned for each book. You will learn writing skills in class. By the end of the course, you will have read a minimum of 70,000 words, and have completed a number of written assignments on Moodle consisting of book reports, summaries, etc. As a rule, Japanese will not be allowed in class. This class will be mainly taught face-to-face (in a regular classroom) however, depending on the situation with the current pandemic, this may be changed to online.

[Course Schedule]
Week 1: Reading placement test. You will need to bring a computer/tablet or smartphone to class to take this test. You will log into your XReading account and choose your first book. Reading assignment 1 - 5,000 words
Week 2: SSR; Writing Skills 1. Reading discussion. Reading assignment 2 - 5,000 words
Week 3: SSR; Writing Skills 1. Reading discussion. Reading assignment 3 - 5,000 words
Week 4: SSR; Writing Skills 2. Reading discussion. Reading assignment 4 - 5,000 words
Week 5: SSR; Writing Skills 2. Reading discussion. Reading assignment 5 - 5,000 words
Week 6: SSR; Writing Skills 3. Reading discussion. Reading assignment 6 - 5,000 words
Week 7: Mid-term review: Reading assignment 7 - 5,000 words
Week 8: Mid-term essay. You will make a presentation describing your favourite book to date; Reading assignment 8 - 5,000 words
Week 9: SSR; Writing Skills 4. Reading discussion. Reading assignment 9 - 5,000 words
Week 10: SSR; Writing Skills 4. Reading discussion. Reading assignment 10 - 5,000 words
Week 11: SSR; Writing Skills 5. Reading discussion. Reading assignment 11 - 5,000 words
Week 12: SSR; Writing Skills 5. Reading discussion. Reading assignment 12 - 5,000 words
Week 13: SSR; Writing Skills 6. Reading discussion. Reading assignment 13 - 5,000 words
Week 14: Book portfolio due; Final presentation workshop; Reading assignment 14 - 5,000 words
Week 15: End of term review. Reading assignment 15 - 5,000 words
Week 16: Final essay

[Self-Study]
Self-study will mainly consist of reading online books using 'xreading', taking quizzes and writing reflections about the books you read, and making notes of new vocabulary or phrases.

教科書・参考書等

You will be able to buy access cards/codes from the bookshop. More information will be posted on Moodle about this. Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー Contact the instructor to make an appointment.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

初回授業前にXreadingアクセスカードをご購入ください。第1回目の授業には、必ず携帯電話（タブレットまたはPC）を持参してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041323） English Writing ED(3) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，アダム・ブロッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Writing: 20%. Reading Journal: 20% In-class effort: 20% Mid-term in class essay: 20% Final portfolio: 20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Week 2: YOUR CLASS PROFILE
Week 3: YOUR CLASS PROFILE
Week 4: EXPLAIN HOW TO WRITE REPORTS IN COLLEGE
Week 5: EXPLAIN HOW TO WRITE REPORTS IN COLLEGE
Week 6: YOUR (BEST, LONGEST, WORST, ECT) DAY EVER
Week 7: YOUR (BEST, LONGEST, WORST, ECT) DAY EVER
Week 8: Mid term
Week 9: YOUR IDEAS OF THE PERFECT FAMILY
Week 10:YOUR IDEAS OF THE PERFECT FAMILY

Week 11: THE MOST BEAUTIFUL PLACE ON EARTH
Week 12: THE MOST BEAUTIFUL PLACE ON EARTH
Week 13: YOUR IDEAS ON TRADITIONAL JAPANESE CULTURE
Week 14: YOUR IDEAS ON TRADITIONAL JAPANESE CULTURE
Week 15: Work on Final Portfolio
Week 16: Final portfolio due

Introductions: Students should be prepared to introduce themselves in English.
Week 1: Students should register for xReader before the first class and choose a book to start reading.
Week 2-7: Students should complete writing assignments, and prepare for the midterm writing test.
Week 8: In class writing midterm.
Week 9-15: Students should complete writing assignments, and revise write for the final portfolio.
Week: 16 Complete final portfolio.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to discuss their writing in class.
Week 11-13: Students should edit their writing the for final portfolio.
Week 14-15: Students should complete final portfolio.

教科書・参考書等

XReading

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041324） English Writing ED(4) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

エッセイライティングの理論と実践で展開する。英文での自由作文ではなく、効果的な論文を書けるようにするために、毎回、エッセイライティングのスキルを解説し、定着のための演習活動を行う。演習活動とは、テキストの各unitのエクササイズを始め、実際にパラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験してもらう。

授業の目的

英文の構造、論理構成を知り、まずはパラグラフ、最終的にはエッセイを完成することを目標とする。
日本語とは異なる、英文での文章展開に関しての新しい知見や発想を得ることによって、readingやspeechにも役に立つことになり、英語力を各段に向上させることにもつながる。また、自身の論文を世界に公表できるベーススキルが習得できる。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 450 語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間試験パラグラフ：30%　　最終試験エッセイ：40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

1コマにテキストの1unitを学習する。毎回、復習に重点を置き、確実な定着を図る。時にcommunication activityを行う。

＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）、communication activity
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Starting from Scratch
第4回：unit 2　Home is Where Your Heart is
第5回：unit 3　You Only Live Once
第6回：unit 4　TheApple of Your eye
第7回：unit 5　Actions Speak Louder than Words
第8回 ： unit 6　Once in a Blue Moon
第9回 ： unit 7　Saved by the Bell
第10回 ： unit 8　“X” Marks the Spot
第11回 ： unit 9　Format & Structure Review
第12回 ： unit 10　Variety is the Spice of life

第13回：unit 11, 12　It’s All Greek to Me, Everything but the Kitchen Sink
第14回：unit 13, 14　Haste Makes Waste, Style Review
第15回：unit 15　Bigger is Better

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。

教科書・参考書等

Writing Together. Mark D. Stafford. Kinseido. ISBN 978-4-7647-3977-2

オフィスアワー　　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041325） English Writing ED(5) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で 200 語程度のジャーナルを書くことができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト：20%
＊課題・授業参加：30%
＊Mid-term Essay：20%
＊Final Essay：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始-15分　クイズ　会話練習
15分-終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　　Unit　1 Orange Clothing
第 2回：Unit　2 A reasonable Dream
第 3回：Unit　3 Japan's Popular Wave
第 4回：小テスト①(Unit 1,2,3)　　Unit　4 Color Matters
第 5回：Unit　5 Business, Not Bullets
第 6回：Unit　6 Spices for Life!
第 7回：小テスト②(Unit 4,5,6)　　Unit　7 Plastic Planet
第 8回：　Mid-term Essay
第 9回：Unit　9 Jacques's Lung
第10回：Unit 10 Disease vs. Hunger
第11回：小テスト③(Unit 7,9,10)　　Unit 11 May We have a Catalog, Please?
第12回：Unit 12 Bright Little Lights
第13回：Unit 13 Popular but Penniless

第14回：小テスト④(Unit 11,12,13) Unit 14 taxing the Robots
第15回： Final Essay

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をして臨むこと。
第8回と第15回のEssayについては事前に授業で周知する。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

WRITING KEY English Grammar and Usage for Better Writing Yasuyuki Kitao 他 KINSEIDO 2022年 ISBN978-4-7647-4086-0

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041326) English Writing ED(6) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で 200 語程度のジャーナルを書くことができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Essay：40%　In-class effort：30%　Journal：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Review
第9回：Unit 7
第10回：Unit 8
第11回：Unit 9
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Review

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

その他：上記の授業計画は授業の進捗次第で変更の可能性があります。 ＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。
教科書・参考書等 Writing for Fluency and Accuracy by Boon, A Cengage (2017) 978-4-86312-3069
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041327） English Writing ED(7) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　Communicative English I, Communicative English II, English Speaking		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min.each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 minutes per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to become more fluent, accurate, and reader-focused writers by the end of the 15-week semester. Students' reading, listening, and speaking skills will improve as well.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Write well-developed paragraphs in English;
2. Write different types of paragraphs (narrative, descriptive, compare & contrast, cause & effect, & summary)
3. Competently proofread and correct their own writing;
4. Complete at least ten 120-word writing assignments on Moodle;
5. Use writing tools such as Grammarly and DeepL while writing in their own authentic voice;
6. Read their own writing aloud to other students in groups or before the class, while making eye contact;
7. Improve their overall English communication skills through pair and group speaking tasks.

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on the criteria below:
Participation (in-class effort): 50 points (20%)
Moodle essays (10 in total): 100 points (40%)
Mid-term writing task: 50 points (20%)
Final writing task: 50 points (20%)

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
We will use the textbook (Stories Without End (SWE)) in each class. Using the textbook, students will engage in timed writing tasks as well as pair and group activities involving writing and speaking. Students must write at least ten 120+ word assignments on Moodle as homework. Students will receive advice on how to write effective paragraphs of different types: narrative, descriptive, compare and contrast, cause and effect, and summary. Students will also write basic essays and very short stories. There will be a Mid-term and Final writing task. Class activities will be conducted only in English to improve students' overall English skills.

【Class schedule】
Week 1: Introductions; Begin Stories Without End (SWE)

Week 2: SWE & writing skills
Week 3: SWE & writing skills
Week 4: SWE & writing skills
Week 5: SWE & writing skills
Week 6: SWE & writing skills
Week 7: SWE & writing skills
Week 8:Mid-term writing task
Week 9: SWE & writing skills
Week 10: SWE & writing skills
Week 11: SWE & writing skills
Week 12: SWE & writing skills
Week 13: SWE & writing skills
Week 14: SWE & writing skills
Week 15: Final writing task

【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should do assigned homework in the textbook and complete writing assignments on Moodle.

教科書・参考書等

Sapp, Taylor. (2018). Stories Without End. Alphabet Publishing. ISBN: 978-1948492119

オフィスアワー　Information about office hours will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

必ず指定された教科書を購入の上、第１回目の授業に出席して下さい。健康上の理由以外で4回以上欠席する場合は単位が認定されません。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041328） English Writing ED(8) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ヒル　スティーブ	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 1000 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

In-class effort: 20%
Homework writing tasks: 60%
Final Test: 20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content + Tackle unit 1 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 2: Tackle unit 2 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 3: Tackle unit 3 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 4: Group work activity based on one of the themes from units 1-3.
Week 5: Tackle unit 4 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 6: Tackle unit 5 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 7: Tackle unit 6 of the textbook and complete the writing task for homework.

Week 8: Group work activity based on one of the themes from units 4-6.
Week 9: Tackle unit 7 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 10:Tackle unit 8 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 11:Tackle unit 9 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 12:Group work activity based on one of the themes from units 7-9.
Week 13: Tackle unit 10 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 14: Tackle unit 12 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 15: How to write an anecdote

[Suggestions for self-study]
Students should read as many authentic materials as possible which are related to the themes of the textbooks, e.g. book and movie reviews, internet blogs, etc.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargadliano, A.)2011. CUP. ISBN 978-0521188272.

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041329) English Writing ED(9) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー･イアン･デビッド，瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度［提出率・課題内容など］、小テスト、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（提出率、課題内容、小テストほか）６０％、期末テスト４０％（未受験の場合は単位を認定しない）。ただし、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、成績不振による救済措置等は行わない。

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回：Chapter1 Be動詞
第３回：Chapter2 Have動詞
第４回：Chapter3 一般動詞
第５回：Chapter4 名詞と冠詞
第６回：Chapter5 代名詞
第７回：小テスト①（予定）
第８回：Chapter6 時制１
第９回：Chapter7 時制２
第10回：Chapter8 時制３
第11回：Chapter9 時制４
第12回：小テスト②（予定）
第13回：Chapter10 疑問詞
第14回：Chapter11 助動詞１
第15回：Chapter12 助動詞２
第16回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】
事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
適宜小テストを行うので、復習しておくこと。
小テストの範囲は、前週までの章からです。
小テストを行う際には前週に通知します。

教科書・参考書等

長坂昇 他.(2013).『Keystone -Grammar-based English Writing-　基本英文から現代英語表現へ』成美堂.ISBN:9784791912926

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041330) English Writing ED(10) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，森川　光与	**関連授業科目** 主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を自分の言葉で要約することができる。
4. 限られた時間の中で、英語で 200 語程度の文章を辞書を使わずに書くことができる

1～4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Homework：30%　In-class effort：25%　Writing assignments 20%　Final Paper / Presentation：25%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】社会人として求められる基本的英語のライティング力を磨くため、様々なシチュエーションのライティングを練習します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

様々なライティングスタイルを学び、クラスメートと互いに切磋琢磨しながらさらにレベルの高いライティングスタイルを確立していきます。

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 Write about yourself. 自分について自由に書く
第3回：Unit 1 前週に書いたものをピアレビュー
第4回：Unit 3 Write about an ideal partner ポイントの列挙。理由の書き方を学ぶ
第5回：Unit 3 前週に書いたものをピアレビュー
第6回：Unit 4 My favorite photo バックグランド情報を書く。結論の書き方を学ぶ
第7回：Unit 4 前週に書いたものをピアレビュー
第8回：ここまでのレビュー
第9回：Unit 7 Thank you noteの書き方を実践で学ぶ
第10回：Unit 9 Friendship サポートセンテンスの書き方を学ぶ
第11回：Unit 9 前週に書いたものをピアレビュー
第12回：Unit 10 Superhero 例文の追加の仕方を学ぶ

第13回：Unit 10 前週に書いたものをピアレビュー
第14回：Unit 12 Lessons learned 説明の仕方を学ぶ
第15回：ここまでのレビューと期末に向けての準備

期末も含めて3回のライティング課題があります。詳細および日程はクラスでお伝えします。
期末試験期間：ライティング課題のうちの最終回3回目を実施。

教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを数回提出していただきます。タイトル等の指示は授業内で行います。

【授業外学習に関するアドバイス】
毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。ライティングの基礎力にはリーディングが不可欠です。英語の読み物に触れることを意識しましょう。また日々英語に触れるためのヒントを授業内でご紹介します。

教科書・参考書等

Writing from Within 1 (2nd Edition) by Kelly, C. & Gargadliano, A. CUP (2011) 978-0521188272

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041331） English Writing ED(11) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 辻　梨花	**関連授業科目** 主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイや Email を書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignments: 30%
Participation: 20%
Midterm quiz: 25 %
Final quiz: 25%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

本授業では、指定の教科書に沿って授業を進める。EmailやShort Essaysなどさまざまな場面で必要になるライティングの練習をする。授業では毎回パソコンを使います。

【授業計画】

第1回：　Introduction
第２回：　Unit 1
第３回：　Unit 2
第４回：　Unit 3
第５回：　Unit 4
第６回：　Unit 5
第７回：　Unit 6
第８回：　Unit 7　& Midterm Quiz
第9回：　Unit 8
第１０回: Unit 9
第１１回: Unit 10
第１２回: Unit 11
第１３回: Unit 12
第14回: Unit 13 & Final Quiz
第15回: Unit 14 & Wrap-Up

【授業外学習に関するアドバイス】
準備物：　このクラスでは毎回パソコンを使ってクラスでの提出物を作成し提出します。なのでパソコンを毎回持ってきてください。またパソコンを十分に充電してもってくるか、充電器を持ってくるなど各自準備をするように。
第1回：事前に指定の教科書を購入し、第1回の授業に持ってくること。
第2回～第１５回：指示を受けた各ユニットからの宿題は必ず事前にやってくるように。
第７回：　Midterm quizを行う。普段の授業の練習をもとにしたquizになるので、しっかり課題を毎回こなすように。
第１４回：　Final quizを行う。普段の授業の練習をもとにしたquizになるので、しっかり課題を毎回こなすように。
You are encouraged to communicate with your instructor and classmates in English. Your enthusiastic participation will encourage your classmates to speak more in English as well; your participation matters!

教科書・参考書等

Effective Writing for Global Communication: Email, Paragraph, and Essay by Kazumichi Enokida, Walter Davies and Fuyuko Takita
Publisher: EIH?SHA
ISBN: 97842696320123
Price: 2,300 yen + tax

オフィスアワー　　月曜日4時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041332) English Writing ED(12) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 翻訳サイトをコピペするのではなく，ワードプロセッサのスペルチェック・文法チェック・類義語辞典等のツールと，ネットのコロケーション・フレーズ検索を利用して，自分だけの英語を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を，平易な英語で要約することができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

毎週の課題提出: 40%（翻訳サイトやウェブからそのままコピペしているものは0点）
mid-term exam 1: 30%
mid-term exam 2: 30%
examsは教科書Reading部分の空所補充３０問

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
(1) 毎週のトピックについてのリーディング
(2) 内容についてのディスカッション
(3) 様々な表現と構文についての練習
(4) 自分の意見を英語で書き，テキストファイルを提出

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。

wk 1 (Apr 14): introduction / ch 1 (cause and effect)
wk 2 (Apr 21): ch 2 (compare and contrast)
wk 3 (Apr 28): ch 3 (giving an opinion)
wk 4 (May 2, Tue): ch 4 (classification)
wk 5 (May 12): ch 6 (descriptive writing)
wk 6 (May 19): ch 7 (persuasive writing)
wk 7 (May 26): mid-term exam 1 / ch 5 (describing a process)
wk 8 (Jun 2): ch 9 (pros and cons)
wk 9 (Jun 9): ch 10 (advice)

wk 10 (Jun 16): ch 11 (writing to clarify)
wk 11 (Jun 23): ch 13 (problem solving)
wk 12 (Jun 30): ch 14 (writing to entertain)
wk 13 (Jul 7): ch 15 (writing to inspire)
wk 14 (Jul 14): mid-term exam 2 / ch 8 (writing to evaluate)
wk 15 (Jul 21): ch 12 (reflection) / follow-up

【授業外学習に関するアドバイス】
授業時間内に英文パラグラフを完成するため，パソコン・ワープロの操作と辞書・コロケーションの検索に慣れておこう。

教科書・参考書等

Hickling & Yashima. (2020).
Jigsaw - Insightful Reading to Successful Writing.
Cengage. ISBN 9784863123694.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041341） English Writing T(1) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，平尾　陽子	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200 語程度のジャーナルを書くことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm essay：20%　Final essay：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、3-Point Academic Writing Unit 1
第2回：Unit 2　第3回：Unit 3
第4回：Unit 4　第5回：Unit 5
第6回：Unit 6　第7回：Unit 7（Midterm essay 提出）
第8回：Unit 8　第9回：Unit 9
第10回：Unit 10　第11回：Unit 11
第12回：Unit 12　第13回：Unit 13
第14回：Unit 14　第15回：Unit 15（Final essay 提出）

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを７回目と15回目に提出してもらう予定である。
タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

3-Point Academic Writing: Organization, Content, Language ３つの要素で学ぶアカデミック・ライティングの基本　著者：深山晶子他　金星堂 ISBN: 978-4-7647-4087-7

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041342） English Writing T(2) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English written communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English compositions/essays of approximately 300 words about a wide range of topics

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort:50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Classwork will center on reading material on the online Xreading platform using a flipped classroom method. Students must complete the reading and writing activities as homework and then bring this material to class to improve with peers and their teacher during class time. Students will be given many opportunities to practice essential communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the x-reading subscription before the first class and familiarize themselves with the system before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content. X-reading registration log-in.
Week 2: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 3: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 4: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 5: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 6: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 7: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 8: Mid-term Assignment (20%) completed in class time only
Week 9: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 10: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials

Week 11: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 12: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 13: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 14: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 15: Final exam preparation.
? (Final exam to be completed in exam week) (30%)

1. Students are expected to engage in extensive reading using XReading. Students should read about 6,000 words per week.
2. Students must be prepared to discuss and complete activities on what they have read with their partner/group tutor.
3. Students should complete assigned homework before class using x-reading and Moodle systems in order to participate in each lesson.

教科書・参考書等

You will be able to buy x reading access cards/codes from the bookshop. More information will be posted on Moodle about this. Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041343） English Writing T(3) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，アーノルド・デビット	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework)　(approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Fill in official forms in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Completion of bi-weekly homework assignments 60%
Participation 40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。

【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds.　Writing will be done online.　Students will gain experience typing in English.　As a rule Japanese will not be allowed in class.

【Class schedule】
Week 1:　Introduction to the course and textbook work　Unit 1
Week 2: Unit 1 continued

Week 3: Unit 2
Week 4: Unit 2 continued
Week 5: Unit 3
Week 6: Unit 3 continued
Week 7: Unit 4
Week 8: Unit 4 continued
Week 9: Unit 5
Week 10: Unit 5 continued
Week 11: Unit 6
Week 12 Unit 6 continued
Week 13: Unit 7
Week 14: Unit 7 continued
Week 15: Unit 8

Suggestions for self-study
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Weeks 2 - 15: Students will work on textbook activities in class and complete writing assignments based on textbook topics for homework.

教科書・参考書等

教科書：Writing from Within 1 by Curtis Kelly & Arlen Gargagliono. CUP. 2011. ISBN: 978-0-521-188272

オフィスアワー　Office Hours: Students should contact the instructor at the email address below.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041344） English Writing T(4) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 100-200 words of different formats about different kinds of topics.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

In-class effort: 30%
Essays written in class and at home: 70%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
(Note that the schedule is tentative and subject to change)

- Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions.
- Week 2: Unit 1, part 1
- Week 3: Unit 1, part 2
- Week 4: Unit 2, part 1
- Week 5: Unit 2, part 2
- Week 6: Unit 3

- Week 7: Unit 3-4
- Week 8: Unit 4-5
- Week 9: Unit 5-6
- Week 10: Unit 6-7
- Week 11: Unit 7-8
- Week 12: Unit 8-9
- Week 13: Unit 9-10
- Week 14: Unit 10-11
- Week 15: Unit 11

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 (2nd Edition). Kelly, C. & Gargadliano, A. Cambridge University Press (2011) 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041345） English Writing T(5) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:

Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)

Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: Introduction to course and text.
week 2: Writing about self.
week 3: Reviews and critical analysis.
Week 4: Narrative in writing/relative pronouns.

week 5: Complaining in English.
week 6: Midterm presentation workshop.
week 7: Hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: Formality and manners in writing.
week 9: Abbreviations and appropriate use.
week 10: Travel writing.
Week 11: Explaining a process (cooking, making something.)
week 12: Historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Inside Writing 1: The Academic Word List in Context
Arline Burgmeier / Rachel Lange
Oxford University Press
ISBN: 978-0194601160

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041346) English Writing T(6) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，田口　明美	**関連授業科目** 主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業態度・提出物:20%
小テスト:20%
エッセイ2回:40%
期末試験:20%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この授業はテキストに沿って進めます。
第7回に小テストを行い、第8回と15回にエッセイを作成してもらいます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション&Unit1
第2回:Unit2
第3回:Unit3
第4回:Unit4
第5回:Unit5
第6回:Unit6
第7回:小テスト&Unit7
第8回:中間エッセイの作成
第9回:Unit8
第10回:Unit9
第11回:Unit10
第12回:Unit11
第13回:Unit12
第14回:Unit13

第15回:期末エッセイの作成

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第6回：小テストと中間エッセイに備えて下さい。
具体的な指示は授業時とネットワークを通して行います。
第9回～第14回期末エッセイに備えて下さい。
具体的な指示は授業時とネットワークを通して行います。

＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

English Missions! Basic.(Robert Hickling, Misato Usukura). 金星堂.2019. ISBN 978-4-7647-4071-6 C1082

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験を基に、受講生の英語ライティング能力の向上を目指します。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041347） English Writing T(7) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，平尾　陽子	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200 語程度のジャーナルを書くことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm essay：20%　Final essay：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、3-Point Academic Writing Unit 1
第2回：Unit 2　第3回：Unit 3
第4回：Unit 4　第5回：Unit 5
第6回：Unit 6　第7回：Unit 7（Midterm essay 提出）
第8回：Unit 8　第9回：Unit 9
第10回：Unit 10　第11回：Unit 11
第12回：Unit 12　第13回：Unit 13
第14回：Unit 14　第15回：Unit 15（Final essay 提出）

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを７回目と15回目に提出してもらう予定である。
タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

3-Point Academic Writing: Organization, Content, Language ３つの要素で学ぶアカデミック・ライティングの基本　著者：深山晶子他　金星堂 ISBN: 978-4-7647-4087-7

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041348） English Writing T(8) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English written communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English compositions/essays of approximately 300 words about a wide range of topics

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort:50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Classwork will center on reading material on the online Xreading platform using a flipped classroom method. Students must complete the reading and writing activities as homework and then bring this material to class to improve with peers and their teacher during class time. Students will be given many opportunities to practice essential communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the x-reading subscription before the first class and familiarize themselves with the system before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content. X-reading registration log-in.
Week 2: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 3: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 4: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 5: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 6: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 7: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 8: Mid-term Assignment (20%) completed in class time only
Week 9: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 10: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials

Week 11: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 12: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 13: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 14: Reading/ Writing practice utilizing x-reading materials
Week 15: Final exam preparation.
? (Final exam to be completed in exam week) (30%)

1. Students are expected to engage in extensive reading using XReading. Students should read about 6,000 words per week.
2. Students must be prepared to discuss and complete activities on what they have read with their partner/group tutor.
3. Students should complete assigned homework before class using x-reading and Moodle systems in order to participate in each lesson.

教科書・参考書等

You will be able to buy access cards/codes from the bookshop. More information will be posted on Moodle about this. Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041349） English Writing T(9) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，アーノルド・デビット	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework)　(approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Fill in official forms in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Completion of bi-weekly homework assignments 60%
Participation 40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。

【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds.　Writing will be done online.　Students will gain experience typing in English.　As a rule Japanese will not be allowed in class.

【Class schedule】
Week 1:　Introduction to the course and textbook work　Unit 1
Week 2: Unit 1 continued

Week 3: Unit 2
Week 4: Unit 2 continued
Week 5: Unit 3
Week 6: Unit 3 continued
Week 7: Unit 4
Week 8: Unit 4 continued
Week 9: Unit 5
Week 10: Unit 5 continued
Week 11: Unit 6
Week 12 Unit 6 continued
Week 13: Unit 7
Week 14: Unit 7 continued
Week 15: Unit 8

Suggestions for self-study
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Weeks 2 - 15: Students will work on textbook activities in class and complete writing assignments based on textbook topics for homework.

教科書・参考書等

教科書：Writing from Within 1 by Curtis Kelly & Arlen Gargagliono. CUP. 2011. ISBN: 978-0-521-188272

オフィスアワー　Office Hours: Students should contact the instructor at the email address below.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041350） English Writing T(10) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:

Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)

Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: Introduction to course and text.
week 2: Writing about self.
week 3: Reviews and critical analysis.
Week 4: Narrative in writing/relative pronouns.

week 5: Complaining in English.
week 6: Midterm presentation workshop.
week 7: Hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: Formality and manners in writing.
week 9: Abbreviations and appropriate use.
week 10: Travel writing.
Week 11: Explaining a process (cooking, making something.)
week 12: Historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Inside Writing 1: The Academic Word List in Context
Arline Burgmeier / Rachel Lange
Oxford University Press
ISBN: 978-0194601160

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041351） English Writing T(11) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 100-200 words of different formats about different kinds of topics.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

In-class effort: 30%
Essays written in class and at home: 70%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
(Note that the schedule is tentative and subject to change)

- Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions.
- Week 2: Unit 1, part 1
- Week 3: Unit 1, part 2
- Week 4: Unit 2, part 1
- Week 5: Unit 2, part 2
- Week 6: Unit 3
- Week 7: Unit 3-4

- Week 8: Unit 4-5
- Week 9: Unit 5-6
- Week 10: Unit 6-7
- Week 11: Unit 7-8
- Week 12: Unit 8-9
- Week 13: Unit 9-10
- Week 14: Unit 10-11
- Week 15: Unit 11

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 (2nd Edition). Kelly, C. & Gargadliano, A. Cambridge University Press (2011) 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041352) English Writing T(12) English Writing English Writing	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，田口　明美	**関連授業科目** 主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業態度・提出物:20%
小テスト:20%
エッセイ2回:40%
期末試験:20%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この授業はテキストに沿って進めます。
第7回に小テストを行い、第8回と第15回にエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション&Unit1
第2回:Unit2
第3回:Unit3
第4回:Unit4
第5回:Unit5
第6回:Unit6
第7回:小テスト&Unit7
第8回:中間エッセイの作成
第9回:Unit8
第10回:Unit9
第11回:Unit10
第12回:Unit11
第13回:Unit12
第14回:Unit13
第15回:期末エッセイの作成

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回:事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第6回:小テストと中間エッセイに備えて下さい。
具体的な指示は授業時とネットワークを通して行います。
第9回～第14回:期末エッセイに備えて下さい。
具体的な指示は授業時とネットワークを通して行います。

＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

English Missions! Basic.(Robert Hickling, Misato Usukura).金星堂.2019. ISBN 978-4-7647-4071-6-C1082

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験を基に、受講生の英語ライティング能力の向上を目指します。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041361） English Writing A(1) English Writing English writing (A1)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木3	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework)　(approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term essay: 30%　Final essay: 60%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will be conducted face-to-face and center on a writing task in the textbook. Writing will be done in class and assigned as homework. The class will be conducted exclusively in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week 1: Orientation and introductions.
Week 2: Unit 1
Week 3: Unit 2
Week 4: Unit 3
Week 5: Unit 4
Week 6: Unit 5
Week 7: Unit 6
Week 8: Mid-term test

Week 9: Unit 7
Week 10: Unit 8
Week 11: Unit 9
Week 12: Unit 10
Week 13: Unit 11
Week 14: Unit 12
Week 15: Units 1-12 review
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

教科書・参考書等 Textbook/Materials
Writing from Within 2 2nd Edition (Kelly, C. & Gargadliano, A.) ISBN: 978-0-521-18834-0

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041362） English Writing A(2) English Writing English writing (A2)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework)　(approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term essay: 30%　Final essay: 60%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will be conducted face-to-face and center on a writing task in the textbook. Writing will be done in class and assigned as homework. The class will be conducted exclusively in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week 1: Orientation and introductions.
Week 2: Unit 1
Week 3: Unit 2
Week 4: Unit 3
Week 5: Unit 4
Week 6: Unit 5
Week 7: Unit 6
Week 8: Mid-term test

Week 9: Unit 7
Week 10: Unit 8
Week 11: Unit 9
Week 12: Unit 10
Week 13: Unit 11
Week 14: Unit 12
Week 15: Units 1-12 review
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

教科書・参考書等 Textbook/Materials
Writing from Within 2 2nd Edition (Kelly, C. & Gargadliano, A.) ISBN: 978-0-521-18834-0

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041363） English Writing A(3) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木3	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ガルシア　フェルナンデス　マリア　グデリア	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

成績評価の方法と基準 Evaluation Criteria
Students will be evaluated on the following:
Assignments/journal: 60%　　In-class effort: 40%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Students should purchase their textbook and a notebook (B5) before the first class and look over the content
-Week 1. Orientation ? Unit 1. Narrative Paragraphs: Introductions
-Week 2. Unit 2. Narrative Paragraphs: Memories
-Week 3. Unit 3. Descriptive Paragraphs: Friends
-Week 4. Unit 4. Descriptive Paragraphs: Places
-Week 5. Unit 5. Compare and Contrast Paragraphs: Pets
-Week 6. Unit 6. Compare and Contrast Paragraphs: Schools
-Week 7. Unit 7. Cause and Effect Paragraphs: Habits

-Week 8. Review 1. Tasks for Units 1?7
-Week 9. Unit 8. Cause and Effect Paragraphs: Relationships
-Week 10. Unit 9. Summary Paragraphs: Routines
-Week 11. Unit 10. Summary Paragraphs: Jobs
-Week 12. Unit 11. Opinion Paragraphs: Issues
-Week 13. Unit 12. Opinion Paragraphs: Smartphones
-Week 14. Unit 13. Review 2. Tasks for Units 7?12.
-Week 15. Final review ? Closure

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook and notebook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments
* Essays will be collected during weeks 7 and 14. Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Writing for Fluency and Accuracy by Boon, A Cengage (2017) 978-4-86312-3069
*You will need a notebook (B5) for the writing activities.

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041364） English Writing A(4) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期木4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ガルシア　フェルナンデス　マリア　グデリア	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Assignments/journal: 60%　　In-class effort: 40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Students should purchase their textbook and a notebook (B5) before the first class and look over the content; Introductions
-Week 1. Orientation ? Unit 1. Narrative Paragraphs: Introductions
-Week 2. Unit 2. Narrative Paragraphs: Memories
-Week 3. Unit 3. Descriptive Paragraphs: Friends
-Week 4. Unit 4. Descriptive Paragraphs: Places
-Week 5. Unit 5. Compare and Contrast Paragraphs: Pets
-Week 6. Unit 6. Compare and Contrast Paragraphs: Schools
-Week 7. Unit 7. Cause and Effect Paragraphs: Habits
-Week 8. Review 1. Tasks for Units 1?7
-Week 9. Unit 8. Cause and Effect Paragraphs: Relationships
-Week 10. Unit 9. Summary Paragraphs: Routines

-Week 11. Unit 10. Summary Paragraphs: Jobs
-Week 12. Unit 11. Opinion Paragraphs: Issues
-Week 13. Unit 12. Opinion Paragraphs: Smartphones
-Week 14. Unit 13. Review 2. Tasks for Units 7?12.
-Week 15. Final review ? Closure

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
* Essays will be collected during weeks 7 and 15. Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Writing for Fluency and Accuracy by Boon, A Cengage (2017) 978-4-86312-3069
* You will need a notebook B5 for the writing activities.

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041365) English Writing A(5) English Writing English Writing A(5)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ｉ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 150～200 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%　Midterm paper：30%　Final paper：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回： オリエンテーション／Unit １
第２回：Unit １&２
第３回：Unit ２&３
第４回：Unit ３&４
第５回：Unit ４&５（ノート提出）
第６回：Unit ５&６
第７回：Unit ６&７
第８回：Unit ７&８（Midterm paper提出）
第９回：Unit ８&９
第10回：Unit ９&10
第11回：Unit 10（ノート提出）
第12回：Unit 10&11
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 12
第16回：Final paper（試験期間中の筆記試験形式）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。この授業の専用ノートを作成し、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041366) English Writing A(6) English Writing Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 150～200 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%　Midterm paper：30%　Final paper：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回： オリエンテーション／Unit １
第２回：Unit １&２
第３回：Unit ２&３
第４回：Unit ３&４
第５回：Unit ４&５（ノート提出）
第６回：Unit ５&６
第７回：Unit ６&７
第８回：Unit ７&８（Midterm paper提出）
第９回：Unit ８&９
第10回：Unit ９&10
第11回：Unit 10（ノート提出）
第12回：Unit 10&11
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 12
第16回：Final paper（試験期間中の筆記試験形式）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。この授業の専用ノートを作成し、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Lg1 授業科目名　（時間割コード：041371） English Writing M(1) English Writing Extensive Reading	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　講義 グループワーク	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) Students should spend at least 2 hours per week on out-of-class preparation. Reading activities will mainly be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve students' writing and reading skills. There will be a focus on developing students' writing skills across several genres such as summary writing, character description, and reviews, etc. In addition, there will be an additional focus on developing their reading strategies and encouraging students to enjoy reading in English. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their general education English classes (Communicative English I-II).

授業の目的

授業の目的 General Objectives
This course aims to develop the student's reading and writing fluency, and positive attitudes to both of these skills. Students will learn how to write more fluently and accurately, using a variety of software such as Grammarly. More specifically, they will learn to write reflections and summaries of what they have read. They will become aware of issues surrounding plagiarism and practice skills such as paraphrasing to avoid this. In addition, students will develop their skills for the writing section of the IELTS test. During the course, students will read a range of graded readers at a level suitable with the purpose of increasing their fluency in the areas of vocabulary recognition and reading comprehension skills.

到達目標

On completion of this course, students should be able to:

1. write and read with greater fluency and confidence
2. read for meaning without translating by using effective reading strategies
3. summarize and paraphrase short written passages on a variety of topics
4. utilize software to assist with writing
5. share personal reactions to and opinions about books in informal situations
6. use the language needed to describe a graph, table or process
7. complete quizzes to demonstrate comprehension

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.　(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class class writing activities: 20%
Mid-term and final written assignments: 40%
Word Count: 40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。

不合格	到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities designed to develop students' writing and reading skills. Students will be exposed to the types of questions found in the writing section of the IELTS exam. They will learn to write descriptions of graphs, charts, and process writing. Students will select graded readers that appeal to them and spend time doing sustained silent reading (SSR). Students will complete short quizzes online to get word count credit. Students will also engage in written pairs and/or groups where they will share their reflections on what they have read, and what they have learned for each book. By the end of the course, students will have read a minimum of 90,000 words, and have completed a number of written assignments on Moodle consisting of book reports, summaries, and IELTS-type questions. As a rule, Japanese will not be allowed in class. This class will be mainly taught face-to-face (in a regular classroom) however, depending on the situation with the current pandemic, this may be changed to online.

[Course Schedule]
Week 1: Students will need to bring a computer/tablet or smartphone to class to take a reading placement test. They will log into their XReading account and choose their first book.
Week 2: Reading review; Introduction to IELTS Writing Task 1 - The language of pie and bar graphs
Week 3: Reading review; Describing characters 1; Written assignment #1 (IELTS Bar or Pie graph)
Week 4: Reading review; Describing characters 2; The language of line graphs
Week 5:Reading review ; Written assignment #2 (IELTS Line graph)
Week 6: Reading review; Summarizing and paraphrasing 1
Week7: Reading review: Writing mid-term review:
Week 8: Mid-term book report due. Students will complete their mid-term Moodle assignment: a. Summarise a book you have read and b. describe one of the characters.
Week 9: Reading review; Written assignment #3 (IELTS Process writing 1)
Week 10: Reading review; Personal reflections and making recommendations 1
Week 11: Reading review; Personal reflections and making recommendations 2; Written assignment # 4 (IELTS Process writing 2)
Week 12: Reading review; Writing an alternative ending
Week 13: Reading review; Summarizing and paraphrasing 2
Week 14: Reading review; Writing a book review
Week 15: Final book report (written in class)

Weeks 1-13:
1. Students are expected to engage in extensive reading using XReading. Students should read about 6,000 words per week.
2. Students must be prepared to discuss what they have read with their partner/group tutor.
3. Students should complete assigned homework.
4. Week 14: Students should prepare their final reports.
5. Week 15: Students should make sure they have read at least 90,000 words.

教科書・参考書等

You will be able to buy XReading access cards/codes from the bookshop. More information will be posted on Moodle about this. Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー Wednesday: 09:00-10:00 (Saiwai-cho campus only) or contact the instructor to make an appointment.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

初回授業前にXreadingアクセスカードをご購入ください。第1回目の授業には、必ず携帯電話（テーブルまたはPC）を持参してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041372） English Writing M(2) English Writing Academic writing & extensive reading	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　Communicative English I, II 履修推奨科目		

学習時間　90 minute classes X 15 class meetings; + 90~180 minutes out-of-class work per week.

授業の概要

This course focuses on academic writing and extensive reading. Students will improve their English writing proficiency and fluency, as well as their English reading speed and comprehension.

授業の目的

Through this course, students will improve their writing proficiency and fluency through a reading journal and timed essay writing tasks. Students will also develop their reading speed and comprehension by engaging in extensive reading using the XReading system. Students' writing will be used for group discussion and speech practice.

到達目標

Through this course, students will become enabled to:
1. Write weekly Reading Journal entries of 100-150 words (a total of 10 entries);
2. Use writing tools such as Grammarly and DeepL while expressing themselves in their own words;
3. Write 150-250 word timed essays (summaries and personal essays), averaging 100 words/minute;
4. Read with greater speed (aim for 300 words per minute) and comprehension;
5. Read at least 100,000 words by the end of the semester;
6. Present their writing and ideas to others in discussions, speeches, and other activities

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
33%: Reading Journal (100 points)
33%: XReading assignments (Target 100,000 words) (100 points)
33%: Mid-term and Final timed essays (100 points (50 points each))
* Note: Failure to complete the Mid-term and Final essays will result in an automatic failure of the class.

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Students will read about 7,000 words per week using the XReading system outside of the class. Quizzes and other tasks on XReading will help students develop their vocabulary knowledge and check reading comprehension. In addition, students will keep a Reading Journal (on Moodle) in which they will write 100-150 words per week on the reading they have done for that week. Advice on how to structure paragraphs and compositions will be provided. In addition, activities to develop students' writing skills, using timed TOEFL and IELTS essay tasks, will be done in each class. Students will use their Reading Journal and written essays for discussion and speech activities. Classes will be conducted only in English to develop students' overall English skills.

Week 1: Orientation and Introductions
Week 2: Reading Journal 1 due; Paragraph writing
Week 3: Reading Journal 2 due; Paragraph writing
Week 4: Writing a summary (IELTS task 1)
Week 5: Writing an opinion essay (IELTS task 2)
Week 6: Reading Journal 3 due;

Week 7: Reading Journal 4 due;
Week 8: Mid-term essay (in-class)
Week 9: Reading Journal 5 due
Week 10: Reading Journal 6 due
Week 11: Reading Journal 7 due
Week 12: Reading Journal 8 due
Week 13: Reading Journal 9 due
Week 14: Reading Journal 10 due
Week 15: Final essay (in-class)

Suggestions for Self-study: XReading cards should be purchased before the first class. Assignments will be explained in each class and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

教科書・参考書等

Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

*Students will be informed how to access this system by Dream Campus before classes begin.

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041373） English Writing M(3) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で 200 語程度のジャーナルを書くことができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト：20%
＊課題・授業参加：30%
＊Mid-term Essay：20%
＊Final Essay：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始-15分　クイズ　会話練習
15分-終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　　Unit　1 Healthy Food
第 2回：Unit　2 Food Issues
第 3回：Unit　3 Mobile Broadband Network
第 4回：小テスト①(Unit 1,2,3)　Unit　4 AI and Singularity
第 5回：Unit　5 Ecotourism
第 6回：Unit　6 Convenient for who?
第 7回：小テスト②(Unit 4,5,6)　Unit　7 Fair Trade
第 8回： Midterm Essay
第 9回：Unit　9 City and Environment
第10回：小テスト③(Unit 7 & 9)　Unit10 Education for Future
第11回：Unit 11 Decent Job
第12回：Unit 12 Eco-friendly
第13回：小テスト④(Unit 10,11,12) Unit13 Reducing Inequality

第14回：Unit 14 Clean Water for Everyone
第15回： Final Essay
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をして臨むこと。
第8回と第15回のEssay については事前に授業で周知する。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Academic Writing Strategies: Focus on Global Issues for Sustainable Development Goals
Yasuo Nakatani　KINSEIDO　2021年　ISBN978-4-7647-4109-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041374） English Writing M(4) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目　主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 医療に関するテーマについて，翻訳サイトをコピペするのではなく，ワードプロセッサのスペルチェック・文法チェック・類義語辞典等のツールと，ネットのコロケーション・フレーズ検索を利用して，自分だけの英語を書くことができる。
2. 自分の意見について，とにかく英語で３分程度は話し続けることができる。

1～2 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

(1) 3-minute speech on newspaper articles(20%)
(2) Writing about newspaper articles (20%, 翻訳サイトやウェブからのコピペは0点)
(3) Exam 1 (30%) and Exam 2 (30%)
examsは教科書の録音がある部分の空所補充３０問

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
(1) Speech on newspaper articles
新聞記事についてのスピーチ用ハンドアウト(「学籍番号.pdf」)を moodle の授業ページ(English Writing M4)へ，前日23:59までに提出すること。担当者は第１週に決定。ハンドアウトはA4縦，白黒１ページ，10MB以内。見本を第１週に配付。念のため当日原稿を持参すること。
(2) Q&A + writing practice
新聞記事について自分の意見を英語でまとめ，テキストファイル(22M999.txt)を医学部ファイルサーバ(MEDPCFS_report - nagai)へ提出。１行目は改行のみ，２行目に学籍番号のみ（公開するので名前は書かない）を記入し，課題は４行目から書きはじめてください。スペルチェックやシソラス，文字コードについては下記リンク参照。
(3) 教科書を用いた Shadowing / Role-play 演習

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。

wk 1 (April 14): newsの切り抜きを読む，教科書 part 1

wk 2 (April 21): ch 1-2, news 1
wk 3 (April 28): ch 3-4, news 2
wk 4 (May 2, Tue): ch 5-6, news 3
wk 5 (May 12): ch 7-8, news 4
wk 6 (May 19): ch 9-10, news 5
wk 7 (May 26): ch 11, news 6
wk 8 (June 2): tutorial / mid-term exam 1
wk 9 (June 9): ch 12-13, news 7
wk 10 (June 16): ch 14-15, news 8
wk 11 (June 23): ch 16-17, news 9
wk 12 (June 30): ch 18-19, news 10
wk 13 (July 7): ch 20-21, news 11
wk 14 (July 14): tutorial / mid-term exam 2
wk 15 (July 21): ch 22-23

【授業外学習に関するアドバイス】
教科書 Part 1 は易しすぎるので授業では扱いませんが，未知の語句は抜き出して覚えること。
Part 2 部分は録音部分を繰り返し聞き，同時に発音し，?と口で語彙を増やすこと。

教科書・参考書等

正しく診断するための診療英会話．ナツメ社．978-4816358142.
毎週の題材とする新聞記事は１回目に配付。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

教科書と新聞記事を熟読し，試験範囲については知らない語彙がないようにしておくこと。
基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041381） English Writing NP(1) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金2	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 200-300 words of different formats (including structured essays, creative writing, free writing.)

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

In-class effort: 30%
Essays written in class and at home: 70%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

(subject to change)

- Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions.
- Week 2: Unit 1
- Week 3: Unit 2, part 1
- Week 4: Unit 2, part 2
- Week 5: Unit 3
- Week 6: Unit 4, part 1

- Week 7: Unit 4, part 2
- Week 8: Unit 5
- Week 9: Unit 6, part 1
- Week 10: Unit 6, part 2
- Week 11: Unit 7
- Week 12: Unit 8, part 1
- Week 13: Unit 8, part 2
- Week 14: Unit 9
- Week 15: Unit 10

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Writing for Fluency and Accuracy. Boon, Andy. Cengage (2017) 978-4-86312-3069

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041382） English Writing NP(2) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金2	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:

Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)

Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: Introduction to course and text.
week 2: Writing about self.
week 3: Reviews and critical analysis.
Week 4: Narrative in writing/relative pronouns.

week 5: Complaining in English.
week 6: Midterm presentation workshop.
week 7: Hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: Formality and manners in writing.
week 9: Abbreviations and appropriate use.
week 10: Travel writing.
Week 11: Explaining a process (cooking, making something.)
week 12: Historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Inside Writing 1: The Academic Word List in Context
Arline Burgmeier / Rachel Lange
Oxford University Press
ISBN: 978-0194601160

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

I have experience as an author and hold a first class MBA in Creative Writing. I have been teaching English for over a decade.

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041383） English Writing NP(3) English Writing English Writing	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金2	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

エッセイライティングの理論と実践で展開する。英文での自由作文ではなく、効果的な論文を書けるようにするために、毎回、エッセイライティングのスキルを解説し、定着のための演習活動を行う。演習活動とは、テキストの各unitのエクササイズを始め、実際にパラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験してもらう。

授業の目的

英文の構造、論理構成を知り、まずはパラグラフ、最終的にはエッセイを完成することを目標とする。
日本語とは異なる、英文での文章展開に関しての新しい知見や発想を得ることによって、readingやspeechにも役に立つことになり、英語力を各段に向上させることにもつながる。また、自身の論文を世界に公表できるベーススキルが習得できる。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 450 語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間試験パラグラフ：30%　　最終試験エッセイ：40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

1コマにテキストの1unitを学習する。毎回、復習に重点を置き、確実な定着を図る。時にcommunication activityを行う。

＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）、communication activity
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Starting from Scratch
第4回：unit 2　Home is Where Your Heart is
第5回：unit 3　You Only Live Once
第6回：unit 4　TheApple of Your eye
第7回：unit 5　Actions Speak Louder than Words
第8回 ： unit 6　Once in a Blue Moon
第9回 ： unit 7　Saved by the Bell
第10回 ： unit 8　“X” Marks the Spot
第11回 ： unit 9　Format & Structure Review
第12回 ： unit 10　Variety is the Spice of life

第13回：unit 11, 12　It’s All Greek to Me, Everything but the Kitchen Sink
第14回：unit 13, 14　Haste Makes Waste, Style Review
第15回：unit 15　Bigger is Better

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。

教科書・参考書等

Writing Together. Mark D. Stafford. Kinseido. ISBN 978-4-7647-3977-2

オフィスアワー　　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041384） English Writing NP(4) English Writing English Writing NP(4)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期金2	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，吉川　友子	関連授業科目　主題科目領域Ｉ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 150～200 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%　Midterm paper：30%　Final paper：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：　オリエンテーション／Unit　1
第２回：Unit　1＆2
第３回：Unit　2＆3
第４回：Unit　3＆4（ノート提出）
第５回：Unit　4＆5
第６回：Unit　5＆6
第７回：Unit　6＆7（Midterm paper提出）
第８回：Unit　7＆8
第９回：Unit　8＆9
第10回：Unit　9&10（ノート提出）
第11回：Unit 10
第12回：Unit 10&11
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 12
第16回：Final paper（試験期間中の筆記試験形式）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。この授業の専用ノートを作成し、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041401) English Speaking LJ(1) English Speaking English speaking (LJ1)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of students oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Evaluation Criteria
Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term presentation: 30% Final presentation: 60%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classes will be held face to face In-class and activities will center on tasks in the textbook.
Students will practice presentation skills with partners, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Getting ready
Week 2: Unit 1 (part 1)
Week 3: Unit 1 (part 2)
Week 4: Unit 2 (part 1)
Week 5: Unit 2 (part 2)

Week 6: Unit 3 (part 1)
Week 7: Unit 3 (part 2)
Week 8:Mid-term presentations
Week 9: Unit 4 (part 1)
Week 10:Unit 4 (Part 2)
Week 11:Unit 5 (part 1)
Week 12:Unit 5 (part 2)
Week 13:Unit 6 (Part 1)
Week 14:Unit 6 (part 2)
Week 15: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1-7: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 9-14: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student’s Book: Experiences. by S. Gershon. (2015) CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041402) English Speaking LJ(2) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ガルシア フェルナンデス マリア グデリア	関連授業科目 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Assignments: 30% Mid-term presentation: 30% Final presentation: 30%
(If you get a grade of 0% in any of those categories, you will fail the subject.)

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions ? Unit 1.
Week 2: Unit 1
Week 3: Unit 6
Week 4: Unit 6
Week 5: Unit 2
Week 6: Unit 2

Week 7: Unit 7
Week 8: Midterm presentation
Week 9: Unit 7
Week 10: Unit 3
Week 11: Unit 3
Week 12: Unit 8
Week 13: Unit 8
Week 14: Unit 4
Week 15: Unit 5

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Speaking of Speech Premium Edition by Charles LeBeau. National Geographic Learning (2021) ISBN: 9784863123854

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041403) English Speaking LJ(3) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2: Unit 1: Posture and Eye Contact.
Week 3: Unit 2: Gestures
Week 4: Unit 3: Using your voice
Week 5: Unit 4 Visuals, pictures, graphs, objects, etc
Week 6: Unit 5 Explaining what we see
Week 7: Unit 6 Telling a story

Week 8: Unit 7 Presenting Information
Week 9: Unit 8, Finishing up, Conclusions
Week 10: Mid term presentations
Week 11: Deciding a topic for a final presentation
Week 12: Researching final presentation
Week 13: Organizing final presentation
Week 14: Finalizing final presentation
Week 15: Final Presentations
Week 16: Final Presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Speaking of Speech: Premium Edition. LeBeau Charles. National Geographic Learning. ISBN: 9784863123854

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041404) English Speaking LJ(4) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ヒルスティーブ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3-5 minute speeches in English;

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20% In-class effort: 30% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week2: YFS&P unit 1
Week3: YFS&P unit 2
Week4: YFS&P unit 3
Week5: YFS&P unit 4
Week6: YFS&P unit 5
Week7: YFS&P unit 6
Week8: Mid-term Presentations
Week9: YFS&P unit 7

Week10: YFS&P unit 8
Week11: YFS&P unit 9
Week12: YFS&P unit 10
Week13: YFS&P unit 11
Week14: YFS&P unit 12
Week15: Final Presentations part 1
期末試験: Final Presentations part 2

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Your First Speech and Presentation
Toshihiko Kobayashi, Shawn M. Clankie
Nan'un-do ISBN: 9784523176626

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041405） English Speaking LJ(5) English Speaking Communicative English III	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ポール・バテン	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。

1～3 は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応。

成績評価の方法と基準

quizzes：20%, in-class effort：30%, mid-term presentation：20%, final presentation：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この授業は、教科書を通して、学生の英語コミュニケーション能力を磨くことが目的です。ペアワーク、グループワークという活動がこの授業の中心です。クラスメートと先生と、テーマを決めて、内容を準備して、少しずつ練習して、よりいい英語での発表をできるようになるのが教員の期待です。お互いに応援し、助け合い、評価し、自信をもって英語で話す・発表することが目標です。毎回、練習して、少しずつ英語の発表が上達する。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第13回：self-introductions, introducing someone, demonstration presentation, layout speech, book and movie review speech, show and tell.
第14・15回：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は第５週目の授業で行う。計画的に準備しておくこと。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業でいい発表できるように、授業へ来る前にテーマ・内容について調べる事が大事です。
Please write what you will do each week.

教科書・参考書等

Speaking of Speech, Premimum Edition. Charles LeBeau. Cengage.

http://cengagejapan.com/elt/PresentationPronunciation/page/?no=1603270172pm03k

オフィスアワー	事前にメールで連絡してください。Friday, 3:00 - 4:00 p. m.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を３５年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041406） English Speaking LJ(6) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the medium of communication in class.

[Course Schedule]
Please note that this schedule is tentative and subject to change.
- Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions, speaking activities.
- Week 2: Unit 6
- Week 3: Unit 6

- Week 4: Unit 7
- Week 5: Unit 7
- Week 6: Unit 8
- Week 7: Unit 8
- Week 8: Midterm presentations, part one.
- Week 9: Midterm presentations, part two.
- Week 10: Unit 1
- Week 11: Unit 2
- Week 12: Unit 3
- Week 13: Unit 4
- Week 14: Unit 5
- Week 15: Final presentations, part one.
- Final Exam week: Final presentations, part two.

[Suggestions for self-study]
- Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
- Week 2-7: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students should also prepare their mid-term presentations.
- Week 8-9: Students should deliver their midterm presentations.
- Week 10-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students should also prepare for final presentations.
- Week 15-16: Students should deliver their final presentations.

教科書・参考書等

Speaking Of Speech (premium edition) Charles LeBeau, NATIONAL GEOGRAPHIC: ISBN978-4-86312-385-4

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041407） English Speaking LJ(7) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students will be able to deliver a 5 minute presentation in English, learning appropriate language, body language and cultural differences.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:

Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :30%
Home Work: 20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)

Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)

Week 1: Self introductions.
Week 2: Vacations and travel.
week 3: Culture and habits.
week 4: Explaining ideas.
week 5: Sharing an opinion.

week 6: Discussing current events.
week 7: Midterm presentations.
week 8: Body language and non verbal communication.
week 9: Common presentation language.
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: Explaining a process.
Week 12: Explaining how to do something in steps.
week 13: Final presentation workshop.
Week 14: Review
Week 15: Final Presentations.

(self study)

Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041408） English Speaking LJ(8) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Speaking		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A?のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

テキストの各ダイアロッグに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアロッグのアクトアウトプレゼンテーションを行う。

＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を実施する。

【授業計画】

第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather

第13回：dialog 11 #1 Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2 Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】

ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great!. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo. ISBN N/A

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041409） English Speaking LJ(9) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，ﾌﾞﾙｽｳﾞｨｰﾝ ｱﾏﾄﾞ ﾀﾎﾞｱﾀﾞ	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　　In-class effort independent and collaborative) : 25%
Mid-term presentation: 25%　　Final presentation: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2: Unit 2 Conversation 2. The class will hear conversations about places/hometowns and learn how to describe them.
Week 3: Unit 3 Conversation 3. The class have a discussion about regular events and routines. The students will prepare a short speech about their routine.
Week 4: Unit 4 Conversation 4. The class will talk about past events and how to describe them.
Week 5: Unit 5 Conversation 5. The class will discuss future events and plans, then the students will have to come up with a short conversation about plnning a vacation and presewnt it in class.

Week 6: Unit 6 Discussion 1. The class will explore ways to express one’s opinion and to provide supporting details.
Week 7: Unit 7 Discussion 2. The class will watch a video about agreeing and disagreeing, and learn commonly used expressions. The students have to come up with their own sample conversations about agreeing and disagreeing and present them in class.
Week 8: (continuation) The students have to come up with their own sample conversations about agreeing and disagreeing and present them in class. The students should prepare a short 3-5minute presentation for their mid-term.
Week 9: Unit 8 Presentation 1. The class will discuss the common structure of a presentation and how to organize ideas.
Week 10: Unit 9 Presentation 2. The class will learn expressions on how to organize/sequence and highlight/emphasize certain parts of their presentations. The students have to prepare a table and will have explain it in class.
Week 11: (Continuation) The students have to prepare a table and will have explain it in class.
Week 12: Unit 10 Presentation 3. The students will check different charts and graphs and learn to pick out and describe important details and how to organize them logically. Then the students will have to prepare ther own presentation based on a random chart that they will receive.
Week 13 (continuation) The students have to present a chart and explain it in class.
Week 14 Unit 11 Simplified Debate. The class will learn about the basics of a simple debate.
Week 15 The class will prepare and deliver final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Speak Easy From Basic Conversation to Simplified Debate by 藤岡克則 / 山内信幸 / Neil Heffernan / 金﨑茂樹 / 橋尾晋平 著
Kinseido, ISBN: 978-4-7647-4084-6

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041410) English Speaking LJ(10) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は全回対面授業を行います。
テキストに従って授業を展開します。基本的に演習活動→presentationという流れです。毎回の授業では、ペアやグループでの演習活動を行ってもらいます。積極的に参加してください。中間・期末の2回のpresentationも必ず行ってください。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1&2 (Getting started 1,2)
第3回：Unit 3&4 (Making a good impression 1,2)
第4回：Unit 5 (Making your point 1)
第5回：Unit 6 (Making your point 2)
第6回：Unit 7&8 (The visual story 1,2)
第7回：Unit 9 (The visual story 3)
第8回：Midterm Presentation
第9回：Unit 10 (Being understood 1)
第10回：Unit 11 (Being understood 2)
第11回：Unit 12 (Concluding your message 1)
第12回：Unit 13 (Concluding your message 2)
第13回：Unit 14 (Taking questions 1)
第14回：Unit 15 (Taking questions 2)
第15回：The Final Presentation 1

期末試験：The Final Presentation 2

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第14回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
第7回・第15回・期末試験日：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業内で行います。入念な準備をしたうえで臨んでください。

＜準備学習＞
・教科書を進める授業回の前には、該当箇所を音読しておいてください。また、音読の過程で発音・語句の意味が分からない場合は、辞書で調べてください。
・Midterm PresentationとFinal Presentationの前には念入りに時間をとって原稿を準備して、事前練習も行ってください。

＜事後学習＞
・授業で習得したpresentationのポイントを必ず再度確認して、準備学習の原稿準備にいかしてください。

教科書・参考書等

教科書
English Presentations Today: Language Skills for International Presentations. (Christopher, P.) 2018. 南雲堂. ISBN 978-4523178644

オフィスアワー　月曜日12:10～13:30、北キャンパス5号館5階杉田研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041411） English Speaking LJ(11) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 中住　幸治	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で２～３分間程度のスピーチ及びプレゼンテーションを行うことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

Quiz：20%, In-class effort：20%, Presentation：60%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
第1回：Unit 1（演習活動）
第2回：Unit 1（演習活動）
第3回：Unit 1（speech）
第4回：Unit 2（演習活動）
第5回：Unit 2,3（演習活動）
第6回：Unit 2（speech）
第7回：Unit 4（演習活動）
第8回：Unit 3,4（演習活動）
第9回：Unit 4（presentation）
第10回：Unit 5（演習活動）
第11回：Unit 5,6（演習活動）
第12回：Unit 5（presentation）
第13回：Unit 8（演習活動）
第14回：Unit 7, 8（演習活動）
第15回：Unit 8（presentation）

【授業及び学習の方法】

テキストに従って授業を展開します。基本的にbrainstorming, planning & writing, presentation skills, presentation/reviewingという流れで、個人あるいはグループで計5回のpresentationを行ってもらいます。この科目は全回対面授業を行います。なお、状況によっては全て又は一部の回の授業形態を

遠隔に変更する可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
　Presentation: 原稿準備やリハーサルは入念に行っておいてください。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Bartelen, H. & Kostiuk, M. (2019). Ready to Present, National Geographic Learning, ISBN: 978-4-86-312351-9

オフィスアワー　木曜日　12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基に英語プレゼンテーションについて演習を行います。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041412） English Speaking LJ(12) English Speaking English Speaking LJ (12)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 永尾　智	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。
4. ５分程度の英語放送を要点を把握しながら聞くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：30%　　In-class efforts：20%　　5 Presentations: 50%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この授業は基本的に≪対面授業≫形式で実施します。座席は指定制（初回に指定）です。毎回、初めの10分ほどは【Listening Quiz】（5分程度の英語放送を聞き、内容把握の英問英答Q&A）を行います。授業本編は、テキストの各種タスクを進めながら、英語プレゼンテーションの基本的な実演力を身につけ、実際に自らプレゼンテーションを行う活動を行います。各自が全部で5回のプレゼンテーションを行います。「プレゼン」とはいっても、今日の社会問題を取り上げて行うのではなく、Model Presentationを映像で確認しながら英語プレゼンテーションの基本的な構成を知り、それに沿った発表内容を作成して互いに確認し合う活動が中心になります。2年前期に培ったWriting力が大きな助けになるはずです。自信をもって英語を発信する練習を進めましょう。そして、このクラスから何人もの人が12月にグローバルカフェで実施される「英語プレゼンテーションコンテスト」に挑戦することを目指します。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション、Unit1: Self-Introduction①
第2回：Unit1②、プレゼンテーション①
第3回：Unit2: An Important Person or Thing①/Unit3: Places①
第4回：Unit2②/Unit3②
第5回：Unit2③/Unit3③、プレゼンテーション②
第6回：Unit4①: Opinions
第7回：Unit4②
第8回：Unit4③、プレゼンテーション③
第9回：Unit5①: Biography/ Unit6①：Stories
第10回：Unit5②/Unit6②

第11回：Unit5③/Unit6③、プレゼンテーション④
第12回：Unit7①: Solving Problems/ Unit8①: Final Presentation
第13回：Unit7②/Unit8②
第14回：Unit7③/Unit8③、プレゼンテーション⑤
第15回：Reviews、Course reflection

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。（教科書を買わずに授業に出席してはなりません。コピー等の利用は著作権法違反になることは勿論、各自の学習向上にマイナスとなりますし、学習意欲を疑われます。必ず購入してください。）
第1回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
・最初の２～３回の授業で学習方法に慣れてもらう必要があるので、これらの回での欠席はよくありません。
・外国語力とは、最後の最後は語彙力です。外国語学習者にふさわしい辞書活用学習を心掛けてください。Oxford Advanced LearnersDictinoary等に付属のDVDをPCに落として随時活用しましょう。
・NHK語学講座、English Express, English Journal、英字新聞等、英語学習手段をどれか一つ追加して、英語学習全体時間を拡げてみましょう。

教科書・参考書等

【教科書】
『Ready to Present: A Guide to Better Presentations』, by Herman Bartelen/ Malcolm Kostiuk, 2019, センゲージラーニング　ISBN: 978-4-86312-351-9　（2,700円＋税）生協書籍部にて購入

オフィスアワー　水曜日　13:00～15:00　（会議日を除く。他の日時も相談により可。いずれの場合も、メールで事前予約してください。）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041421） English Speaking ED(1) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，ジョナサン・ベリー	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of your oral communication skills. The primary objective is for you to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, you should become able to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which you have difficulty expressing yourself in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3 to 5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

You will be evaluated on the following:
Participation: 10%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 30%
Assignments: 40%

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
（To develop basic problem-solving skills）（To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment）

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will focus on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester progresses. You will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Orientation. Explanation of the course, student introductions, basic presentation skills discussion. You should purchase the textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2-6 and 9-14. Using a selection of themes from the textbook, you will study and prepare

different presentation topics
Week 2: Learn how to brainstorm and plan a presentation
Week 3: Learn how to make notecards
Week 4: Learn and practice gestures and body languages essentials
Week 5: Learn how to project one's voice and speak clearly
Week 6: How to use visual aids (PowerPoint skills)
Weeks 7-8: Mid-term presentations
Week 9: Learn how to stress keywords naturally
Week 10: Learn how to connect ideas and thoughts with a natural flow
Week 11: The enthusiastic speaker - watch videos about model presenters
Week 12: Learn how to deal with audience questions
Week 13: How to give feedback on presentations
Week 14: Review of presentation skills
Weeks 15-16: Final presentations

[Self-study/assignments]
Week 1: You should buy the textbook before the first class and look over the content. Being familiar with presentation software like PowerPoint would be advantageous.
Weeks 2-6: You should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Weeks 7-8: Mid-term presentations
Weeks 9-14: You should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Weeks 15-16: Final presentations

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て、または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Your First Speech and Presentation (Kobayashi Toshihiko and Shawn M. Clankie), Nanundo
ISBN: 9784523176626

オフィスアワー　Please contact the instructor, Jonathan Berry, to arrange a meeting. Of course, this can be arranged on Zoom too.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041422） English Speaking ED(2) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，アダム・ブロッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]　]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2: Unit 1: Posture and Eye Contact.
Week 3: Unit 2: Gestures
Week 4: Unit 3: Using your voice
Week 5: Unit 4 Visuals, pictures, graphs, objects, etc
Week 6: Unit 5 Explaining what we see
Week 7: Unit 6 Telling a story

Week 8: Unit 7 Presenting Information
Week 9: Unit 8, Finishing up, Conclusions
Week 10: Mid term presentations
Week 11: Deciding a topic for a final presentation
Week 12: Researching final presentation
Week 13: Organizing final presentation
Week 14: Finalizing final presentation
Week 15: Final Presentations
Week 16: Final Presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Speaking of Speech: Premium Edition. LeBeau Charles. National Geographic Learning. ISBN: 9784863123854

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041423） English Speaking ED(3) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，ヒルスティーブ	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2: PY2 unit 2
Week 3: PY2 unit 2
Week 4: PY2 unit 2
Week 5: Vacation Speech
Week 6: PY2 unit 3
Week 7: PY2 unit 3

Week 8: PY2 unit 3
Week 9: Young People Today Speech
Week 10:Telling an anecdote
Week 11:Telling an anecdote
Week 12:PY2 unit 5
Week 13:PY2 unit 5
Week 14:PY2 unit 5
Week 15: "In My Opinion" Speech group 1
期末試験: "In My Opinion" Speech group 2

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2-10: Students should complete designated homework tasks and write the scripts for their speeches.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Second Edition (viewpoints) Steven Gershon, CAMBRIDGE: ISBN978-1-107-43578-0

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041424） English Speaking ED(4) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the medium of communication in class.

[Course Schedule]
Please note that this schedule is tentative and subject to change.
- Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions, speaking activities.
- Week 2: Unit 6
- Week 3: Unit 6

- Week 4: Unit 7
- Week 5: Unit 7
- Week 6: Unit 8
- Week 7: Unit 8
- Week 8: Midterm presentations, part one.
- Week 9: Midterm presentations, part two.
- Week 10: Unit 1
- Week 11: Unit 2
- Week 12: Unit 3
- Week 13: Unit 4
- Week 14: Unit 5
- Week 15: Final presentations, part one.
- Final Exam week: Final presentations, part two.

[Suggestions for self-study]
- Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
- Week 2-7: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students should also prepare their mid-term presentations.
- Week 8-9: Students should deliver their midterm presentations.
- Week 10-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students should also prepare for final presentations.
- Week 15-16: Students should deliver their final presentations.

教科書・参考書等

Speaking Of Speech (premium edition) Charles LeBeau, NATIONAL GEOGRAPHIC: ISBN978-4-86312-385-4

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041425） English Speaking ED(5) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教センター ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

Mid-term speech ? 20%,
Final presentation ? 30%,
Moodle Forum discussion ? 30%,
Participation and attendance　- 20%

Materials submitted after the due date and time will be penalised.

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]

Classwork will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills.　In addition to homework and assignments from the course textbook, students will be expected to participate each week in an online discussion forum.　English will be the primary medium of communication in class.
This course will be taught face-to-face but some classes may be taught online depending on the situation with the current pandemic.　Both mid-term and final presentations will be online if the university guidelines regarding the use of face masks in class continues.

[Course Schedule]

Week 1 Orientation: Coursework from Your First Speech and Presentation(YFSP) - Unit 1: Moodle Discussion 1
Week 2 YFSP 2: Moodle Discussion 2
Week 3 YFSP 3: Moodle Discussion 3
Week 4 YFSP 4: Moodle Discussion 4
Week 5 YFSP 5: Moodle Discussion 5
Week 6 YFSP 6: Moodle Discussion 6
Week 7 Midterm presentations
Week 8 YFSP 7: Moodle Discussion 7
Week 9 YFSP 8: Moodle Discussion 8
Week 10 YFSP 10: Moodle Discussion 9
Week 11 YFSP 11: Moodle Discussion 10; Final presentation topics assigned
Week 12 YFSP 15: Final presentation outline due
Week 13 YFSP 18: Final presentation workshop
Week 15 Final presentations
Week 16 Final presentations

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write around 200 words per week for a Moodle discussion. The topic will be given in class.
Week 7: Midterm-presentations
Weeks 8-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write around 250 words per week for a Moodle discussion.
Weeks 14-15: Final presentations

教科書・参考書等

英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation by Kobayashi, T. & Clankie, S.M.　南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー　Office hours: Wednesday: 9 am-10 am (Saiwai-cho campus only) or contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041426） English Speaking ED(6) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト：20%
＊課題・授業参加：30%
＊Mid-term presentation：20%
＊Final presentation：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始-15分　クイズ　会話練習
15分-終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　　Unit1 Pandemic and People's Lifestyle
第 2回：Unit 2 The Circular Economy
第 3回：Unit 3 Road to Decarbonization
第 4回：小テスト①(Unit 1,2,3)　Unit 4 Online Learning and School Life
第 5回：Unit 5 Delivery Robots
第 6回：Unit 6 Discrimination against Asian Americans
第 7回：小テスト②(Unit 4,5,6)　Unit 7 Gendered Division of Housework
第 8回： Midterm Presentation
第 9回：Unit 9 Ukraine and Afghanistan
第10回：小テスト③(Unit 7 & 9)　Unit10 Digital Society
第11回：Unit11 Climate and Infectious Diseases
第12回：Unit12 Overtourism and Undertourism

第13回：小テスト④(Unit 10,11,12) Unit13 Multicultural Exchange in Japan
第14回： Final Presentation
第15回： Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をして臨むこと。
第8回と第14回15回のプレゼンテーションについては授業で事前に周知する。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Discuss the Changing World 2　Miyako Nakaya 他　SEIBIDO　2023年　ISBN978-4-7919-7268-5

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041427) English Speaking ED(7) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ジュリアン・セイント	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20% In-class effort: 30% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

Homework will be issued weekly as "Moodle Assignments". These will be presentation building assignments based on contents from the textbook. Most homework assignments will center around creating and developing your Midterm and Final Presentations.

[Course Schedule]

Week 1 Orientation: Coursework from "Present Yourself Level 1" (Present Yourself) ? Unit 1: Moodle Assignment 1
Week 2: Present Yourself ? Unit 1: Moodle Assignment 2
Week 3: Present Yourself ? Unit 2: Moodle Assignment 3

Week 4: Present Yourself ? Unit 2: Moodle Assignment 4
Week 5: Present Yourself ? Unit 3: Moodle Assignment 5
Week 6: Present Yourself ? Unit 3: Moodle Assignment 6
Week 7: Present Yourself ? Unit 4: Midterm preparation: Moodle Assignment 7
Week 8: Midterm Presentations*
Week 9: Present Yourself ? Unit 4: Moodle Assignment 8
Week 10: Present Yourself ? Unit 5: Moodle Assignment 9
Week 11: Present Yourself ? Unit 5: Moodle Assignment 10
Week 12: Present Yourself ? Unit 6:
Week 13: Present Yourself ? Unit 6: Final Presentation* outline due (Academic Topic)
Week 14: Present Yourself 13: Final Presentation* workshop
Week 15: Final Presentations*
Week 16: Final Presentations*

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2-7: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students should be preparing for midterm presentations.
Weeks 8: Midterm Presentations
Week 9-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students should be preparing for final presentations.
Week 14-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.
* Presentations will be given during weeks 8 and 15/16. Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

教科書・参考書等 Textbook/Materials
Title: Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences Second Edition (Steven Gershon)
Publisher: Cambridge University Press; 2nd edition (December 30, 2014)
ISBN-13: ?978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041428） English Speaking ED(8) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 森川光与	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。
4. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。

1～4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework : 30%　In-class effort : 15％　Midterm Paper Exam/Presentation : 20%　Group Presentation : 10%　Final Paper Exam/Presentation : 25%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

本講座では、社会で必要となるコミュニケーションスキルを磨くことを目指して、スピーキングを主としたアクティビティを実施します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

指定のテキストに沿って以下の順に英語で行うスピーチの練習を行います。スピーチに関する語彙、文章構成、プレセンテーション方法なども学習します。人前で英語で話す機会をできるだけたくさん経験するための授業構成です。

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit1-3　プレゼンテーションの基本知識
第3回：Unit 4-5　列挙型プレゼンテーション（以下全てプレゼンテーション）
第4回：Unit 6　分裂型
第5回：Unit 7　プロセス型
第6回：Unit 8　調査型
第7回：Mini Presentation　（中間試験のプレゼンテーション）

第8回：Review/Feedback
第9回：Unit 10　説明型
第10回：Unit 11　問題解決型
第11回：Unit 12-13　原因・結果型、比較対照型
第12回：Group Presentation 準備 Part 1
第13回：Group Presentation 準備 Part 2　＆　個人のFinal presentation 準備
第14回：期末に向けてのレビュー及び準備
第15回：Final Exam（前半）
期末試験週：Final Exam（後半）

上記の計画は状況や進捗度により変更の可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。
事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。また日々英語に触れる工夫を授業の中で紹介していきます。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

動画で学ぶ英語プレゼンテーション ―覚えておきたい8つのモデル― Winning Presentations（Morita, A et al）2018 成美堂　ISBN：9784791934249

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041429） English Speaking ED(9) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 篠原範子	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignment：30%　In-class effort：40%　Midterm presentation：15%　Final presentation：15%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

本講座では、社会で必要となるコミュニケーションスキルを磨くことを目指して、スピーキングを主としたアクティビティを実施します。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 7
第7回：Unit 10
第8回：Mid-term speech
第9回：Unit 11
第10回：Unit 12
第11回：Unit 13
第12回：Unit 14
第13回：Unit 15
第14回：Final Speech
第15回：Final Speech

【授業外学習に関するアドバイス】

具体例を示しておきます。担当される授業の内容を考慮して、授業担当者がご記述ください。
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第13回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
第14・15回：プレゼンテーションを行う。

具体的な指示は授業で行う。計画的に準備しておくこと。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Speaking Steps by Misato Usukura. Kiseido (2022). ISBN: 9784764741515

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041430） English Speaking ED(10) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 瀬良和彦	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度［提出率・課題内容など］、小テスト（予定）、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（提出率、課題内容、小テストほか）６０％、期末テスト４０％（未受験の場合は単位を認定しない）。ただし、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、成績不振による救済措置等は行わない。

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【【授業の方法】

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。受講生は、毎回①教科書の課題、②教科書の中での不明な点などの質問、③英語能力向上に関する課題を期限までに提出していただきます。教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定です。ただし、受講生の能力や授業の状況により、変更することもあります。また、適宜補助プリントを使用することもあります。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回：トレーニングを始める前に①
第３回：トレーニングを始める前に②
第４回：Lesson1 Flight to the U.K.
第５回：Lesson2 Days in London
第６回：Lesson3 I must Buy a Bathing Suit
第７回：Lesson4 Sea Turtles
第８回：Lesson5 A Farewell Party
第９回：Lesson6 Landmines and Children
第10回：Lesson7 Aki Talks about Her Dream
第11回：Lesson8 Christmas Is Coming
第12回：Lesson9 よくばりワシカ

第13回：Lesson10 The 3Rs
第14回：Lesson11 John Mung
第15回：Lesson12 Water from Fog
第16回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】
事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
教科書のトレーニング・マニュアルを参照すること。
（基礎トレーニング）
１、２週目の毎日のメニュー。
①テキストを見ないでＣＤを聴く×２回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×２回
④ＣＤを聴きながら、１文ずつ音読する×１回
⑤ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑥仕上げの音読をする×２回
（応用トレーニング）
３～５週目の毎日のメニュー
①テキストを見ないでＣＤを聴く×１回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×１回
④ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑤テキストを筆写する×１セット
⑥仕上げの音読をする×２回

教科書・参考書等

國弘正雄、千田潤一監修『英会話・ぜったい音読・続入門編』講談社インターナショナル、2004年、ISBN9784770025241

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041431） English Speaking ED(11) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

評価の案を示しておきますが、最終的な判断は授業担当者でお願いします。
Quiz：30%　In-class effort：40%　Final Exam：30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業におけるペア活動を通じて，スピーキング能力を養成する。リテリング，対話，スピーチなど様々な課題とその準備のためのリスニング，リーディングも行う。授業内で予習確認の小テスト（Quiz）を行う。

【授業計画】
第1回：ガイダンス（以下は各授業回のテーマ）
第2回：What is Important to You?
第3回：My Morning Routine
第4回：Your Recommended Restaurant
第5回：The Best Film Ever
第6回：What is a True Friend?
第7回：The Best Pizza in Town
第8回：An Ideal Private Tour Plan
第9回：Useful Apps for Your Smartphone
第10回：A Proposal for New Flavors
第11回：A Great Figure in the Business World
第12回：The Babysitter #1--Horror
第13回：The Babysitter #2--Horror
第14回：Unsent Letter #1--Romance
第15回：Unsent Letter #2--Romance

【授業外学習に関するアドバイス】 第1回：事前に教科書を購入したうえで授業に臨むこと。 第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
教科書・参考書等 Speaking Steps, by Misato Usukura, Kinseido (2022) 978-4-7647-4151-5
オフィスアワー　　月曜４校時　水野研究室（幸町南２号館３階）
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041432） English Speaking ED(12) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 辻　梨花	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignments：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

本授業では、指定の教科書を中心に授業を進め、指定教科書のオンライン教材も使用する。基本的な会話や意思疎通が英語でできるように、ペアワークやグループワークを中心に会話の練習や簡単な発表の練習をする。

【授業計画】

第1回：　Introduction
第２回：　Unit 1
第３回：　Unit 2
第４回：　Unit 3
第５回：　Unit 4
第６回：　Unit 5　& Midterm Presentation (1)
第７回：　Unit 6　& Midterm Presentation (2)
第８回：　Unit 7
第9回：　Unit 8
第１０回：Unit 9
第１１回：Unit 10
第１２回：Unit 11
第１３回：Unit 12 & Final Presentation (1)
第14回：Unit 13 & Final Presentation (2)
第15回：Unit 14 & Wrap-Up

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に指定の教科書を購入し、第1回の授業に持ってくること。

第2回～第1５回：指示を受けた各ユニットからの宿題は必ず事前にやってくるように。
第６・７回：Midterm Presentationsを行う。第13・１４回にFinal Presentationsを行う。
You are encouraged to speak in English in class. Your enthusiastic participation will encourage your classmates to speak more in English as well; your participation matters!

教科書・参考書等

Complete Communication Book 2 - Intermediate - by James Bury, Anthony Sellick, and Kaori Horiuchi
Publisher: Seibido
ISBN: 9784791972425
Price: 2,640 yen (2,400 yen without tax)

オフィスアワー　月曜日４時限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041441） English Speaking T(1) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，アーノルド・デビット	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 30%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。

【Course Method】
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.

Week 1: Introduction to the course - Textbook chapter 1
Week 2: Textbook chapter 3 - Group A: Write a 200-250 word speech on "My life 20 years from now."
Week 3: Textbook chapter 4 - Group B: Write a 200-250 word speech on "Should university students

have part-time jobs?"
Week 4: Textbook chapter 5
Week 5: Textbook chapter 6 - Group A: Write a 200-250 word speech on "Keeping fit is important for people of all ages."
Week 6: Textbook chapter 7 Group B: Write a 200-250 word speech on "Should the legal age for alcohol consumption be lowered to 18?"
Week 7: Mid-term speech. Choose one of the speeches you have already written for this class to be presented.
Week 8: Textbook chapter 8 - Group A: Write a 200-250 word speech on "People rely too much on modern technology."
Week 9: Textbook chapter 10 - Group B: Write a 200-250 word speech on "Should smoking be banned in all public places?"
Week 10: Textbook chapter 11.
Week 11: Textbook chapter 13 - Group A: Write a 200-250 word speech on "Why I would/wouldn't like to do volunteer work." All students will choose a topic together with a partner during class time for their final presentation to be given in weeks 15 and 16. The subject of the presentation can be on any topic decided upon by the pair (of students). The completed speech must be submitted to me by the 13th lesson so that I will be able to correct the English in it.
Week 12: Textbook chapter 15 - Group B: Write a 200-250 word speech on "Should Japanese students learn another foreign language in addition to English at school?"
Week 13: Textbook chapter 18.
Week 14: Corrected final speeches will be returned to students. Class time will be devoted to speech preparation. Students will be able to consult with me about grammar and/or pronunciation issues they are having in preparation of their speeches.
Weeks 15 - 16: Students will present their final speeches.

【Suggestions for self-study】

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

教科書：英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation.　南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041442） English Speaking T(2) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2023年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 平尾陽子	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。
この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。
15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20% In-class effort：30% Midterm presentation：20% Final presentation：30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了 到達目標を達成している。
不合格 到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、SPEAKING OF SPEECH Premium Edition Unit 1
第2回：Unit 1 第3回：Unit 2
第4回：Unit 2 第5回：Unit 3
第6回：Unit 3 第7回：Unit 4（Midterm presentation）
第8回：Unit 4 第9回：Unit 5
第10回：Unit 5 第11回：Unit 6
第12回：Unit 6 第13回：Unit 7
第14回：Unit 7 第15回：Unit 8（Final presentation）

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：７回目と15回目にプレゼンテーションを行う予定である。具体的な指示は授業内で行う。
計画的に準備しておくこと。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

SPEAKING OF SPEECH Premium Edition　著者：Charles LeBeau センゲージラーニング株式会社　ISBN: 978-4-86312-385-4
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041443) English Speaking T(3) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal experiences in English; Deliver 3-5 minute speeches in English

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort: 50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Classwork will center on activities in the textbook and other supplementary materials using a flipped classroom method. Students must complete textbook activities as homework before class and then bring prepared material to class to practice and improve with peers and the teacher during class time. Students will be given many opportunities to practice essential communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2: Unit 1 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 3: Unit 1 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 4: Unit 2 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 5: Unit 2 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 6: Unit 3 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 7: Unit 3 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 8: Mid-term presentation (20%) completed in class time only

Week 9: Unit 4 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 10: Unit 4 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 11: Unit 5 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 12: Unit 5 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 13: Unit 6 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 14: Unit 6 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 15: Final presentation preparation.
? (Final presentation to be completed in exam week) (30%)

1. Students must complete textbook activities as homework and submit them as and when requested
2. Students are expected to prepare weekly speeches as homework based on the textbook unit and bring a copy of the script to each class. This is essential to participate in classwork activities.
3. Students must be prepared to practice their speech with their partner/group and tutor.
4. Students should complete assigned homework before class and send it via Moodle.

教科書・参考書等

Present yourself 1. 2nd edition. Cambridge. (2015) ISBN 978-1-107-43563-6

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041444） English Speaking T(4) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students will be able to deliver a 5 minute presentation in English, learning appropriate language, body language and cultural differences.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:

Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :30%
Home Work: 20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)

Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)

Week 1: Self introductions.
Week 2: Vacations and travel.
week 3: Culture and habits.
week 4: Explaining ideas.
week 5: Sharing an opinion.

week 6: Discussing current events.
week 7: Midterm presentations.
week 8: Body language and non verbal communication.
week 9: Common presentation language.
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: Explaining a process.
Week 12: Explaining how to do something in steps.
week 13: Final presentation workshop.
Week 14: Review
Week 15: Final Presentations.

(self study)

Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041445) English Speaking T(5) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 田口明美	**関連授業科目** 主題科目 領域Ｉ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミ　ュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業態度・提出物:20%
小テスト2回:40%
スピーチ:20%
期末試験(スピーチ):20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この授業はテキストに沿って進めます。
第7回と15回に小テストを行い、第8回と期末試験にスピーチをしていただきます。
【授業計画】
第1回:オリエンテーション&Unit1
第2回:Unit2
第3回:Unit3
第4回:Unit4
第5回:Unit5
第6回:Unit6
第7回:小テスト&スピーチの準備
第8回:スピーチ
第9回:Unit7
第10回:Unit8
第11回:Unit9
第12回:Unit10
第13回:Unit11
第14回:Unit12
第15回:小テスト&まとめの学習

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第6回：小テストとスピーチに備えて下さい。
具体的な指示は授業時とネットワークを通して行います。
第9回～第14回:小テストと期末試験のスピーチに備えて下さい。
具体的な指示は授業時とネットワークを通して行います。

＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Time to Start Learn from Your Errors!.(Chihara Higuchi, Noriko Murata).南雲堂.2020.
ISBN 978-4-523-17897-2 C0082 1900円＋税

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験を基に、受講生のスピーキング能力の向上を目指します。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041446） English Speaking T(6) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** English Speaking		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A?のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

テキストの各ダイアログに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアログのアクトアウトプレゼンテーションを行う。
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を実施する。

【授業計画】

第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode

第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】

ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great!. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo. ISBN N/A

オフィスアワー　　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041447） English Speaking T(7) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，アーノルド・デビット	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 30%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。

【Course Method】
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.

Week 1: Introduction to the course - Textbook chapter 1
Week 2: Textbook chapter 3 - Group A: Write a 200-250 word speech on "My life 20 years from now."

Week 3: Textbook chapter 4 - Group B: Write a 200-250 word speech on "Should university students have part-time jobs?"
Week 4: Textbook chapter 5
Week 5: Textbook chapter 6 - Group A: Write a 200-250 word speech on "Keeping fit is important for people of all ages."
Week 6: Textbook chapter 7 Group B: Write a 200-250 word speech on "Should the legal age for alcohol consumption be lowered to 18?"
Week 7: Mid-term speech. Choose one of the speeches you have already written for this class to be presented.
Week 8: Textbook chapter 8 - Group A: Write a 200-250 word speech on "People rely too much on modern technology."
Week 9: Textbook chapter 10 - Group B: Write a 200-250 word speech on "Should smoking be banned in all public places?"
Week 10: Textbook chapter 11.
Week 11: Textbook chapter 13 - Group A: Write a 200-250 word speech on "Why I would/wouldn't like to do volunteer work." All students will choose a topic together with a partner during class time for their final presentation to be given in weeks 15 and 16. The subject of the presentation can be on any topic decided upon by the pair (of students). The completed speech must be submitted to me by the 13th lesson so that I will be able to correct the English in it.
Week 12: Textbook chapter 15 - Group B: Write a 200-250 word speech on "Should Japanese students learn another foreign language in addition to English at school?"
Week 13: Textbook chapter 18.
Week 14: Corrected final speeches will be returned to students. Class time will be devoted to speech preparation. Students will be able to consult with me about grammar and/or pronunciation issues they are having in preparation of their speeches.
Weeks 15 - 16: Students will present their final speeches.

【Suggestions for self-study】

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

教科書：英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation.　南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041448） English Speaking T(8) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 平尾陽子	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。
この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。
15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、SPEAKING OF SPEECH Premium Edition Unit 1
第2回：Unit 1　　第3回：Unit 2
第4回：Unit 2　　第5回：Unit 3
第6回：Unit 3　　第7回：Unit 4（Midterm presentation）
第8回：Unit 4　　第9回：Unit 5
第10回：Unit 5　　第11回：Unit 6
第12回：Unit 6　　第13回：Unit 7
第14回：Unit 7　　第15回：Unit 8（Final presentation）

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：７回目と15回目にプレゼンテーションを行う予定である。具体的な指示は授業内で行う。
計画的に準備しておくこと。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等
SPEAKING OF SPEECH Premium Edition　著者：Charles LeBeau センゲージラーニング株式会社　ISBN: 978-4-86312-385-4
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041449) English Speaking T(9) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal experiences in English; Deliver 3-5 minute speeches in English

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort: 50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Classwork will center on activities in the textbook and other supplementary materials using a flipped classroom method. Students must complete textbook activities as homework before class and then bring prepared material to class to practice and improve with peers and the teacher during class time. Students will be given many opportunities to practice essential communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2: Unit 1 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 3: Unit 1 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 4: Unit 2 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 5: Unit 2 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 6: Unit 3 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 7: Unit 3 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 8: Mid-term presentation (20%) completed in class time only

Week 9: Unit 4 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 10: Unit 4 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 11: Unit 5 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 12: Unit 5 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 13: Unit 6 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 14: Unit 6 (Present yourself 1) - practice homework prepared weekly speech in class
Week 15: Final presentation preparation.
? (Final presentation to be completed in exam week) (30%)

1. Students must complete textbook activities as homework and submit them as and when requested
2. Students are expected to prepare weekly speeches as homework based on the textbook unit and bring a copy of the script to each class. This is essential to participate in classwork activities.
3. Students must be prepared to practice their speech with their partner/group and tutor.
4. Students should complete assigned homework before class and send it via Moodle.

教科書・参考書等

Present yourself 1. 2nd edition. Cambridge. (2015) ISBN 978-1-107-43563-6

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041450) English Speaking T(10) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 田口明美	**関連授業科目** 主題科目 領域Ｉ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業態度・提出物:20%
小テスト2回:40%
スピーチ:20%
期末試験(スピーチ):20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この授業はテキストに沿って進めます。
第7回と第15回に小テストを行い、第8回と期末試験にスピーチをしていただきます。
【授業計画】
第1回:オリエンテーション&Unit1
第2回:Unit2
第3回:Unit3
第4回:Unit4
第5回:Unit5
第6回:Unit6
第7回:小テスト&スピーチの準備
第8回:スピーチ
第9回:Unit7
第10回:Unit8
第11回:Unit9
第12回:Unit10
第13回:Unit11
第14回:Unit12
第15回:小テスト&まとめの学習

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第6回：小テストとスピーチに備えて下さい。
具体的な指示は授業時とネットワークを通して行います。
第9回～第14回:小テストと期末試験のスピーチに備えて下さい。
具体的な指示は授業時とネットワークを通して行います。

＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Time to Start Learn from Your Errors!.(Chihara Higuchi, Noriko Murata).南雲堂.2020.
ISBN 978-4-523-17897-2 C0082 1900円＋税

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験を基に、受講生のスピーキング能力の向上を目指します。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041451） English Speaking T(11) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students will be able to deliver a 5 minute presentation in English, learning appropriate language, body language and cultural differences.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:

Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :30%
Home Work: 20%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)

Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)

Week 1: Self introductions.
Week 2: Vacations and travel.
week 3: Culture and habits.
week 4: Explaining ideas.
week 5: Sharing an opinion.

week 6: Discussing current events.
week 7: Midterm presentations.
week 8: Body language and non verbal communication.
week 9: Common presentation language.
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: Explaining a process.
Week 12: Explaining how to do something in steps.
week 13: Final presentation workshop.
Week 14: Review
Week 15: Final Presentations.

(self study)

Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

takamatsuenglish@gmail.com

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041452） English Speaking T(12) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English Speaking		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A?のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

テキストの各ダイアログに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアログのアクトアウトプレゼンテーションを行う。
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を実施する。

【授業計画】

第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode

第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】

ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great!. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo. ISBN N/A

オフィスアワー　　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041461） English Speaking A(1) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木3	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，ガルシア　フェルナンデス　マリア　グデリア	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Assignments: 30%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 30%
(If you get a grade of 0% in any of those categories, you will fail the subject.)

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions ? Unit 1
Week 2: Unit 1
Week 3: Unit 6
Week 4: Unit 6
Week 5: Unit 2
Week 6: Unit 2
Week 7: Unit 7

Week 8: Midterm presentation
Week 9: Unit 7
Week 10: Unit 3
Week 11: Unit 3
Week 12: Unit 8
Week 13: Unit 8
Week 14: Unit 4
Week 15: Unit 5

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Speaking of Speech Premium Edition by Charles LeBeauby National Geographic Learning (2021) 9784863123854

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041462） English Speaking A(2) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，ガルシア　フェルナンデス　マリア　グデリア	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Assignments: 30%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 30%
(If you get a grade of 0% in any of those categories, you will fail the subject.)

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions ? Unit 1.
Week 2: Unit 1
Week 3: Unit 6
Week 4: Unit 6
Week 5: Unit 2
Week 6: Unit 2

Week 7: Unit 7
Week 8: Midterm presentation
Week 9: Unit 7
Week 10: Unit 3
Week 11: Unit 3
Week 12: Unit 8
Week 13: Unit 8
Week 14: Unit 4
Week 15: Unit 5

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Speaking of Speech Premium Edition by Charles LeBeauby National Geographic Learning (2021) 9784863123854

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041463） English Speaking A(3) English Speaking English Speaking A(3)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 吉川友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort：30%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は全回対面授業を行います。テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】

第１回：Introduction／プレゼンテーションとは
第２回：Unit １
第３回：Unit ２
第４回：Unit ３
第５回：Unit ４
第６回：Unit ５
第７回：Unit ６
第８回：中間評価（プレゼンテーション）
第９回：Unit ７
第10回：Unit ８
第11回：Unit ９
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：期末評価（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し、計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第１～７回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し、英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける。（１４時間）また、中間評価のための課題に向けて準備を進める。（１時間）
第８回～第１５回：さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ、論理的展開方法について理解を深め、英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける。（１４時間）また、教科書の各課のモデルを参考にしながら期末評価のための課題に向けて準備を進める。（１時間）

教科書・参考書等

英語プレゼンテーション教材開発研究チーム（2020） College Presentation: Bridge to Better Communication 『プレゼンテーションを観て学ぶ　英語コミュニケーション』金星堂
2,500円＋税 ISBN: 978-4-7647-4099-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041464） English Speaking A(4) English Speaking English Speaking A(4)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 吉川友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort：30%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は全回対面授業を行います。テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】

第１回：Introduction／プレゼンテーションとは
第２回：Unit １
第３回：Unit ２
第４回：Unit ３
第５回：Unit ４
第６回：Unit ５
第７回：Unit ６
第８回：中間評価（プレゼンテーション）
第９回：Unit ７
第10回：Unit ８
第11回：Unit ９
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：期末評価（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し、計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第１～７回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し、英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける。（１４時間）また、中間評価のための課題に向けて準備を進める。（１時間）
第８回～第１５回：さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ、論理的展開方法について理解を深め、英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける。（１４時間）また、教科書の各課のモデルを参考にしながら期末評価のための課題に向けて準備を進める。（１時間）

教科書・参考書等

英語プレゼンテーション教材開発研究チーム（2020） College Presentation: Bridge to Better Communication 『プレゼンテーションを観て学ぶ　英語コミュニケーション』金星堂
2,500円＋税 ISBN: 978-4-7647-4099-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041465) English Speaking A(5) English Speaking English Speaking (A5)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of student's oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term presentation: 30% Final presentation: 60%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classes will be held face to face In-class and activities will center on tasks in the textbook.
Students will practice presentation skills with partners, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Getting ready
Week 2: Unit 1 (part 1)
Week 3: Unit 1 (part 2)
Week 4: Unit 2 (part 1)
Week 5: Unit 2 (part 2)
Week 6: Unit 3 (part 1)
Week 7: Unit 3 (part 2)

Week 8:Mid-term presentations
Week 9: Unit 4 (part 1)
Week 10:Unit 4 (Part 2)
Week 11:Unit 5 (part 1)
Week 12:Unit 5 (part 2)
Week 13:Unit 6 (Part 1)
Week 14:Unit 6 (part 2)
Week 15: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1-7: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 9-14: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student’s Book: Experiences. by S. Gershon, S.(2015). CUP.
ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041466） English Speaking A(6) English Speaking English Speaking (A6)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of student's oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classes will be held face to face In-class and activities will center on tasks in the textbook.
Students will practice presentation skills with partners, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Getting ready
Week 2: Unit 1 (part 1)
Week 3: Unit 1 (part 2)
Week 4: Unit 2 (part 1)
Week 5: Unit 2 (part 2)
Week 6: Unit 3 (part 1)

Week 7: Unit 3 (part 2)
Week 8:Mid-term presentations
Week 9: Unit 4 (part 1)
Week 10:Unit 4 (Part 2)
Week 11:Unit 5 (part 1)
Week 12:Unit 5 (part 2)
Week 13:Unit 6 (Part 1)
Week 14:Unit 6 (part 2)
Week 15: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1-7: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 9-14: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student’s Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP.
ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041471） English Speaking NP(1) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Effectively begin and end a presentation in English;
2. Make use of gestures and eye contact to enhance their spoken message while speaking and presenting;
3. Plan an engaging and logically-structured presentation;
4. Deliver 3-5 minute presentations in English using PowerPoint;
5. Speak in English about a variety of topics in impromptu situations.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University. (To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:
In-class effort and participation: 10%
Moodle assignments and mini-speeches: 40%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 30%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]

Activities in the textbook (Speaking of Speech) will be the main part of each class. This textbook focuses on the three aspects of a presentation: the physical message, the visual message, and the story message. Students will learn such basic presentation skills as how to use gestures and voice inflection to enhance their spoken words. They will also learn how to organize a presentation logically and catch the audience's attention, and how to prepare effective PowerPoint slides. Students will often deliver short speeches in groups and in front of the class. Each class will begin with a short drill to help students develop speaking fluency in impromptu (unplanned) speaking situations. Only English will be used in the classroom. All students will use the Moodle page for this class for written homework and to receive information about the class.

【Class schedule】
Week 1: Introduction to course, instructor, and students; Speaking warm-up
Week 2: Begin Speaking of Speech (SOS): Unit 1
Week 3: SOS Unit 2
Week 4: SOS Unit 3
Week 5: SOS Unit 4
Week 6: SOS Unit 5
Week 7: Mid-term presentations 1
Week 8: Mid-term presentations 2
Week 9: SOS Unit 6
Week 10: SOS Unit 7
Week 11: SOS Unit 8
Week 12: SOS wrap-up (unfinished sections)
Week 13: Final presentation workshop
Week 14: Final presentations 1
Week 15: Final presentations 2

【Suggestions for self-study】
Week 1-5: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 6-8: Students should prepare for the mid-term presentation.
Week 9-11: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 12-15: Students should prepare for the final presentation.

教科書・参考書等

LeBeau, C. (2021). Speaking of Speech: Premium Edition. National Geographic Learning. ISBN: 978-4-86312-385-4

オフィスアワー　Students can arrange meetings by contacting the instructor through Moodle or the email address below.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。
＊健康上の理由以外で4回以上欠席する場合は単位が認定されません。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041472） English Speaking NP(2) English Speaking English Speaking	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

＊小テスト：20%
＊課題・授業参加：30%
＊Mid-term Presentation：20%
＊Final Presentation：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始-15分　クイズ　会話練習
15分-終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　　Unit1 Pandemic and People's Lifestyle
第 2回：Unit 2 The Circular Economy
第 3回：Unit 3 Road to Decarbonization
第 4回：小テスト①(Unit 1,2,3)　Unit 4 Online Learning and School Life
第 5回：Unit 5 Delivery Robots
第 6回：Unit 6 Discrimination against Asian Americans
第 7回：小テスト②(Unit 4,5,6)　Unit 7 Gendered Division of Housework
第 8回： Midterm Presentation
第 9回：Unit 9 Ukraine and Afghanistan
第10回：小テスト③(Unit 7 & 9)　Unit10 Digital Society
第11回：Unit11 Climate and Infectious Diseases
第12回：Unit12 Overtourism and Undertourism

第13回：小テスト④(Unit 10,11,12) Unit13 Multicultural Exchange in Japan
第14回： Final Presentation
第15回： Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をして臨むこと。
第8回と第14回15回のPresentationについては事前に授業で周知する。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Discuss the Changing World 2　Miyako Nakaya 他　SEIBIDO　2023年　ISBN978-4-7919-7268-5

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041473） English Speaking NP(3) English Speaking English Speaking NP(3)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 吉川友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort：30%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この科目は全回対面授業を行います。テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。授業２回で１ユニット進む程度の進度で課によって変則的に進めます。

【授業計画】

第１回： オリエンテーション／Unit １
第２回：Unit ２
第３回：Unit ３
第４回：Unit ３
第５回：中間評価（プレゼンテーション）
第６回：Unit ４
第７回：Unit ４＆５
第８回：Unit ５＆６
第９回：Unit ６
第10回：Unit ６＆７
第11回：Unit ７
第12回：Unit ７＆８
第13回：Unit ８
第14回：Unit ８
第15回：期末評価（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し、計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第１～４回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し、英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（８時間）また、中間評価のための課題に向けて準備を進める。（2時間）
第５回～第14回：プレゼンテーションの論理的展開方法について理解を深め、教科書の各課のモデルを参考にしながら、実際にプレゼンテーション原稿を構成する（16時間）また、期末評価のための課題に向けて準備を進める。（4時間）

教科書・参考書等

Charles LeBeau (2021) Speaking of Speech, Premium Edition: Basic Presentation Skills for Beginners. National Geographic Learning / Cengage Learning K.K.
2,800円＋税
ISBN: 978-4-86312-385-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041474） English Speaking NP(4) English Speaking English Speaking	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Speech 1: 30%
Speech 2: 30%
（中間と期末の２回，教科書から１つテーマを選び，２分間英語でスピーチをする。
第１回目の授業で配布する Rubric（原稿棒読みをしない，声が大きい，聞きとりやすい，結論が明快，の４項目を５段階で２０点満点）を30/20倍して30点で採点。）

In-class effort: 40%
（教室での活動と課題提出）

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
「ひと」「場所」「もの」などのテーマについて，テキストを使用した（安全な範囲での）コミュニケーション活動を行い，英語を話すことに慣れていきます。教科書に現れる表現の中から，自分のスピーチに使えそうな表現や語句を毎週メモして覚えます。成果発表として，英語スピーチ大会を2回行います。

【授業計画】
臨床講義棟2階で対面授業（指定席）を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。

wk 1 (Oct 6): introduction to the course / Getting Ready
wk 2 (Oct 13): Good friend 1
wk 3 (Oct 20): Good friend 2
wk 4 (Nov 1, Wed): Favorite place 1
wk 5 (Nov 10): Favorite place 2

wk 6 (Nov 17): Prized possession 1
wk 7 (Nov 24): Prized possession 2
wk 8 (Dec 1): Speech 1
wk 9 (Dec 8): Memorable experience 1
wk 10 (Dec 15): Memorable experience 2
wk 11 (Dec 22, 臨床講義棟1階): I'll show you how 1
wk 12 (Jan 9, Tue): I'll show you how 2
wk 13 (Jan 19): Screen magic 1
wk 14 (Jan 26): Screen magic 2
wk 15 (Feb 2): Speech 2

【授業外学習に関するアドバイス】
教科書の音声ファイルとビデオで内容を理解し，聞き取れない箇所をスクリプトで確認し，辞書で調べて覚えていってください。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition,
ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-5N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041501） Intensive English I Intensive English I TOEFLiBT受験対策 TOEFLiBT Preparation	科目区分 特別教育プログラム	時間割 2023年度 前期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 特プロ履修学生のみ 特定プログラムとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	

担当教員名 辻　梨花，水野　康一	関連授業科目　Communicative English I 履修推奨科目　Intensive English II

学習時間　講義９０分　×　３０回　＋　自学自習　９０分　×　15回

授業の概要

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。上記プログラム参加者以外は受講登録できません。

この授業では、TOEFL iBT の問題演習を徹底的かつ集中的に行う。週２回の授業のうち、一方(月曜３時限)では Listening を、他方（木曜２時限）では Reading Section を扱う。

授業の目的

英語圏の大学で講義を受ける際に必要な読解能力および聴解能力を身につけることを目的とする。

到達目標

１．英語圏の大学で使用される教科書レベルの学術的文章を読んで理解することができる。
２．英語による講義の内容を聞いて理解することができる。
３．英語による討論の内容を聞いて理解することができる。
４．英語圏の大学生活における日常的な会話を理解することができる。
５．後期終了時点で TOEFL iBT で 61 点以上のスコアを獲得することができる。

共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応。

成績評価の方法と基準

課題，宿題等の取り組み　２５％
授業への積極的参加　２５％
期末テスト（TOEFL ITP）　５０％

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１，２回を除く）は、以下のように進める。
月曜：リスニング演習
木曜：リーティング演習

【授業計画】
第１回：イントロダクション①（授業の進め方、TOEFL iBT Reading Section の傾向と対策）
第２回：イントロダクション②（授業の進め方、TOEFL iBT Listening Section の傾向と対策）
第３回～第30回：問題演習
期末試験：TOEFL ITP(ペーパー版TOEFL)

【自学自習のアドバイス】
・毎回、予習内容を指定する。必ず宿題をして授業に臨むこと。
・未知の単語や英語表現については、常に自ら調べ、定着をはかること。
・多くの課題提出を求めるので、もれなく取り組むこと。

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Official TOEFL iBT Tests: Third Edition. ETS. ISBN: 978-1-260-44100-0

オフィスアワー　　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。

本プログラムへの参加，およびこの授業の受講にあたっては，プレースメントテストを実施し，人数制限（5～10名）を行う。本プログラムに参加していない学生も、人数制限範囲内であれば，プレースメントテストの結果により受講を認めることがある。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-5N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041502） Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅡ TOEFL iBT: Speaking & Writing	**科目区分** 特別教育プログラム	**時間割 2023年度** 後期月3,木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生 特プロ履修学生のみ** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， パーキンス ガレス エドワード	**関連授業科目** Communicative English II		
	履修推奨科目 Intensive English I		

学習時間 90 分 × ３０回 + 自学自習 ９０分 × 15週

授業の概要

This course aims to help students develop speaking and writing skills needed for the TOEFL iBT. Monday's class (taught by McCrohan) will focus on speaking; Thursday's class (taught by Perkins) will focus on writing. Students' reading and listening skills will be developed as well.

授業の目的

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目のひとつである。

英語圏の大学で講義を受ける際に必要なコミュニケーション能力および文章作成能力を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応）ことを目的とする。

到達目標

Through this course, students will become enabled to:
1. Speak in English for varying amounts of time about different academic topics;
2. Take effective notes in order to prepare for speaking and writing tasks;
3. Complete both the Integrated speaking tasks and Independent speaking task in the allotted time;
4. Complete both the Integrated writing task and Independent writing task in the allotted time;
5. Use academic vocabulary effectively in both speaking and writing tasks.
6. Attain a score of 61 or above on the TOELF iBT.
7. Actively participate in courses taught exclusively in English.

成績評価の方法と基準

In-class participation and effort: 40%
Homework and out-of-class assignments: 60%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Class activities will center on materials provided by the instructors as well as in the Criterion system. Students will be assigned homework before each class meeting and this homework will be part of class activities.

Week 1: Introduction 1: TOEFL iBT Speaking Section
Introduction 2: TOEFL iBT Writing Section

Weeks 2-15: Students will be gradually introduced to the TOEFL iBT speaking and writing tasks.

Speaking Class schedule
Weeks 2-4: Speaking - Independent task 1, Integrated Task 2
Weeks 5-7: Speaking - Integrated Task 3; Review of task 1 & Task 2
Weeks 8-11: Speaking - Integrated Task 4; Review of previous sections of the test.
Weeks 12-15: Speaking - Individual test practice tutorials: Students will need to contact the teacher to arrange dates and times.

Writing Class Schedule
Weeks 2-4:　writing - Writing activities and textbook study
Weeks 5-7:　writing - essay practice and textbook study
Weeks 8-11:　writing - textbook study and exam practice
Weeks 12-15:　Writing - Individual test practice tutorials: Students will need to contact the teacher to arrange dates and times.

This is an intensive course, which means AT LEAST 3 hours of homework will be assigned every week. Students must complete all homework assignments to participate in class. It is important to stay up-to-date with all assignments.

Self-study for the Speaking Section:
Students must: a. watch at least one short TED Talk per week; b. listen to one academic lecture per week; and c. listen to a news broadcast daily. Students will need to take notes and prepare oral summaries of all of these before their next class.
It is also recommended that students participate in at least 1-2 Global Cafe speaking classes per week. These classes will help students develop their oral fluency, academic vocabulary, and speaking confidence. Students will be asked to submit a weekly log of all speaking tasks and activities.

Self-study for the writing section:
Students must: complete at least one essay per week using the Criterion essay writing program. This program enables students to revise their essays using feedback from Criterion as well as the instructor. Students must then upload their revised essay onto Criterion.

NOTE: A detailed syllabus and calendar for each section (Speaking and Writing) will be given to students on the first meeting of the Speaking class and Writing class. It is best to think of these two sections as two separate classes. Both classes will be conducted in fully in English.

* In principle, classes will be conducted in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted online.

教科書・参考書等

Textbook for the Speaking Section: WINNING TOEFL Speaking - The Right Way - WORKBOOK by Matthew Preston and Konnie Wong. Independently published (October 13, 2021), ISBN-13 : ?979-8729080205
Textbook for writing: TOEFL iBT Writing (with online audio) (Barron's Test Prep)
Barron's
Seventh Edition
May 4th, 2021
ISBN-13: 978-1506270715

Students will also use Criterion (an e-learning system) for the Writing section. Students should bring their own computers (or tablet) to each class.

オフィスアワー　This information will be provided by each instructor on the first class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。

本プログラムに参加していない学生は、定員に余裕がある場合、受講が認められることがある。ただし、この場合、単位は卒業要件には含まれないので注意すること。

ナンバリングコード　B2ENG-abcG-1N-Eg1 授業科目名　（時間割コード：041601） Academic English Ⅰ (1) Academic English Ⅰ Academic English 1 (1)	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期火4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abc	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習　グループワーク	単位数　1	
担当教員名 ポール・バテン	関連授業科目　Communicative English classes		
	履修推奨科目　Communicative English classes		

学習時間　There are fifteen classes in this course. Each class is for ninety minutes. A high level of dedication is expected - students should prepare carefully for at least ninety minutes for each classes in order to be able to contribute to the class.

授業の概要

This is a class for students who are interested in discussing issues in English with an academic focus. We will use the text to look at various issues and develop students' skills in commenting on and presenting their ideas on these. Depending on class size, students' individual areas of weakness and/or interest (e.g., pronunciation, vocabulary, language/cultural points) will also be included in the class and then ultimately assessed.

授業の目的

The goal of this course is to develop the learners' abilities in discussing and explaining their ideas convincingly and appropriately in an English language academic setting. Through a range of topics and issues, some familiar to the students and some not, students will develop better self-expression skills in academic English. There is also a focus on vocabulary and fact checking. Through a focus on various topics interesting and thought-provoking debate and exchange of ideas will be stimulated. I hope that as 'advanced' speakers of English, students will be prepared to introduce and discuss interesting and useful topics.

到達目標

After completing this class, students will be able to:
1) understand to express their opinions in 'paragraph length' comments
2) understand etymologies of English words
3) better knowledge of the topics discussed in class
4) use compensatory strategies in English
5) better knowledge of academic English - appropriate vocabulary and discussion and presentation skills

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on: in-class performance (25%), improvement of areas of weakness (25%), ability in communicative strategies (25%), contribution to class and topics in general (25%). Students who develop the ability and confidence to explain their ideas (and indeed have something of interest to contribute) and can compare and contrast ideas will be evaluated highly.

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The focus will be on researching a topic, preparatory readings of the text, and then being able to discuss these in class and discuss them fully.

(1) Introduction to class methodology and goals, self-introductions.

Lessons 2 - 14 : chapters will be selected from the text upon consultation with students. Students will also work together to prepare a text for the class.

(15) Student presentations (final)

自学自習に関するアドバイス
Please prepare for classes. Be prepared to explain your ideas, and the words you use, to other students. Preparation should take about one hour per class. Please also use the handout you will be sent by email for brushing up the vocab covered in class.

教科書・参考書等

Life Topics: Changing Views. 総合英語ライフトピックス５。 Johnathan Berman. Nan'undo. 978-4-523-17949-8

オフィスアワー Friday, 3:00 - 4:00 p.m. Please email me beforehand and tell me what you would like to discuss. 研究室は８号館の４Fです。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Students must be prepared to fully participate and make contributions to the class.
４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を３５年以上前から毎日直面しています。２８年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目指します。中学校、幼稚園、一般会社などの英語教師経験があります。長年大学生の英語の授業に携わってきた実務経験と共に、ニュージーランドとタイとの国際交流に力を入れています。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041602） Academic EnglishⅡ (1) Academic EnglishⅡ Academic English skills	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　Communicative English I, II, English Writing 履修推奨科目		

学習時間　90 minute classes X 15 class meetings; + 90~180 minutes out-of-class work per week.

授業の概要

This course is for students who hope to improve their academic English skills. The focus will be on reading, writing, and speaking skills. By conducting the class entirely in English, students' listening skills will improve as well.

授業の目的

Through this course, students will develop their reading speed and comprehension by engaging in extensive reading using the XReading system. Students will also improve their writing fluency and accuracy by writing about reading assignments in a weekly Reading Journal. Also, activities based on the Speaking section of the IELTS test will improve students' interview and speech skills.

到達目標

Through this course, students will become able to:
1. Read with greater speed and comprehension;
2. Read at least 120,000 words by the end of the semester;
3. Write weekly Reading Journal entries of 100-150 words (a total of 12);
4. Speak fluently about personal and social topics in interview situations;
5. Use communicative techniques to speak English quickly in impromptu (unscripted) situations.

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
30%: XReading assignments (Target 120,000 words) (120 points)
30%: Reading Journal (120 points)
25%: Mid-term and Final interviews (100 points: 50 points each)
15%: In-class effort and participation (60 points)

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Reading and Writing practice]
Students will read about 8,000 words per week using the XReading system outside of class. Quizzes on XReading will check reading comprehension; Speed Reading exercises will help to boost students' reading speed. In addition, students will keep a Reading Journal (on Moodle) in which they will write 100-150 words per week on the reading they have done for that week. The Reading Journal will be used for discussion and speech activities in class.

[Speaking and Listening practice]
Activities drawn from the IELTS speaking test will also be done in class; all students will do a graded interview in English at the Mid-term and the end of the semester. Students will also practice speaking drills in every class to improve their ability to respond quickly in English. We will often listen to popular songs as a way to introduce speaking topics. Classes will be conducted only in English.

Week 1: Orientation and Introductions
Week 2: Reading Journal 1 due; Warm-up questions
Week 3: Reading Journal 2 due; The Long Talk

Week 4: Reading Journal 3 due
Week 5: Reading Journal 4 due
Week 6: Reading Journal 5 due;
Week 7: Reading Journal 6 due;
Week 8: Mid-term Interview (Warm up + Long talk)
Week 9: Reading Journal 7 due; Social topic questions
Week 10: Reading Journal 8 due
Week 11: Reading Journal 9 due
Week 12: Reading Journal 10 due
Week 13: Reading Journal 11 due
Week 14: Reading Journal 12 due
Week 15: Final Interview (Full interview)

Suggestions for Self-study: XReading cards should be purchased before the first class. Assignments will be explained in each class and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

教科書・参考書等

Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

*Students will be informed how to access this system by Dream Campus before classes begin.

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-1N-Lg1 授業科目名　（時間割コード：041603） Academic EnglishⅡ (2) Academic EnglishⅡ Extensive Reading	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　講義 グループワーク	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目 履修推奨科目		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) Students should spend a minimum 2 hours per week on out-of-class preparation.

授業の概要

This course aims to improve students' reading skills. There will be a focus on developing various reading strategies and encouraging students to enjoy reading in English. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their general education English classes (Communicative English I-IV).

授業の目的

授業の目的 General Objectives
The aim of this course is to develop the students' reading fluency and positive attitudes to reading. Students will read a range of graded readers at a level suitable with the purpose of increasing their fluency in the areas of vocabulary recognition and reading comprehension skills. This course will equip students with effective reading strategies which will make reading a positive and encouraging experience.

到達目標

On completion of this course, students should be able to:

1. read with greater fluency and confidence
2. read for meaning without translating by using effective reading strategies
3. summarize and paraphrase short written passages on a variety of topics
4. share personal reactions to and opinions about books in informal situations
5. complete quizzes to demonstrate comprehension

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
Class Participation: 20%
Written assignments: 40%
Word Count: 40%

成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。
　秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
　優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
　良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
　可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
　不可（60点未満）到達目標を達成していない。
ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。
　合格又は了　　到達目標を達成している。
　不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities designed to develop students' reading skills. In this course, students will select graded readers that appeal to them and spend time doing sustained silent reading (SSR). Students will complete short quizzes online to get word count credit. Students will practice reading exercises e.g. Timed Repeated Reading (TRR) to increase reading skills and fluency. Students will also engage in pair and group work where they will share their reflections on what they have read, and what they have learned from each book. By the end of the

course, students will have read a minimum of 120,000 words, and completed a number of written assignments on Moodle consisting of book reports, summaries, and other written activities. As a rule, Japanese will not be allowed in class. This class will be mainly taught face-to-face (in a regular classroom) however, depending on the situation with the current pandemic, this may be changed to online.

[Course Schedule]
Week 1: Students will need to bring a computer/tablet or smartphone to class to take a reading placement test. They will log into their XReading account and choose their first book.
Week 2: SSR; Introduction to TRR; Introduction to IELTS Writing task 1
Week 3: SSR; TRR; Describing and evaluating characters 1; Written assignment #1: Bar or pie graph
Week 4: SSR; TRR; Describing and evaluating characters 2
Week 5: SSR; TRR; Written assignment #2: Line graph
Week 6: SSR; TRR; Summarizing and paraphrasing
Week7: Mid-tern review:
Week 8: Mid-term book report due.
Week 9: SSR; TRR; Written assignment #3: Describe a process (1)
Week 10: SSR; TRR; Personal reflections and making recommendations 1
Week 11: SSR; TRR; Personal reflections and making recommendations 2; Written assignment; describe a process (2)
Week 12: SSR; TRR; Writing an alternative ending
Week 13: SSR; TRR:
Week 14: Written assignment #5: Book review
Week 15: Final book report due
Week 16: Students should have read a minimum of 120,000 words.

Weeks 1-16:
1. Students are expected to engage in extensive reading using Xreading. Students should read at least 8,000 words per week.
2. Students must be prepared to discuss what they have read with their partner/group.
3. Students should complete assigned homework.
4. By Week 16 students should make sure they have read at least 120,000 words.

教科書・参考書等

You will be able to buy XReading access cards/codes from the bookshop. More information will be posted on Moodle about this. Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー　Wednesday: 09:00-10:00 (Saiwai-cho campus only) or contact the instructor to make an appointment.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Students should have a TOEIC score of at least 550 to enter this class.

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-60-Ex2 授業科目名　（時間割コード：094101） 英語Ｉ English　Ｉ 英語I	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期水6～7	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教センター ＤＰコード：abx	対象学生 夜間主のみ 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　主題科目　領域Ｉ　経済・社会・文化 履修推奨科目　English II, English III		

学習時間　授業180分×15回＋自学自習＋ 準備学習（15時間）＋ 事後学習（15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い、英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。パソコンや筆記用具を利用してライティングの練習も行います。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. ライティング：英語の段落（100 語～200 語）を自分の力で書くことができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

Moodleによる小テスト:100 points (20%)
ライティングの課題: 100 points (20%)
中間試験: 100 points (20%)
期末試験：100 points (20%)
e-learning：100 points (20%)（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
6限目：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
7限目：PCルームでe-learningの練習及びライティングの練習

【授業計画】
第1回：オリエンテーション。Best Practice for the TOEIC Test (BPTT) Unit 1
第2回：BPTT Unit 2 ＋e-learning/ライティングの練習
第3回：BPTT Unit 3 ＋e-learning/ライティングの練習
第4回：BPTT Unit 4 ＋e-learning/ライティングの練習
第5回：BPTT Unit 5 ＋e-learning/ライティングの練習
第6回：BPTT Unit 6 ＋e-learning/ライティングの練習
第7回：BPTT Unit 7 ＋e-learning/ライティングの練習
第8回：中間試験
第9回：BPTT Unit 8 ＋e-learning/ライティングの練習

第10回：BPTT Unit 9 ＋e-learning/ライティングの練習
第11回：BPTT Unit 10 ＋e-learning/ライティングの練習
第12回：BPTT Unit 11 ＋e-learning/ライティングの練習
第13回：BPTT Unit 12 ＋e-learning/ライティングの練習
第14回：BPTT Unit 13 ＋e-learning/ライティングの練習
第15回：BPTT Unit 14 ＋e-learning/ライティングの練習
第16回：期末テスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＊基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト
Yoshizuka, H., Skerritt, G., & Schuaerte, M. (2022). Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate. SEIBIDO. ISBN: 978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

＊健康上の理由以外で4回以上欠席する場合は単位が認定されません。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-60-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：094102） 英語Ⅱ English Ⅱ English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 後期水6～7	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教センター **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 夜間主のみ **特定プログラムとの対応** 対応なし
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド， ジョナサン・ベリー	**関連授業科目** English I, English III		
	履修推奨科目		

学習時間 授業180分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業中および授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。最後に、英語によるスピーチをできるように様々な練習を行います。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

１～４は（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応）

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

授業への参加度:20%
課題:10%
中間テスト:20%
期末テスト:30%
e-learning:20%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　　到達目標を達成している。
不合格　　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
6限目：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
7限目：PCルームでe-learningの練習及びスピーチスキルの練習

【授業計画】
第1回：オリエンテーション。コースの説明と勉強の進み方
第2回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第3回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第4回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第5回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第6回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第7回：中間テスト
第8回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第9回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習

第10回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第11回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第12回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第13回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第14回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第15回：テキストによる演習活動＋e-learning/スピーチの練習
第16回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。PCを持ている方は毎回の授業にPCをご持参ください。PCルームのPC（自分のスマートフォン）も利用することができます。１回目の授業に、English Centralに接続・利用についての資料が配布され、担当教員の指示に従って登録してください。

2)テキストにより宿題がある。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て。または一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Let`s Read Aloud & Learn English GOING ABROAD (Kadoyama T. & Capper S.). Seibido (2021)

オフィスアワー　Please contact the instructor to arrange a meeting. Of course, this can be arranged on Zoom too.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-60-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：094103） 英語Ⅲ English Ⅲ 英語 III	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2023年度 前期木6～7	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生** 夜間主のみ **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ヒル スティーブ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間 授業180分×15回（90分の授業2コマを継続して実施）＋授業外学習（予習・復習・課題 60時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティングとスピーキングの能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング力およびスピーキング力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる。
4. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
5. 英語で５分間程度のスピーチを行うことができる。

1~5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応しています。

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework：35%　In-class effort/attendance：25％　Midterm Paper Exam/Presentation：20%
Final Paper Exam/Presentation：20%

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。
優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。
良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。
可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。
不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了　到達目標を達成している。
不合格　到達目標を達成していない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

授業の方法】

本講座では、社会で必要となるコミュニケーションスキルを磨くことを目指して、ライティングとスピーキングを主としたアクティビティを実施します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】

指定のテキストに沿って以下の順に英語で行うスピーチの練習を行います。スピーチに関する語彙、文章構成、プレセンテーション方法なども学習します。またスピーチの作成に伴って英語での文章作成を行い、ライティングを学習します。人前で英語で話す機会をできるだけたくさん経験するための授業構成です。

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit1-3　プレゼンテーションの基本知識・フリーライティング・文章作成
第3回：Unit 4-5　列挙型プレゼンテーション（以下全てプレゼンテーション）・フリーライティング・文章作成
第4回：Unit 6　分裂型・フリーライティング・文章作成
第5回：Unit 7　プロセス型・フリーライティング・文章作成
第6回：Unit 8　調査型・フリーライティング・文章作成

第7回：Mini Presentation　（中間試験のプレゼンテーション）
第8回：Review/Feedback
第9回：Unit 10　説明型・フリーライティング・文章作成
第10回：Unit 11　問題解決型・フリーライティング・文章作成
第11回：Unit 12-13　原因・結果型、比較対照型・フリーライティング・文章作成
第12回：Review
第13回：Composing your final presentation　スピーチ文章の作成　ピアクリティーク
第14回：Review and preparation for final　期末に向けてのレビュー及び準備
第15回：Final Exam（前半）
期末試験週：Final Exam（後半）

【授業外学習に関するアドバイス】
毎日40分は英語に触れるのを目標として、指定の授業外学習に取り組んでください。またそれ以外にも英語に触れる機会を日々増やせるようヒントを授業内でご紹介していきます。

事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。

教科書・参考書等

動画で学ぶ英語プレゼンテーション ―覚えておきたい8つのモデル―Winning Presentations（Morita, A et al）2018 成美堂　ISBN：9784791934249

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。